

第七十四回帝國議會
衆議院

森林法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第六回

付託議案
森林法中改正法律案(政府提出)
林業種苗法案(政府提出)

會議

昭和十四年二月十七日(金曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 小山邦太郎君

理事長野 綱良君 理事池田 清秋君

理事北 勝太郎君

松尾 四郎君

伊藤 五郎君

北原阿智之助君

村瀨 武男君

松尾 孝之君

稻田 直道君

伊東 岩男君

川俣 清音君

出席政府委員左ノ如シ

北海道廳長官 半井 清君

農林政務次官 松村 謙三君

農林省山林局長 村上富士太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

森林法中改正法律案(政府提出)

林業種苗法案(政府提出)

○小山委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス――

北原阿智之助君

○北原委員 私ノ順番ハマダ來ナイケレド

モ、前ノ方ノ方ガオ出デニナラスカラ、私ニ讓ツテ戴イタ譯デアリマス、私ノ質問ハ簡單デアリマシテ、國土保安ニ關スル件ニ付テ二三御質問ヲ致シタイノデアリマス、

先ツ初メニ荒廢地ノ面積ガドノ位ニナツテ居ルカト云フコトノ統計ヲ伺ヒタイ、ソレカラ砂防工事ヲ施シテ復舊シタ面積ガドノ位デアツテ、是カラ復舊シナケレバナラス

所ガドノ位アルカト云フコトヲ先ニ承リタイノデアリマス、之ニ付テ茲ニ政府ノ御所信ヲ承リタイコトハ、荒廢地ニ付テハ中々

重大デアリマシテ、昨年ノ秋各所ニ大洪水ガアリマシテ、私ノ縣及ビ郡等ニモ隨分ア

ツタノデアリマス、就中新聞等ヲ見ルト神戶ノ郊外ニアル所ノ六甲山カラ流失スル大

洪水ノ爲ニ非常ナ大被害ガアツタノデアリマス、是ハ汽車ノ窓カラ見タトコロデモア

ア云フ風ニ山ノ高イ所マデ鐵筋「コンクリート」ノヤウナ屋ヲ建築シタリ、自動車

ガ上ツタリ下リタリスル所ノ太イ道路ヲ造ルト云フヤウナコトモ、私ハ土地ヲ非常ニ

荒廢サセル因デアルト思フ、放漫ニ斯ウ云フコトヲヤラシメ置イタト云フコトハ、畢

竟スルニ去年ノヤウナ大災害ノ起ルコトモ

考慮セズニ政府ガ之ヲヤラセタノデヤナイカト疑ハレルノデアリマス、國土保安ト云フコトハ、今更山林局長ヲ前ニ置イテ申上

ゲル程ノコトデハナイノデアリマスガ、斯ノ如キハドウモ政府ノ怠慢デハナイデアラ

ウカト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ前カラドウ云フ風ニ施設サレテアツタカ、又

今後ドウ云フ風ニシテ行クカト云フ御考ヲ承リタイト思フノデアリマス

ソレカラ森林法ノ第一條ニハ御料林ノコトモ劈頭ニ出テ居ルノデアリマス、農林省

ノ方ト御料局トノ關係ハドウ云フ風ニ協調サレテ居ルノデアリカ、若シ御協調ガアル

トスレバドンナ風ニ協調サレテ居ルモノデアリカト云フコトヲ承リタイ、茲ニ例ヲ申

シマス、是モ昨年ノコトデアツタノデアリマスガ、私ノ郡ニ赤石山系ト云フノガア

リマス、何レモ三千米以上ノ高イ山デアアリマス、ソレハ總テ御料林デアリマスカラ餘

リ長野縣等デ之ヲ彼此レト言ハナカツタノデアリケレドモ、一昨年頃デアリカ、御料

林カラ縣ノ拂下ヲ願ツテ、之ヲ伐採スルコトガ縣ノ收入ヲ増ス上ニ於テ宜カラウト云

フコトデ、縣會等デ之ヲ申シマシテ、サウ

云フコトヲ計ツテ居ツタノデアリマス、私共ハ其ノ時ニ赤石山ト云フノハ非常ニ急峻

ナ山デアツテ、麓ノ方ハ隨分天然林ガ茂ツテ地層ヲ保ツテ居ツタノデアリマスケレド

モ、之ヲ一朝ニシテ伐採スルト云フヤウナコトニナルト、非常ニ地質ガ峻險デ脆弱デ

アルカラ、荒レテ來ルト云フコトヲ心配シテ居ツタノデアリマス、是ハ赤石山ヲ若シ

伐採スルナラバ、其ノ伐採シ、之ニ依ツテ砂防工事ヲ施サナケレバナラスト云フ風ニ

考ヘマシテ、縣ヘ拂下ニナルト行ツテ見タ所ガ、其ノ拂下ゲタ所ヲ伐木シテ搬出スル

ノハ容易ナラスコトデ、サウ云フコトハイケナイト云フコトヲ私共ハ言ツテ居ツタノ

デアリマス、所ガ其ノ拂下ヲ出來ル出來ヌニ拘ラズ段々荒廢シテ行クノデアリマシテ、

昨年ノ大洪水ニ際シテ赤石山ノ麓カラ流れテ居ル所ノ小澁川ト云フ川ガ大氾濫シテ、

ソレガ爲ニ私ノ郡デアリマスガ、下川路村、龍江村等ハ非常ナ大災害ヲ被ツタノデアリ

マス、是モ私ノ考デハ畢竟赤石ガ國土保安ノ施設ガ少シモナイカラ斯ウ云フ風ニナツ

ク御料局ト協調サレテ行カケレバ、到底
縣ガ假ニ拂下ゲテ見デモ、又御料局ガ之ヲ
自分カラ伐採シテ見デモ、容易ニ比年起ル
所ノ大洪水ヲ完全ニ止メテ行クヤウナコトハ
出來ナイト思フ、是等ノコトヲ考ヘテ居リ

完全ニ下流ノ迷惑ニナラヌヤウニ之ヲ保タ
ナケレバナラスト思フ、斯ウ云フコトノ御
協調ガドンナ風ニナツテ居リマスカ伺ヒタ
イノデアリマス

出來ナイト思フ、是等ノコトヲ考ヘテ居リ
マス時ニ、昨年ノ秋デアリマシタカ、拂下
ハ止メテシマツテ、御料局ガ單獨ニ伐採シ
テ行ク、斯ウ云フコトガ決ツタサウデアリ
マシテ、縣ノ砂防協會ナドノ總會ノ時モサ
ウ云フコトヲ聞イタノデアリマス、ガカラ
私ガ此ノコトヲ言ツテ、是ハ非常ニ大事ナ
コトデアルカラ、伐採セラレテモ其ノ伐採
シテ材木ヲ賣ツタ金ヲ全部砂防工事費ニ充
テナケレバナラスト位ナモノダト思フ、ソレ
デモヤリマスサト言ツテ、私ハ御料局ノ當局
者ニ聽キマシタ所ガ、必ズ砂防工事ヲヤツテ
下流ニ災害ノナイヤウニスルト云フ話デア
ツタノデアリマス、私ハ素人、向フハ専門
家デアリマスカラ、サウ言ハレレバソレダ
ケノモノデ、左様デスカト申シテ置イタノ
デアリマス、併シ能ク考ヘテ見ルト、御料
局デモ伐採シタ金ヲ殘ラズ砂防工事ニ使フ
位ナラバ、寧ロ伐採セズニ置イタ方ガ宜イ
ト云フ風ニ考ヘラレノデアリマス、ソコ
デ先程申シタヤウニ國土保安ト云フヤウナ
大事ナコトハ能ク御料局ト御協調ニナツテ、

其ノ次ハ今度ノ法律ノ改正ノコトデアリ
マス、今度ノ法律ハドウモ私ノ心配スル國
土保安ト云フ所ニ御觀念ガ少シ足ラスト思
フノデアリマス、舊法ノ第十條ニハ「公有
林、社寺有林又ハ私有林ニシテ荒廢ノ虞ア
ルトキハ地方長官ニ於テ施業ノ方法ヲ指定
スルコトヲ得」トアルノデアリマスガ、ソ
レヲ改正サレテ「地方長官森林生産ノ保護
ヲ圖ル爲テ必要アリト認ムルトキハ公有
林、社寺有林又ハ私有林ノ所有者ニ對シ其
ノ森林ニ付區域又ハ箇所及期間ヲ定メ伐採
方法又ハ造林其ノ他伐採ニ伴フ必要ナル事
項ヲ指定スルコトヲ得」斯ウ云フノデアリ
マシテ、是ハ結構ナコトト思ヒマスガ、前ニ
ハ「荒廢ノ虞アリ」ト稱シテアツタノデアリ
マス、即チ國土保安ヲ頭ニ置イテ掛ツテ居
ツタノデアアルガ、ソレガ今度ハ唯此ノ十條
ノ文ヲ讀ミマスト「森林生産ノ保護ヲ圖ル
爲」ト云フコトガ先ヅ第一ノ觀念ニナツテ
居リマシテ、國土保安ト云フヤウナコトハ
大變少イト思フ、ソレデ舊法ノ第五章ノ
六十二條第一項ニハ「國土保安ノ爲又ハ森

林ノ荒廢ヲ防止シ若ハ荒廢セル森林云々」
ト云フ風ニチャント國土保安若クハ荒廢ノ
コトガ儼然ト決メテアルニモ拘ラズ、之ヲ
改正サレテ、サウシテ第六十二條ニ「組合
員ノ施業ヲ調整シ以テ森林生産ノ保護ヲ圖
ルヲ以テ目的トス」ト云フダケデアツテ、
前述ノ第一項ニアツタ國土保安、森林ノ荒
廢防止等ハ抹殺サレテシマツテ、何モ殘ツ
テ居ラスト云フコトハ、畢竟スルニ今度ノ御
改正ハ生産ノ保護ト云フコトガ眼目ニナツ
テ居ツテ、國土保安ノ意味ガ撤回サレテ居
ルト見ルノ外ハナイノデアリマス、是ハ私
ノ僻見カモ知レヌガ、文章ヲ讀ムトサウナ
ツテ居ル、森林法ノ大眼目デアル所ノ此ノ
國土保安ト云フコトガ強調サレテ居ラスト
云フコトハ、森林法トシテハ大變ナ缺點デ
ハアルマイカト考ヘルノデアリマス、今度
ノ改正ニ付テハ私大體ニ於テ結構デアルト
思ヒマス、色々ノ費用ノ徵收方法ニシテモ
宜シイ、又森林ノコトハ成ベタ罰ヲ重クシ
テ置イテ、一方ノ方デ助ケテヤルト云フコ
トモ大事ナコトデアルカラ、私共ハ大體ニ
於テ此ノ改正ハ結構ダト思ヒマスガ、國土
保安ノ點ニ至ルト、ドウモ御觀念ガ少ナイ
ト思フ、此ノ點ニ付テ御質疑ヲ致ス次第デ
アリマス

○村上政府委員 荒廢地復舊面積ハ第一期
ノ森林治水事業ニ於キマシテ、二万四千十
一町歩ヲ實行致シマシタ、更ニ之ニ次イデ
昭和十二年以降二十三年度マデノ十二箇年
計畫デ只今第二期森林治水事業ヲ實行中デ
ゴザイマス、之ニ依リマシテ十三年度マデ
ニ荒廢地ノ復舊面積ガ七千二百七町歩トナ
リ、残り七万二千四百二町歩ヲ二十三年度
マデニ復舊スルト云フ計畫ニナツテ居リマ
ス、斯様ニ致シマシテ、尙ホ殘ツタモノガ
ドノ位アルカ、是ハマダ年々歳々水害雪害
等ニ因ツテ新規ニ發生スルモノガゴザイマ
ス、ソレカラ非常ナ大崩潰地ニシテ復舊ニ
大計畫ヲ要スル爲メ、マダ目鼻ガ付カナイモ
ノニ、例ヘバ新潟縣ノ姫川尻等ガ殘ツテ居
リマス、是等兩方ヲ合セマシテ約三万五
千町歩位ガ、第二期治水事業ガ完成致シマ
シテモ尙ホ殘ルコトニナリマスカラ、是ハ
更ニ計畫ヲ立テテ御協賛ヲ仰ガナケレバナ
リマセヌ、尙ホ年々ノ災害ニ付キマシテノ
臨時ノ復舊事業ハ、年々別ニ豫算ヲ計上シ
テ居リマス、昨年度ノ災害ニ付キマシテモ
是ハ色々ノモノモ含ミマスケレドモ、全部
デ四百五十万圓ヲ復舊工事費トシテ計上シ
テ居ル次第デアリマス
次ニ六甲山ノ昨年ノアノ被害ハ洵ニ遺憾

ノ極ミデアリマシテ、私共森林行政ヲ與ツテ居ル者トシテ責任ノ重大ナルヲ痛感シテ居ル次第デアリマシテ、洵ニ申譯ナイ次第デアリマス、是ハ一面ニ於キマシテハ、御承知ノ通り神戸ハ山ガ海ニ迫ツテ、其處ニ大都會ガ出來テ居リマスガ爲ニ、自然ニ山ノ方ヘ發展シテ行ツテ、其處ニ家ヲ建ツテ、殊ニ危險ナル所ノ谷筋等ニ家ヲ建ツテ居ル所モアリマスシ、又舊ト川デアツタ所ヲ暗渠ニシ、或ハ溪流ヲ直角ニ曲ゲタヤウナ、サウ云ツタヤウナ所モアル、左様ナコトノ爲ニ被害ノ原因ヲ成シタ、是ハ從來ノ都市計畫ト申シマスカ、土木工事ト申シマスカ、サウ云フ點ニモ多少遺憾ノ點ガアツタノデハナイカトモ思ヒマス、是等ノ點ハ前年度ノ水害ニ鑑ミマシテ、神戸市其ノ他ニ於テモ、今度ハ相當徹底的ニ改良スルヤウニ致シテ居ルヤウデアリマス、尙ホ六甲ノ裏山ノ荒廢地復舊ニ付キマシテハ、昨年度特ニ是ガ豫備金ノ支出モ致シ、尙ホ本年度以降何年計畫カニ依ツテ是ガ復舊ニ付テ、別ニ豫算ヲ取ツテ御協賛ヲ仰イデ居ル次第デアリマス、尙ホ内務省ニ於テモ砂防費ヲ相當額要求シテ、慥カ此ノ議會デ御協賛ヲ仰グ次第デアリマス、尙ホ此ノ他六甲全體ノ造林計畫、斯ウ云フコトニ付テモ縣ニ於テ

著々計畫ヲ立テテ居ルヤウデアリマシテ、之ニ付テハ私共モ規則ノ許ス限りニ於テ、助成ヲ致シタイト考ヘテ居ル譯デアリマス
次ニ御料林ノ問題デゴザイマスガ、帝室林野局ト農林省トモ十分ニ連絡協調ヲ取ツテ居リマス、勿論帝室林野局ニ對シマシテハ、農林省トシテ色々コチラカラ斯ウセヨト云フヤウナコトハ出來ナイ、是ハ全然出來マセヌケレドモ、内部的ニハ色々相談ヲシテ、互ニ連絡ヲ取ツテ行ク、殊ニ治水上ノ關係ニ付キマシテハ、從來モ帝室林野局ニ於テモ、其ノ點ニハ非常ニ御留意ニナツテ居リマシテ、縣當局或ハ農林省トモ十分ニ打合ヲ遂ゲテ、伐採其ノ他ノコトモ爲シテオ居デニナルヤウナ次第デアリマス、今後ニ於テモ民間等ヨリ色々御希望モアレバ、ソレヲ縣ナリ農林省ニ於テ取次ギ、又色々折衝ヲ申上ゲテモ宜シイ、斯ウ思ツテ居リマス
ソレカラ此ノ度ノ森林法ノ改正ニ付テ荒廢ト云フヤウナ文句ガナクナツタ、ソコデ國土保安ト云フ觀念ガ此ノ森林法ノ中ニ薄クナツタノデハナイカ、斯様ナ御懸念ノヤウデゴザイマスガ、是ハ私共ハ決シテサウ考ヘテ居リマセヌ、此ノ第十條ノ「森林生産ノ保護ヲ圖ル」ト云フコト、此ノ中ニハ無論

林野ノ荒廢ト云フコトガ第一ニ入ツテ居リマス、林野ガ荒廢スレバ森林ノ生産ノ保護ハ圖レナイ、詰リ此ノ度ノ方ガ多少意味ガ廣クナツテ居ル、即チ荒廢ト云フノハ森林生産ノ保護ヲ圖ル中ノ最も重要ナモノデアル、斯ウ思ヒマス、ソレカラ森林組合ノ設立ノ所デアリマシテモ、從來ノ荒廢ト云フコトダケデアルト、是ハ少シ狭キニ失シマシテ、荒廢ノ虞ガアル場合デナケレバ森林組合ガ出來ナイ、ソレヲモウ少シ廣ク、林産物ノ供出ノ増加、適地適木ト云フ意味カラ、更ニ森林組合經營ノ合理化ト云フ意味カラ森林組合ヲ作ルコトガ出來ル、サウ云フ森林組合ガ出來レバ荒廢ヲ防グコトガ勿論第一ニナル、其ノ點ニ付テ今マデハ消極的ノ意味ヲ持ツテ居リマシタモノヲ、今度ハ積極的ノ意味ニ於テ森林組合ヲ作ラセル、斯様ニ意味ヲ廣クシタ譯デアリマスガ、無論此ノ森林法ノ荒廢ヲ防グト云フコトハ森林法ノ大眼目デアリマシテ、其ノ點ニ於テ今度モ改正ヲ致シタ、隨テ例ヘバ此ノ度ノ法律ニ於キマシテモ、十一條ノ三ノヤウナ所ニ於テハ「國土保安其ノ他公益上特ニ」云々、サウ云フコトヲ謳ツテアル所モアリマス、森林法ノ基調ハ國土保安ト云フコトガ動カスベカラザルモノデアルト云フコト

ハ間違ヒアリマセヌ、其ノ點ハ全ク御同感デゴザイマス、左様御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス
○北原委員 只今ノ御話デ多少分リマシタ、併シ國土保安ト云フ字ヲ全然取ツテシマフコトハナイト思ヒマス、國土保安、森林荒廢ト云フヤウナコトガ大眼目デアルトスレバ、其ノ上ニ森林生産ノ保護ト入レテ行ツタ方ガ第一分リガ宜イ、假ニ之ヲ申シテ見マスト第十條ノ——是ハ私ノ我觀デアリマスガ「地方長官森林生産ノ保護ヲ圖ル爲」ト云フ所ヲ「國土保安森林生産ノ保護ヲ圖ル爲」トシタツテモ何モ惡イコトデハナイ、ソレカラ其ノ終ヒノ方ヘ行ツテ、伐採方法又ハ造林、砂防工事其ノ他伐採ニ伴フ必要ナ事項、斯ウヤツタツテ何モ惡イコトハナイ、此ノ御觀念ガドウモ私ニハ能ク分ラナイ、一體森林ト云フコトハ、無論國土保安ノコトモ何モ彼モ入ツテ居ルノデアルケレドモ、ソレヲ六十二條ノヤウニ儼然ト「國土保安ノ爲又ハ森林ノ荒廢ヲ防止シ」ト斯ウ書イテアルノヲ、何モ故ラニ拔イテシマフコトハナイト思フ、局長サンノ御辯明ハ至極御尤ノヤウデアアルガ、堅白異同ノ辯トシカ見ラレヌ、斯ウ云フ風ニ入レテモ何モ差支ナイト思フ、此ノ點ハ如何デゴザイマスカ

○村上政府委員 森林組合ノ所ハソレヨリ

カ少シ廣ク致シマシテ、國土保安ノ爲又ハ森林ノ荒廢ヲ防止シト云フコトニナリマスト、是ハ何處マデモ荒廢林野デナケレバ此ノ組合ハ作レナイ、所ガ此ノ度ハサウデナク致シマシテ、現ニ立派ナ森林業態ヲ成シテ居ツテ、荒廢ヲシテ居ラナイヤウナ所ニモ森林組合ヲ作ル、即チ積極的ニ森林經營ノ合理化ヲ圖リマシテ、其ノ結果ハ無論國土保安、森林ノ荒廢ノ防止ニ一番役立ツノデアリマスガ、サウ云フコトマデ致シタイ、ソレニハドウモ今ノ六十二條ノ一項デハ狭キニ失スルト思ヒマシタノデ、少シ廣クシタ、隨テ其ノ重點ガ國土保安或ハ荒廢ノ防止ト云フコトニ重キヲ置クノハ勿論デアリマス、唯荒廢林地デナケレバ森林組合ヲ作レナイト云フコトニナリマス、聊カ狭キニ失シマスノデ、少シ廣クシタ、決シテ國土保安、森林ノ荒廢ヲ防グト云フコトヲ第二義ニシタト云フコトデハナク、是ハ無論第一義ニ置ク、左様ニ御承知ヲ願ヒマス

○北原委員 成程森林組合ノ所ハ如何ニモ

局限サレタ組合ダケノ所デアルカラ宜シイノデアリマスガ、第十條ノ所ハ前ノ舊文デハ荒廢ノ虞ト云フヤウナ所モアルノデアリマス、唯單ニ森林生産ノ保護ヲ圖ル爲ト云フダケデハ少シ物足ラス、此ノ點ハ如何デアリマスカ

○村上政府委員 森林生産ノ保護ヲ圖ルト云フコトハ、結局森林ガ荒廢スルコトヲ防止シ、併セテ積極的ニ山ガ荒レテ其ノ林産物ガナクナツテシマフト云フコトヲ防ガウ、斯ウ云フヤウナ譯デアリマシテ、國土ノ荒廢ト云フコトヨリハ、稍、廣イ觀念ヲ持ツテ居ル、國土ノ荒廢ト云フコトニナルト、是ハ非常ニ考ヘ様ニ依リマシテハ非常ニ廣クナルノデアリマスガ、考ヘ様ニ依リマシテハ、極メテ狭ク解セラレマスカラ少シソレヨリ擴メマシテ、木ガ無クナツテ草地ニナツテ、森林狀態ヲ成シテ居ラヌ時デモ、場合ニ依ツテ荒廢ノ方カラ言フト多少危險性ガ薄イト云フヤウナコトガアルカモ知レマセスガ、此處デハ何處マデモ森林生産ノ保護ト云フコトヲ主ニ致シマシテ、國土ノ荒廢ヨリ稍、廣イ意味ニ解シタ、即チ森林生産ノ保護ト云フコトハ國土ノ荒廢ヲ防グト云フコトガ第一ノコトデアリマスガ、ソレヨリ稍、廣ク解シテ特ニ森林生産ノ保護ト云フコトニシタ、隨テ森林生産ノ保護ノ主タルモノハ國土ノ保安デアリマス

○北原委員 國土保安ヲソコノ中ニ入レナ

クテモ森林生産デ分ルト云フ御説ハ、成程サウカモ知レマセス、サウスレバ其ノ次ノ項デアリマスガ、造林トアレバ、總テ荒廢地ノ復舊モ入ルト仰シヤレバヤハリソシナ風ニモ取レルノデアリマスガ、造林ト云フ一ツノ科目トスレバ、其ノ間ヘ砂防工事等ヲ爲シテ行クト云フヤウニ入レテ行ツテモ宜クハナイカト思フ、此ノ點ハ如何デスカ

○村上政府委員 砂防工事モ廣イ意味ノ造林デゴザイマスカラ、ソレデ砂防工事ト云フ言葉ハ今マデノ法律ニモ無イノデゴザイマスガ、實際ハソレデ砂防工事ヲヤツテ居ルノデアリマスカラ、今度モ其ノ中ニ含ムト思ヒマシテ、此ノ中ニハ特ニ之ヲ書カナカツタノデアリマス

○北原委員 大體分リマシタガ、大變満足スル程デハナイト思ヒマス、此ノ點ハ宜シク當局ノ御觀念ノ上ニ、荒廢地ヲ救ツテ行クト云フ觀念モヤハリ餘程強調サレテ居ルヤウニナツテ居レバ大變私ハ宜イコトト思ヒマスケレドモ、御説ヲ承レバ全部ガ含シデ居ルコトハ無論デアリマスガ、此處ノ所ハ少シ不満足デアリマス、是ハ如何程押問答ラシテ居ツテモ無駄デアリマスカラ、是デ止メマス

ヲ一寸印刷サレテ御配リヲ願ヒタイト思ヒマス、是デ私モウ止メマス

○小山委員長 政府委員ニ御願致シマスガ、只今北原君カラ御要求ニナリマシタ荒廢地面積等ニ付テハ、改メテ印刷御配付ヲ願ヒタイト思ヒマス

○村上政府委員 承知致シマシタ

○小山委員長 尙ホ昨日要求致シテ置キマシタ松浦君ノ書面ヲ以テノ回答ハマダ御回答ガアリマセヌヤウデスガ……

○村上政府委員 畫持ツテ参リマス

○小山委員長 北君

○北委員 私ノ質問ハ後刻、北海道ニ關係ガアル分ガアルノデスガ、北海道廳長官ノ御出席アルヤウニ御願致シマス、先ヅ農林當局ニ御伺スル點ヲ申上ゲマス、既ニ各委員カラ基本的ノ質問ガアツタ後ノコトデアリマスカラ、私ハ簡單ニ二三ノ事項ダケヲ質問致シタイト思フノデアリマス、將來ニ於ケル木材ノ需給關係、特ニ「パルプ」資源ノ將來性ト云フ觀點カラ致シマシテ、茲ニ十年、五十年後ニ於ケル需給關係ニ於テ、當局ハ如何ナル見透シヲ持ツテ居ラレルカ、私ハ國內木材ノ供給ガ此ノ將來ノ發展ニハ到底間ニ合ハヌ爲ニ、絶對絶命的ニ過伐濫伐ニ陥ラナケレバナラスコトニナル、結

局治山治水ニ惡影響ヲ齎スコトハ火ヲ睹ルヨリ明カデアルト思フノデアリマスガ、當局ノ之ニ對スル見透シト對策、之ヲ伺ヒタ

○村上政府委員 現在立ツテ居リマス所ノ「バルブ」ノ自給計畫ニ依リマス、昭和十七年マデニ内地ニ於テ先程申上ゲマシタヤウニ百九十六万石、北海道ニ於テ二百二十万石増伐スル、斯ウ云フ計畫デアリマス、サウ致シマス、大體「バルブ」ノ資源トシテ今伐ツテ居リスモノハ、樺太等ヲ含メマシテ慥カ千万石位デゴザイマス、之ニ加ヘマシテ約千五百万石位ト一應見テ居リマス、併シハ色々ナ關係ニ依リマシテモウ少シ實際ハ増スダラウト私共思ツテ居リマス、併シナガラ「バルブ」會社ノ計畫ガ現在ノ設立ヲ認可サレタモノノ程度ニ止ルナラバ、只今申上ゲマシタ千五百万石ニ更ニ多少ヲ加ヘタ所デ止ルデアラウ、是ハ外ノ方ノ木材ノ需要ガ著シク激増シテ參リマスレバ、是ハ別デゴザイマスガ、「バルブ」自體カラ申シマスレバ、大體一面ニ於テ造林ヲ促進ヲ致シマスレバ、將來トモ供給シテ行カレルト思ヒマス、殊ニ今後ノ造林ト致シマシテハ、勿論北海道等ニ於テモ畑地ヲ造林シナケレバナリマセヌガ、他面ニ於キマシテハハ

「バルブ」資源ヲ造成スル、ソレニハ成長ノ早イ所ニ於テ「バルブ」ノ資源ヲ開發スルノ必要ガアリマス、即チ臺灣デアルトカ、サウ云ツタヤウナ方面ニ「バルブ」ニ適スル針葉樹ノ造林ヲスル、斯ウ云フコトニナリマス、北海道或ハ内地ノ北部ニ於テ「バルブ」資源ヲ造成スルヨリ餘程早クナル、サウ云フコトモ一面ニ於テハ考ヘタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○北委員 昨ハ目ノ前ノコトヲ言ツテ居ルノデハナイノデアリマシテ、森林事業トシテハドウシテモ少クとも三十年、五十年後ノコトヲ論ジテ行カナケレバナラス、各種ノ木材ノ需要竝ニ「バルブ」ノ關係カラ見テ行キマス、ソコデ昨日モ農林政務次官ラレルヤウナ、ソナナ容易イコトデ此ノ問題ガ解決スルハ斷ジテ私ニハ思ヘナイノデゴザイマス、ソコデ昨日モ農林政務次官ハ、此ノ改正森林法ノ實施ニ當ツテ、造林ニ對シマシテハ最高度ノ國土ノ利用ヲスルト云フ目的ノ爲ニ、國家ガ之ニ對シテ例ヘバ資金ヲ貸付ケルトカ、或ハ造林ガ可能のニナルヤウニ各種ノ助成ヲスルトカ、斯ウ云フヤウナコトニ對シテハサウ主方ヲ注ガス、單ニ森林所有者ノ自ラノ資力ト自發的ノ意思ニ依ツテ之ニ任セテ行クヨリ外ハナ

イノダト云フヤウナ、非常ニ呑氣ナコトヲ考ヘテ答辯ヲサレタヤウデアリマスガ、果シテソナナコトデ宜イノカドウカ、殊ニ「バルブ」ダケニ付テモソナナ簡單ナモノデヤナイ、「バルブ」ノ將來性ト云フコトニ付テハ、是非非常ニ發展性ノアルモノデアリマスカラ、當局ハ三十年五十年後ノ問題ニ對シテ森林ノ計畫ガ立ツテ居ラヌト云フヤウナコトデハ、是非森林政策トシテハ失敗デアルノデアリマス、私ハ少クとも三十年五十年後ノコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、コ、差向キノコトニ付テ申上ゲルノデハナイ、特ニ「バルブ」ノ將來ノ發展性、ソレニ對スル供給ガ國內ノ生産デ足リルト云フヤウナ御考ハ非常ニ私ニハ森林當局ノ誤ツタ計算ノ仕方デアルカノ如ク思ハレルデアリマス、ソナナ呑氣ナコトデ居ラレルカ、モツト眞劍ニ眞ニ最高度ニ國土ノ利用ヲシヨウト云フ御考ガアルカ、此ノ森林法改正ノ上ニ、又法規ノ適用ノ上ニ、吾々ハ考ヘテ見ナケレバナラスコトガアルノデアリマス、モツトハツキリシタ三十年五十年後ノコトニ付テノ一ツ見透シト對策ニ付テ伺ツテ置キタイ

○村上政府委員 昨日申上ゲマシタヤウニ造林ノ普及徹底ハ吾々モ眞劍ニ考ヘナケレバナラスト云フコトハ全ク北サンノ御意見ト同感デアリマス、隨テ大體自力デ造林シテ行クダラウト、斯ウハ申上ゲマセヌ、一面ニ於テ國家ノ有ユル方面ノ助成施設ヲ講ジテ造林ノ普及徹底ヲシナケレバナラス、ソレデナイト只今申上ゲマシタヤウニ、目先ノ所ハ成程千五百万石位ナ資材デ「バルブ」ハ足リルカモ知レマセヌガ、併シナガラ内地ノ森林蓄積其ノモノガ、減ツテ來レバ、他ノ方ニヤハリ木材ガ喰ハレマス、ノデ、「バルブ」ニ對スル所ノ供給ガ減ツテ參リマス、ソコデ内地全體ノ蓄積ヲ次第ニ殖ヤシテ行クト云フコトガ必要デアリマシテ、其ノ意味ニ於テ此ノ度森林法ノ改正モ致シタ譯デアリマス、即チ今後森林ノ經營ノ合理化ヲ圖リマシテ、之ニ於テ内地ノ蓄積ヲ増加スル、ソレニハ造林ノ徹底的獎勵モ致サナケレバナラス、ソコデ昨日モ申上ゲマシタヤウニ、明年度ヨリ造林ノ經費ヲ内地ノミニ於テモ六十五万圓増加致シタノデアリマス、併シナガラ之ヲ以テ足レリトスルノデハナクシテ、是ハ一端デアルト申上ゲタヤウナ次第デアリマシテ、更ニ五十年三十年ト云フ將來ヲ達觀致シマスレバ、今後大イニ造林計畫ヲ立テ、之ニ依ツテ急速ニ造林ノ普及徹底ヲ圖リマセヌト、是非重大ナ事ニ

ナラウト思ヒマス、其ノ點ニ付テモ全ク北サシノ御意見ト同感デアリマス、唯自力デ全部造林スルドラウト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デハアリマセス

○北委員 將來ニ於ケル見エ透イタ此「パルプ」ノ資源ノ不足、之ニ應ズル爲ニ一方ニ於テハ只今御話ニナリマシタヤウニ、眞劍ニ積極的ノ造林計畫ヲ進メテ行クト云フコトガ必要デアルト同時ニ、他ノ一方ニ於キマシテハ、消極的ノ方法トシテ「パルプ」ノ使用制限、斯ウ云フヤウナコトガ極メテ大切デアルト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テハ、此ノ制限ハ商工省ニ任シテ置クノデナシニ、將來ニ於ケル國土保安ノ見地カラ農林省ハ強力ナル消費節約、消費制限ヲ主張セラルベキデアルト思フノデアリマス、例ヘバ今日總テノモノガ消費節約ヲヤカマシク言ハレテ居ル際デアアルニ拘ラズ、社會ノ木鐸ヲ以テ任ジテ居ル所ノ彼ノ新聞紙ガ、「キング」ノ廣告ニ一頁大ノ紙ヲ使ツテ居ル、斯ウ云フコトヲサセテ居ルノデアリマス、是ハ何タル無態デアアルカ、國民ハ本當ニ覺シテ居ルト思フノデアリマス、政府當局ハ本氣デアアルカ、消費節約或ハ物價問題ニ付テ本氣ナノカドウカト言ツテ、國民ハ疑ツテ居ルヤウナ狀況デアリマス、人或ハ

此ノ言論機關デアアル新聞ニ、政府當局ガ氣嫌ヲシテ、サウシテヤレヌノダト云フヤウナ見方ヲシテ居ル者モ居ルシ、或ル種ノ人達ハ商工省ノ役人達ハ藤原銀次郎ニマルデ願デ使ハレテ居ル、サウシテ斯ウ云フコトガ出來ナイトハ、國民ニ對シテ消費節約ヲ説キナガラ、何タルザマデアアルカ、一刻モ早ク斯ウ云フヤウナコトニ對シテハ農林當局ハ商工省當局ニ任スダケデナシニ、嚴重ナ態度ヲ執ツテ所謂國土保安ノ考カラ、此ノコトニ對シテ善處サレコトガ必要ダラウト思ヒマス、之ニ對スル御決心ヲ承リタイト思フノデアリマス

○村上政府委員 紙ノ消費節約ニ付キマシテモ、御承知ノ通り政府ニ於テ相當計畫ハ立テヤツテ居リマス、其ノ中ニハ新聞用紙ノ消費節約モ入ツテ居リマシテ、ソレニ依ツテ新聞用紙ニ對シテモ相當ナ節約ガ行ハレテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、尙ホ是等ノ點ニ付キマシテハ十分商工省ガ中心ニナリマシテ、各省ト連絡ヲ取ツテ今後モヤツテ行ク積デアリマス

○北委員 次ハ北海道廳關係デスガ、長官ハマダ御見エニナリマセヌカ
○小山委員長 北君ニ申上ゲマス、北海道長官ハ廳テ御見エニナルト思フノデアリマ

ス、若シアナタノ御質問ノ都合上一時御中止ニナツタ方ガ宜シケレバ、御出席ノ上ニ御願致シマス
○北委員 ソレデハ一時中止スルコトニ致シマス

○小山委員長 小田君
○小田委員 私ハ缺席勝チデアリマシタノデ重複スルヤウナコトガアリマシタラ速記録ニ依ツテ諒承スルヤウニ言ヒ付ケテ戴キタイト思ヒマス、此ノ新シク改正サレヨウトサレマス方針モ大體ニ於テ諒承致スノデアリマスガ、只今北委員ガ申サレマシタ如クニ、ドウモソレガ「パルプ」資源ノ點ニ於テ、製紙ニセヨ、或ハ人絹等ニ致シマシテモ、又其ノ「パルプ」ガ火藥、軍用ニモ使用セラレルト云フ國防産業的ナ重要性ヲ持ツテ居ルモノデアアルニ拘ラズ、此ノ林業ト云フモノガ、或ハ民有材ト云フモノガ私人經濟トシテ取扱ハレ勝チデアアルコトヲ非常ニ遺憾ト致シマス、只今マデノ政府當局ノ御答辯ノ中ニモ私有林デアアルカラト云フヤウナ觀念ヲ非常ニ濃厚ニ御持チノヤウデアリマシテハ、山材又ハ國防資源ノ點カラ致シマシテ、私人經濟トシテ、私有物トシテ之ヲ見ルト云フコトハ許サレナイトフ思ノデア

リマス、是ハ國家ノ有トシテ、若クハ國用ノ具ト致シマシテ吾々ハ見直サナケレバナラナイトフ思ノデアリマスガ、其ノ點ニ於キマシテ當局ノ御見解ヲ一應承リタイト思ヒマス

○村上政府委員 山林ノ效用ハ非常ニ甚デアリマシテ、山林ノ經營ハ相當ニハ公益性ヲ帶ビルコトトハ思ヒマス、併シナガラ御承知ノ通り山林ノミヲ之ヲ私有カラ國家ノ權力ニ移シテ、全部國ノ目的ノ爲ニ、私益ト云フコトヲ離レテ實行スルト云フコトハ、現在ノ情勢ニ於テハ是ハ困難ト思ヒマス

○小田委員 現在ノ段階ニ於テハ尙ホ困難性ヲ持ツト云フコトハハツキリ致シタコトデアリマスシ、又單ニ森林資源ノミヲ國有化スルト云フコトモ尙早性ヲ有ツノデアリマスガ、林政ノ衝ニ當ラレル當局トサレマシテハ、少クモ其ノ方向ニ向ツテ思案ヲシ、又ハ考察シテ、指導シテ行ク必要ガアルト考ヘルノデアリマス、併シ其ノ問題ハソレ以上入レバ理窟的ナ、討論的ナコトニナリマスノデ此ノ程度ニ控ヘマスガ、才配リナリマシタ資料ノ中ニアリマス御料林ガ相當ニアルノデアリマスガ、此ノ御料林ノ存置サレテ居リマス目的ニ付テ一寸簡單ニ

御説明願ヒタイト思ヒマス

○村上政府委員 是ハドウモ私カラ間違ツタ説明ヲ致シマス、後デ又非常ニ面倒ナコトニナリマスカラ、御許ヲ願ヒタイト思ヒマス

○小田委員 間違ツタ御答辯ガアルトイケナイカラ答辯ヲサレナイト言ハレルノデアリマスカ、モウ一應御伺致シマス

○村上政府委員 是ハ皇室財産ニ關スルコトデアリマスカラ、御料林ノ成立、目的ト云フコトヲ私カラ此處デ申上ゲマスコトハ、是ハ僭越デアラウト思ヒマス、ソレデ今申上ゲタ通りデアリマス

○小田委員 御皇室ノ御財産デアアル、故ニ其ノ效用ニ付テ政府ガ之ヲ案ズルコトハ僭越デアルト云フコトハ一應ハ考ヘラレルノデアリマスカ、元來政府ゾレ自體ガ御皇室ノモノデアアル、陛下ノモノデアアル、陛下ノ御親政ヲ翼贊シ奉ツテ居ルノガ政府デアアル、又吾々デアアル、其ノ點ニ於テ此ノ國事多端ノ際、未曾有ノ大國難ニ對シテ御皇室ガ非常ニ御心配遊バシテ居ルト云フコトハ、吾々モ能ク拜察致シテ居ルノデアリマス、デアレバ、實ニ多分ノ御料林ガ茲ニ存置サレテ居ル、其ノ御料林ノ國家的ナル民族のナル活用ヲ考ヘルコトガ出來ルトシタナラバ

私ハ是コソ政府トシテノ忠ナル所以デアルト考ヘマスカ、如何デアリマスカ

○村上政府委員 大體ニ同感デアリマス

○小田委員 次ニ社寺有ハ如何ニ御考ニナツテ居リマスカ、之ヲ今申シマスカウナ新時局ニ對應シテ、之ヲ活用スルト云フコトヲ御考ニナツテ居リマスカ、如何デアリマスカ

○村上政府委員 社寺有モ是ハ新時局ニ對應シテ活用シナケレバナラスト思ヒマス、唯社寺有ノ面積ハ御承知ノ通り十五万町歩デ、割合ニ少イノデアリマス

○小田委員 十五万町歩ハ少イヤウニ考ヘラレルモ當然デアリマスケレドモ、僅カ五百町歩ノ民有地ヲモ一切之ニ統合シテ施業案ヲ立テヤウトサレルニ於テハ、十五万町歩ト云フ厖大ナル森林ヲ小ナリトシテ放置スルコトハ考ヘラレナイコトデアリマス、尙ホ只今北委員カラ御話ガアツタノデアリマスカ、新聞紙用紙ノ節約、使用制限ト云フコトデアリマス、是ハ需要供給ノ關係カラ起ツテ居ルコトデアアルハ勿論デアリマス、併シナガラ之ヲ斷行シテ行クニ付テハ私ハ一ツノ方針ヲ立テル必要ガアルト考ヘルノデアリマス、ソレハ單ニ節約シロ、或ハ新聞デアレバ是々以上ノモノハ使用シナ

イヤウニシテ吳レト云フコトヲ、現在ノ發行高ニ比例シテ命ゼラレト云フコトハ、非常ニ片手落ノコトデアルト思フノデアリマス、何故カナレバ今日ノ新聞雜誌等ヲ見マス、國家ノ進運ニ最モ順應シタ國家的ナ役割ヲ果シテ居ルモノガアルシ、又逆ニ實ニ反國家的ナ作用ヲ持ツテ居ル言論文書ガ横行シテ居ルノデアリマス、近來ハ稍、步調ヲ揃ヘタカニ見受ケラレルノデアリマスケレドモ、ココ數年以前ニ於キマシテハ、吾々ノ能ク感じタコトハ、日本國中ノ大新聞ノ中ニ、實ニ反國防的ナ言論ヲ弄スルモノガアツタリ、或ハ自由主義的ナモノガ見受ケラレタリ、又ハ財閥擁護ニ汲々タルモノガアツタリシタノデアリマスカ、今日ノ此ノ時局ハ、吾々ハ斯ル言論機關ノ一刀兩斷

ナ存在ニ對シテハ、容赦ナク鐵槌ヲ喰ハセル必要ガアルト考ヘマス、其ノ方向ニ向ツテ、即チサウ云フ方針ノ下ニ、自由主義的ナルモノ、或ハ資本主義的ナルモノ、ソレ故ニ反國防的ナルモノ、反民族主義的ナルモノノ發行ヤ或ハ刊行ニ對シテ、極度ノ制限ヲ加ヘル必要ガアルト思フノデアリマスカ、之ニ對スル御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○村上政府委員 御意見ハ拜承致シマシテ、ソレノ所轄ノ筋ニ傳ヘタイト思ヒマス

○小田委員 此ノ國土保安ノ爲ノ森林デアリマスカ、總體ニ其ノ目的ノ爲ニスル所ノ森林ガ僅少ニ過ギルト考ヘマス、只今モ委員ヨリ質問ガアリマシヤウニ、六甲山嶺ノアノ悲慘事ニ致シマシテモ、國土保全ノ全キ狀態ニ林政ガ施行サレテ居タトハ申サレナイノデアリマス、又昨年ノ鹿兒島縣ニ於ケル暴風雨ニ依ル所ノ五百名近イ行方不明者ヲ出シタ事態ニ致シマシテモ、國土保全ガ全クナサレテ居ナカツタガ故デハナイカト考ヘラレマス、ソレニ又單ニ國土保全ト云フ目的ノミカラデハナクシテ、農產物ノ防衛ト云フ點カラ致シマシテ防風林施設ガ至ツテ貧弱ノヤウニ考ヘルノデアリマス、私ハ暴風デハ有名ナ沖繩ニ居ルノデアリマ

スガ、此ノ沖繩ガ年々歳々恒例トシテノ贈
風ヲ喰ツテ居ルニ拘ラズ、防風林施設ト云
フモノガ殆ド取ルニ足ラナイノデアリマス、
御承知カトモ思ヒマスケレドモ、沖繩本島
ノ中頭郡或ハ島尻郡又ハ宮古島、是等ノ地
方ハ毎年ノヤウニ甘藷又ハ甘蔗ヲ二割ナリ
三割ナリ暴風ノ爲ニ奪ハレテ居ル、ソレ故
ニ農民ガ食糧飢饉ニ陥リ、餓死ヲスル、又
ハ蘇鐵ヲ食ベテ漸ク飢ヲ凌ガナケレバナラ
ナイヤウナ慘憺タル状態ニ落サレテ居ルニ
拘ラズ、尙ホ防風林施設ト云フモノハ殆ド
施サレテ居リマセヌ、斯ウ云フヤウナ状態
ニ置カレテ居リマス時、此ノ施業案ハ五百
町歩以上ノ森林ヲ有シテ居ル者ノミノ施業
案デアツテ、ソレ以下ノ者ハ之ニ何等加ハ
ルコトモ出来ナケレバ又關心モ持タナイデ
宜イヤウナ状態ニ置カレテ居リマス、デア
ルカラ沖繩ナドノ如クニ農作物ヲ防衛シナ
ケレバナラナイ、防風林ノ必要ヲ認メテ居
テモ、其ノ防風林ヲ特ニ増設スル、植付ケ
ルト云フヤウナコトガ考ヘラレナイノデア
リマスガ、之ニ對シテハドウ御考ニナツテ
居リマスカ

○村上政府委員 沖繩縣ニ防風林ヲ徹底的
ニ施設スルコトハ、沖繩ノ農作物ノ繁榮ヲ
期スル上カラ言ツテモ極メテ必要ダト思ヒ

マス、之ニ付キマシテハ、農林省モ既ニ年々
沖繩縣振興事業費ノ中デサウ云フモノヲ
實行シテ居リマス、併シナガラ尙ホ此ノ金
額等ニ付テハ更ニ考慮ノ餘地ガアラウト思
ヒマス、勿論斯様ニシテ海岸ニ防風林ヲ設
定致シマシタモノハ、是ハ保安林ニ致シマ
シテ無論伐採等ハ認ムベキモノデハゴザイ
マセヌ、併シナガラ是ハ森林組合ト云フヤ
ウナ森林ノ施業ヲスル所ノモノトハ性質ガ
違ヒマシテ、是ハ海岸ノ防風林トシテ永久
ニ保存シテ行カナケレバナリマセヌモノデ
スカラ、是ハ森林組合等ヲ作ツテ伐採ヲス
ルトカ或ハ合理的ニ施業ヲスルトカ云フヤ
ウナモノトハ離レテ居リマスカラ、ソレデ
森林組合ト云フヤウナモノノ中ニハ入レマ
セヌガ、是ハ無論森林法ヲ適用シテ將來ト
モ永久ニ保存シテ行カナケレバナラヌモノ
ダト考ヘテ居リマス

○小田委員 サウ云フヤウナ農産物ヲ保護
シ或ハ防衛スルト云フコトハ、個人經濟カ
ラ見マスト、個人ノ勤メデアルカノヤウニ、
サウシテ個人ノ自由勝手デアルカノヤウニ
一應ハ考ヘラレデアリマス、併シナガラ
日本ノ今日ノ戦争ハ農民ノ生産スル所ノ食
糧補給ナクシテハ絶對ニ不可能ナ事デアル、
此ノ一事カラ見マシテモ、決シテ之ヲ個人

ノ自由意思ニ委セルトカ、或ハ自由氣儘ニ
依ツテ植林ヲスレバ使用シ、伐採シタケレ
バ伐採シテ結構ダト云フヤウナ状態ニ置ク
ト云フコトハ、私非常ニ不合理ナコトダト
考ヘマス、其ノ點カラモ最初伺ヒマシタヤ
ウニ、森林ノ經營ニ付テハ之ヲ可及的速ニ
國營化スベキモノデアルト私ハ考ヘマス、
農作物保護ノ問題モ農民個々ガ之ヲ防衛ス
ルト云フダケデナクシテ、防風林ノ如キハ
宜シク國家ガ之ヲ行フベキモノデアルト考
ヘルノデアリマスガ、之ニ對スル御意見ヲ
伺ヒタイト思ヒマス

○村上政府委員 沖繩縣ノ防風林ノ如ク特
殊ノ必要ナモノニ付テハ國家ガ相當力ヲ入
レベキモノダト思ヒマス、勿論斯様ナモノ
ニ付キマシテハ、只今ニ於テモ三分ノ二ト
云フ高率ノ補助ガゴザイマス、斯様ナ次第デ
出来マシタ所ノ防風林デアリマスカラ、是
ハ勝手ニ伐ツタリナンカスルコトハ無論出
來ナイノデアリマス、是ガ伐ラレマスレバ、
ソレニ依リマシテ當然其ノ防風林ニ依ツテ
保護サレタ所ノ總テノ農作物ニ惡影響ヲ及
ボシマス、斯様ナモノハ嚴重ニ取締ツテ行
カナケレバナラヌコトハ勿論デアリマス
○小田委員 勿論御説ノヤウニ三分ノ二ト
云フ高率ノ補助ガナサレテ居ルノデアリマ

スガ、只今申シマシタ中頭、島尻、宮古三
郡ノ如キ、此ノ補助施設ガ講ゼラレツツア
ルニ拘ラズ、一向ニ防風林ハ殖エテ行カナ
イノデアリマス、ソレハナゼカト云フト、
残り三分ノ一ノ支出スラ儘ナラヌカラデア
リマス、併シナガラソレヨリモ大キナ原因
ハ、耕地ガ僅少デアルカラデアリマス、僅
カ三反百姓デアツタリ、或ハ精々五反百姓
デアル、又ハ小作人デアルト云フヤウナ立
場ニアル者ガ、防風林施設ニ當ツテ其ノ三
分ノ一ノ費用ヲ釀出スルコトハ假ニ出來ル
ト致シマシテモ、其ノ土地ヲ提供スルコト
ガ至難ナ状態ニアルノデアリマス、之ヲ個々
ノ農家ニ任セルト云フコトニ依ル所ノ防
風林設定ト云フコトハ、私ハ非常ニ至難ニ
近イモノデアルト考ヘマス、ソレニ國家ガ
之ニ對シテ土地ノ買収ナリ或ハ其ノ收用ナ
リト云フ強イ力ヲ以テ爲スノデナケレバ不
可能ニ近イト考ヘルノデアリマスガ、之ニ
對スル御意見ヲ伺ヒマス

○村上政府委員 國家ガ更ニ強力ナル所ノ
施設ヲシテ、例ヘバ土地ノ買上等モ實行シ
ロ、斯ウ云フヤウナ御話デアリマスガ、是
ハ成程沖繩縣邊リノ實情ニ依リマスレバ、
或ハソコマデ行カス必要ガアルノカモ知レ
マセヌ、是等ノ點ニ付キマシテハ、經費ノ

都合モアリマスノデ、更ニ篤ト考慮シタイ
ト思ヒマス

○小田委員 只今ノ政府ノ御答辯ニ對シテ
非常ニ大キナ期待ヲ掛ケテ居リマス、宜シ
ク御善處アリタイト思ヒマス

次ニ私御尋致シタイト思ヒマスノハ、御
承知ノヤウニ沖繩縣ハ砂糖ニ依ツテ生キテ
居ルノデアリマス、縣民ノ七割ハ農民デア
リ、其ノ大部分ガ砂糖ヲ生産スルコトニ依
ツテ生活ヲ致シテ居リマス、黒糖ガ今期ハ
百万挺ヲ突破シ、或ハ百十四万挺ニモ届
クノデハナイカト豫想サレテ居ルノデアリ
マスガ、是ハ昨年ニ比ベマスレバ、優ニ三
十万挺前後ノ大増産デアリマス、此ノ増産
ニ加ヘルニ、近來北支方面ノ開發ニ伴ヒマ
シテ、鹿兒島縣ノ大島郡邊リカラ、鐵道若
クハ鑛山用ノ坑木ガ大量ニ輸出サレテ居ル
ノデアリマス、其ノ影響ヲ受ケテ、沖繩ノ
農民ノ生産スル所ノ黒糖ノ樽側ノ飢饉ガ到
來致シテ居リマス、其ノ爲ニ樽側一挺分六
七十錢ノモノガ、一躍一圓十錢前後ニマデ
暴騰スルト云フヤウナ狀態デアリマスガ、
是ハ沖繩ソレ自體ガ此ノ樽側ノ用材ヲ持タ
ナイカラデアリマス、樽側ダケデハナクシ
テ、薪炭ニスラ事缺ク狀態ニアリマス、之
ニ對スル當局ノ對策ヲ御尋致シタイト思ヒ

マス

○村上政府委員 今年沖繩縣ノ黒糖ガ割合
ニ豐産デアリマシテ、其ノ結果樽ガ要ル、
其ノ樽ガ色々ナ關係デ少イ、斯ウ云フヤウ
ナ御話デゴザイマス、洵ニ是ハ御同情スベ
キコトト思ヒマス、出來得ル限り國有林等
ニ於キマシテ、是ガ供給ニ對シテ完全ヲ期
シタイト思ツテ居リマス

○小田委員 黒糖ノ値ノ如何ニ依ツテ、沖
繩農民ノ生活ノ難易ガ決定サレルノデアリ
マシテ、一挺分十二三圓ニ對スル樽側ノ一
圓前後ノ價格ト云フモノハ、隨分ト大キナ
影響ヲ及ボスノデアリマス、ソレニ拘ラズ
今マデノ所、當局トシテノ對策ガ十分ニ講
ジラレテ居ラズ、サウシテ御言葉ノ通り沖
繩ニハ國有林ガ隨分アルノデアリマスガ、
其ノ活用ト云フコトガ爲サレテ居ラナイノ
デアリマス、御承知ノヤウニ八重山郡ニハ
石垣島或ハ西表島ガアリマシテ、其ノ兩島
ニハ林野ガ相當アルノデアリマス、分ケテ
モ西表島ハ全島林野デアリマス、殆ド雜木
ヲ以テ埋ツテ居ル、ソレニ拘ラズ當局ハ今
マデ此ノ西表島ニ對シテハ、爲スコトガナ
カッタノデアリマス、假ニ施ス所ガアツタ
トスルナラバ、山林關係ノ官員ヲ幾人カ配置
シテ置イテ、僅カバカリノ植林ノ試験ヲサ

セル、其ノ程度デアリマス、アア云フ濕氣
ハ多イシ、サウシテ其ノ林野ノ開發ト云フ
コトヲ、全然禁止致シテ來ク關係上、雜木
ハ年々普及シテ行ク、其ノ儘放置サレテ來
タノデアリマス、吾々ノ考ヘル所ニ依リマ
スレバ、之ニ對シテ徹底的ニ植林ヲスル、
或ハ開發ヲスルナレバ、國土ハ保存サレ、
ソレ以上ニ其ノ土地ヲ有效ニ活用スルコト
ガ出來ルト考ヘルノデアリマスガ、殆ド顧
ミラレナカツタ、仍テ私ハ只今沖繩農民ノ
重大問題トシテ考ヘマス所ノ樽側ノ原料ト
シテ、西表島ノ雜木ヲ材料ニ提供スルヤウ、
御配慮願ヒタイト思フノデアリマスガ、如
何ナモノデアリマセウカ

○村上政府委員 西表島ノ開發ハ全ク御同
感デアリマシテ、私共モ其ノ觀點カラ來年
度ヨリ西表ニ營林署ヲ設ケマシテ、是ガ開
發ニ努メル、其ノ結果西表ニアリマシテ今
マデ利用セラレナイ所ノ雜木等ハ、相當供
給ガ豐富ニナルト思ヒマス、此ノ一部ガ若
シ黒糖ノ樽材料トシテ消費セラレルヤウナ
コトガ出來マスレバ、是ハ非常ニ結構ト思
ヒマス

○小山委員長 一寸小田君ニ御諮リシマス
ガ、先刻北君ハ北海道長官御出席マデ、北
海道長官ニ對スル質問ヲ保留シテ居ラレマ

ス、只今北海道長官ガ御出席ニナリマシタ
ノデ、此ノ際アナタノ質問ヲ一時保留ヲ願
ヒマシテ、北君ニ發言ヲ御譲リ願ヒタイト
思ヒマス——北君

○北委員 北海道ノ森林ハ既ニ久シキニ互
リマシテ、利權屋ノ喰物ニナツテ全ク荒レ
果テテシマツテ居ルノデアリマス、ソコデ折
角ノ本法ノ改正モ時既ニ遅ク、所謂六萬十
菊ノ憾ガアルノデアリマス、國家ノ爲ニ私
ハ洵ニ遺憾ニ堪ヘナイト思フノデアリマス
ガ、北海道ニハ既ニ資料デ示サレテ居リマ
ス通り、百四十万町歩ノ私有林ガアルノデ
アリマス、其ノ中無立木地ガ三十五万町
歩、實ニ四分ノ一ガ無立木地ニナツテ居ル
ノデアリマス、其ノアトノ立木地ニナツテ
居ル部分モ、實ニ是等ノ利權屋ノ食ヒサラ
シタモノデ、全ク伐リ放シデ、極メテ粗林
デアリマス、誰デモ北海道ヲ旅行シタ人
ハ、熊笹ノ禿山ノアルノヲ直グニ目ニ付ク
ヤウナ狀況ニナツテ居ルノデアリマス、北
海道ノ私有林ノ成立チハ、以上ノ如ク利權
屋ニ依ツテ大面積ノ土地ガ獲得サレ、其ノ
木モ伐リ放シニナツテ居ルノデアリマシテ、
地元住民トハ凡ソ縁ノ遠イモノニナツテ居
ルノデアリマス、不在地主ノ所有ニバカリ
ナツテ居リマシテ、地元住民ニハ全ク他人

扱ニサレテ居ルノデアリマス、爲ニ今回森林法ガ折角改正サレマシテモ、山林ガ斯ノ如ク地元ト沒交渉デアル以上、國家ノ所期スル所ノ目的ノ達成ハ、洵ニ至難デアルト思フノデアリマス、私ノ狹イ範圍ノ經驗カラ言ヒマシテモ、實ハ地元住民ト沒交渉デ、造林事業ハ旨クヤツテ行ケルモノデハナイト云フコトハ明カナ事實デアルト思フノデアリマス、此ノ點ニ關シマシテ道廳當局ハ如何ニ考ヘラレテ居ルカ、之ヲ一ツ伺ツテ見タイノデアリマス

○半井政府委員 只今御話ノ森林法ノ改正ニ伴ヒマシテ、今後民有林ノ經營ヲ最モ效果のニヤツテ參リマスニ付キマシテ、地元ノ住民ト密接ナル關係ヲ以テヤツテ行クコトガ必要デアルト云フ御意見ハ洵ニ御尤モデアリマシテ、今後トモ出來ルダケサウ云フ方針ニ依ツテ進メタイト考ヘテ居リマス

○北委員 サウ云フ方針ハ大變結構デアリマスガ、然ラバ具體的ニドウスレバ宜イカト云フ問題デアリマス、不在地主ノ土地ノ全部トハ言ヒマセスガ、少クトモ一部ハ地方住民ノ所有ニ移スト云フ方策ヲ此ノ際執ルコトガ必要デアラウト思ヒマス、ソレガ爲ニハ低利資金等ヲ供給シテ、サウシテ私有林ノ不在地主ノ分ヲ一部買ハス、全部ト

ハ言ハナイ、サウ云フ方策ヲ御執リニナル御考ハナイカ、之ヲ承リタイト思ヒマス

○半井政府委員 只今御述ベニナリマシタ地方ノ住民ガ森林經營ノ主體トナツテヤツテ參リマス爲ニ、出來ルダケ不在地主ノ所有ニ係ルモノヲ一部デモ之ヲ地元民ニ持タセルヤウナ方途ヲ講ズル、ソレニハ或ハ低利資金ノ融通ナドヲ道廳ニ於テ斡旋スルト云フヤウナコトモ是モ方針トシマシテハ洵ニ結構デアアルト思フノデアリマス、唯低利資金ノ貸出シ、又低利資金ヲ借受ケマシテ、ソレヲ利用シテ行キマスニ付キマシテハ、色々必要ナ條件ガヤハリ具備シナケレバナラヌノデアリマスルシ、方針トシテハ御尋ノヤウナ方向ニ仕事ヲ進メテ參リタイト思ヒマスルガ、急速ニ其ノ實行舉ゲルコトハ相當各地方トモ困難ナ事情ニアルノデハナイカト考ヘマス

○北委員 折角森林法ガ北海道ニ施行サレマシテモ、ソレガ出來ナイト全ク畫餅ニ終ルノデアリマス、ドウカ一日モ早く途ヲ開イテ戴クヤウニ希望シテ置キマス

其ノ次ハ北海道ノ薪炭林ニ付デアリマスガ、北海道ハ御承知ノヤウニアンナ極寒ノ地デアリマシテ、殆ド六箇月間ハ雪ニ閉デ籠メラレテ居ルノデアリマス、サウ云フ

ヤウナ特殊ナ氣候ノ場所デアアルニ拘ラズ、薪炭林ニ付テハ開拓ノ最初カラ何等考慮ニ入レラレテ居ライノデアリマシテ、是ハ全ク林政ノ重大ナル缺陷デアアルト私ハ思フノデアリマス、住民ノ薪炭林ニ付テ、當局ハ今後如何ニシテ行カレル積リデアルカ、現在ノ住民ハ誰モ薪炭林ヲ持ツテ居ル者ガナイ、如何ナル方法ヲ執ツテ行カレル積リデアルカ、之ヲ一ツ承ツテ見タイト思ヒマス

○半井政府委員 北海道ノ住民ニ對シテ薪炭林ノコトヲ從來餘リ考慮サレテ居ラス、ソレニ付テ今後ドウ考ヘルカト云フ御質問デアリマスルガ、薪炭林ノコトニ付キマシテモ、從來道廳ニ於テ是ハ住民ノ生活、殊ニ拓殖ノ使命ヲ達シテ行ク上カラハ必要ナコトデアリマスカラ、勿論住民ニ薪炭用ノ資材ヲ提供スルト云フコトハ固ヨリ考ヘテ居ルノデアリマシテ、今後モ亦十分其ノ目的ニ適フヤウニ致シテ行キタイト考ヘテ居リマス、例ヘバ國有林ヲ官行斫伐シマヌヤウナ場合ニ於テモ、用材ハ他ニ利用致シマシテモ、其ノ一部ニアリマスル薪材同ノモノハ、是ハ出來ルダケ住民ノ方ニ特賣ヲスルナリ何ナリ致シマシテ、住民ノ生活ニ必要ナ薪材ト云フモノノ供給ハ今後トモ十分考ヘテ行キタイト思ツテ居リマス

○北委員 道廳ガ地方住民ノ薪炭材ノ拂下等ニ付テサウ云フ方針ヲ持ツテ居ラルルコトハ甚ダ結構デアリマスガ、唯ソレヲ持續的ニ計畫的ニ與ヘラレルヤウニナツテ居ラスコトハ甚ダ遺憾ニ考ヘマス、ドウシテモ之ヲ一ツ計畫的ニドレダケノ住民ガ居レバドレダケノ薪炭ガ要ルト云フコトハ明カデアリマスカラ、ソコデ計畫的ニ之ヲ與ヘルヤウナ途ヲ開イテ戴カナケレバナラスト思ヒマス、更ニ木材ノ拂下ニ付キマシテハ、往々ニシテ其ノ地方ニ於ケル工場所有主ニハ優先權ヲ以テ拂下ヲ簡易ニシテ居ラレルヤウデアリマスガ、併シ地方住民ノ薪炭材等ノ拂下ニ對シテハ稍、手續ガ面倒デ、可ナリ高價ナ價格ヲ拂ハサレテ居リマス、之ヲモツト手續ヲ簡易ニシテ、安ク與ヘルヤウニシテ戴キタイノデアリマス、更ニ北海道ニハ御料林モ澤山アルノデアリマスカラ、道廳當局カラ一ツ御料林ノ方ニモ然ルベク交渉ヲ願ヒマシテ、此ノ兩者ヲ同ジヤウナ方針ニ依ツテ、簡易ナ手續、安イ料金デ拂下ガ出來ルヤウニ御配慮願ヒタイト思フノデアリマス、之ニ對スル御方針ヲ承リタイト思ヒマス

○半井政府委員 只今ノ御意見洵ニ御尤デアリマシテ、今後一層サウ云フ方面ニ力ヲ

致シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○北委員 次ハ飼料及ビ堆肥材料トシテ國有林或ハ地方費林ノ下草刈ヲ許サレル意思ハナイカト云フ間デアルノデアリマス、御承知ノヤウニ濃厚飼料ノ輸入難、ソレカラ肥料ノ輸入難、斯ウ云フヤウナ狀況ニナツテ居ル今日ニ於テハ、之ヲ補フ方法トシテハ、雜草ノ採取ニ依ツテ行クヨリ途ハナイノデアリマス、而シテ今日マデノ採草地ト云フモノハ、是ハ既ニ森林以外ノ方面ニ於テハ十二分ニ利用サレテ家畜ハ飼ハレ、或ハ堆肥材料トシテ競争シテ刈取ツテ居ルト云フ狀況デアリマシテ、是以上ノ採取ヲ増加スルト云フコトハ非常ニ困難ナコトデアルノデアリマス、隨テ此ノ森林下草等ノ採取ヲサセナケレバナラスト思フノデアリマス、内地ニ於テハ國有林ノ下草刈等ガ行ハレテ居ルヤウデアリマスガ、唯北海道ニ於テハ其ノ例ヲ餘リ見ナイノデアリマス、ソコデドウシテモ是ハ北海道デ其ノ途ヲ開イテ戴キマシテ、或ハ適當ナ時ニ森林ノ下草ヲ刈ツテ飼料ニスルナリ、或ハ堆肥材料ニコトニ積ンデ置イタモノヲ持ツテ來ルト云フコトニシナケレバナラスト思フノデアリマス、殊ニ北海道ノ畜産デ今一番困ツテ居ルコトハ馬ノ骨軟症ノ問題デアリ

マス、水田地帶等ニ於テハ骨軟症ニ非常ニ惱マサレテ居ルノデアリマスガ、是ハ野草ヲ食ハセレバ癒ル、野草ヲ食ハセレバ馬ハ骨軟症ニ罹ラナイ、藁ヲ食ハサス地方ニハ骨軟症ハ全然ナイノデ此病氣ハ起リマセス、農林省デハ澤山ナ費用ヲ掛ケテ骨軟症豫防ノ技術員ヲ配置シテ「カルシューム」ヲ食ハストカ何トカヤツテ居リマスガ、アア云フコトヲヤラナクトモ、雜草ヲ喰ハセサヘスレバ癒ルノダカラシテ、一ツ斯ウ云フヤウナ途ヲ開クコトハ軍馬資源保有ノ上カラモ非常ニ大事ナコトト思フノデアリマス、ソコデ一ツ北海道ニ於キマシテモ、斯ウ云フヤウナ方面ニ付テ大イニ途ヲ開キ、又途ヲ開クダケデナシニ大イニ之ヲ獎勵シテ、サウ云フヤウナ用ニ供スル、堆肥材料或ハ飼料、殊ニ馬ノ骨軟症ニナラス豫防ノ飼料トシテ斯ウ云フモノヲ用ヒサスト云フコトハ、一番大事ナコトト思フノデアリマス、此ノコトニ關シマシテ一ツ當局ノ御意見ヲ承リタイ

○半井政府委員 國有林其ノ他ノ下草ヲ堆肥又ハ飼料等ニ供スル爲ニ、出來ルダケ地方住民ニ其ノ下草刈ヲ許セト云フコトデアリマスルガ、是ハ現在ニ於テモ北海道廳ニ於テハ相當許シテ居ルノデアリマス、今後

更ニ其ノ途ヲ擴ゲマシテ十分住民ニ下草ヲ利用サセルヤウナコトニハ努メテ行キタイト考ヘテ居リマス

○北委員 私ノ質問ハ是デ終リマス

○小山委員長 小田君、アナタノ質問ハマダ相當時間ガ掛リマスカ

○小田委員 モウ一二分デス——只今西表ニ營林署ヲ設ケルト云フ御言葉デアリマシタガ、營林署ハ果シテ坑木ヲ搬出ナリ、或ハ樽側ノ生産ナドニ對シテ如何ナル計畫ヲ御持テアルノカ、御説明願ヒマス

○村上政府委員 明年度ヨリ營林署ヲ設ケルコトニ致シテ居リマス、今營林署ガアル譯デゴザイマセス、隨テ昭和十四年度ノ四月以降ニ營林署ガ設置サレルコトニナリマス、ソレデ其ノ計畫ト致シマシテハ、大體年ニ十九万七千九百石バカリ伐ルコトニ致シテ居リマス、此ノ中ノ一部ガ左様ナ方ニ廻ル、斯ウ思ツテ居リマス、今ノ八年伐量デアリマスガ、ソレニ依ツテ木材ガ五万一千六百八十五石、ソレカラ製材品ガ五千三百九十一石、薪材ガ八千三百五十棚、之ヲ生産スルコトニナリマス

○小田委員 明年度カラ營林署ヲ設ケテオヤリニナルト云フノハ非常ニ結構デアリマスガ、事ハ急デアリマス、第一ソレコソ卑俗ナル言葉ヲ以テ表シマスナラバ、猫ノ手モ借りナケレバナラナイ此ノ大戰時ニ當ツテ、折角國有林ガ此ノヤウニ晝寝ヲシテ居ルノニ、此ノ晝寝ヲシテ居ル國有林ヲ叩キ醒シテ國家ノ用ニ備ヘシムルノガ、今日戰時下ニアル所ノ政府當局ノ御職分デアルト考ヘルノデアリマスガ、色々ナ坑木ニ於テモ、或ハ「パルプ」資源ニ於テモ不足ニ不足シテ居ルノニ、此ノヤウナ無駄ナコトヲシテ居テ、而モ明年度カラ營林署ヲ設ケテオヤリニナルト云フコトハ非常ニ吾々カラ考ヘマスト

遷達ナコトノヤウニ考ヘラレマス、其ノ上ニ尙農民ノ樽側ノ要求ニ致シマシテモ、是ハ必須ナモノデアリ緊急ヲ要スルコトデアリマスガ、之ニ對シテ早急ナ措置ヲ御考ヘニハナラナイノデアリマスカ

○村上政府委員 明年度ト申シマシテモ此ノ四月カラ實行致スノデアリマス、併シナガラ四月カラ實行スル前ニ既ニ昨年カラ相當實行準備トシテ色々林道ヲ付ケタリ、伐出シ等ヲ一部ハ實行シテ居ルノデアリマス、ソレデ此ノ四月カラ本當ニ計畫的ニ實行スルコトニナリマス、隨テ農民ノ必要トスル黑糖材料ノ樽等ハ一部ハ既ニ生産サレテ居ルカモ知レマセヌ

○小田委員 ソレデハ私ノ質問ハ是デ大體

終ルコトニ致シマシテ、最後ニ希望ヲ致シテ置キマス、沖繩ノ状態カラ致シマシテモ、只今申上ゲルヤウナ現状デアリマス、之ヲ類推シテ行キマス、國有林ハ随分アリマスケレドモ、他ノ國有林ガ之ニ近イヤウナ状態ニ置カレテ居ルノデハナカラウカ、若シ斯克アリトスレバ、是ハ實ニ大キナ問題デアリ、隨テ當局ノ怠慢之ニ過ギルモノハナイト考ヘルノデアリマス、此ノ戰時下、思フサマ國有資源ヲ御活用ニナリ、而モ民有資源ニ對シテモ十分ナル國家權力ヲ及ボシテ戴キタイト云フ希望ヲ申添ヘテ置キマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

シテ見マシテモ、此ノ森林法ト入會權トノ關係ガナイト云フコトガドウシテモ明瞭ニナラナイノデアリマス、間接ニ關係ノアルヤウナ御答辯デアツタノデアリマスガ、公有林ニ對スル森林法ノ關係ハ、所謂落葉、落枝或ハ下草等ノ地被物ノ採取ノ制限又ハ施業方法ノ指定、或ハ造林命令等ガ森林法ニ規定サレテ居リマスノデ、入會權ガ全ク森林法ニ關係ナイト云フコトガドウシテモ考ヘラレナイノデアリマシテ、何レ大臣ガオ見エニナツタ時ニ御尋致シタイト思ヒマス

次ニ昨日ノ續キデ御尋致シタイトデゴザイマスガ、森林組合ノ成績ニ非常ニ期待ヲ掛ケテ居ラレルヤウデアリマスガ、私ガ申上ゲマシタヤウニ、過去ノ森林組合ト云フモノハ、サウ大シタ成績デナイト云フコトヲ申上ゲテ居ツタ積リデゴザイマス、昨日ハ時間モアリマセズ申上ゲマセズデシタガ、所謂森林組合ノ中ノ施業森林組合ト云フヤウナ本當ノ本質的ノ森林組合ハ御承知ノヤウニ、私今統計ヲ持ツテ居リマセスケレドモ、約半分位デアリマシテ、土工關係ノ森林組合ガ總數ノ約半分モ占メテ居ルヤウナ状態ノヤウニ見受ケラレルノデアリマス、御承知ノヤウニ土工關係ノ森林組合ト云フノハ私共カラ見マスルナラバ一時的ノ組合

ノヤウニ見エルノデアリマシテ、一時設立セラレマシテモ、其ノ中ニハ全ク補助金ノ受領ガ目的デアルカノヤウニ見エルモノモアルノデアリマス、組合ヲ設立致シマシテ、林道ノ開發トカ或ハ砂防工事等ヲヤリマシテ、所定ノ經費ヲ使ヒ果シテシマヒマス、モウ其ノ組合ノ活動ガ止ツテ居ルト云フヤウナ状態モアルヤウニ思ハレルノデアリマス、又所謂土工關係ノ組合ノ中ニハ、低利資金ノ融通ヲ受ケル爲ノ組合デアルカノ如キ疑ヲ持ツヤウナ組合モ決シテ少クナイト私共ハ見テ居ルノデゴザイマス、隨テ土工關係ノ森林組合ト云フノハ、森林組合ノ約半分ゴザイマススケレドモ、ソレハ本質的ノ森林組合デナク、現在マデノ森林組合ト云フノハ、所謂補助金或ハ助成金ガ目的デアルカノヤウニ見ラレルノデアリマス、私ハ別ニ土工森林組合ヲ今此處デ非難シタリ、攻撃シタリスル材料ニ持出シタノデハナクシテ、昨日モ申上ゲマシタヤウニ、何故斯ウ云フ風ニ一時的ナ組合ニナツテシマフカト云フコトヲ本質的ニ考ヘテ見タイカラ持出シタノデゴザイマス、所謂施業組合ハ本質的ナ森林組合デゴザイマセウガ、今政府デ狙ツテ居ラレルノハ恐ラク施業森林組合デアラウト思フノデアリマス、斯ウ云フ組

合ガ中々設立サレナイデ、割合ニ早く設立サレ、而モ設立ノ多カツタ森林組合ハ土工關係ノ森林組合デアツタ、所謂施業的ナ森林組合ハ比較的少ナカツタト云フコトハ、森林組合設立ノ慫慂ノ中ニ非常ニ無理ガアツタト云フコトノ實證デハナイカ、斯ウ思フノデアリマシテ、何ダカ此ノ獎勵ノ中ニハヤハリ机上論ノヤウナ傾キガアツテ、非常ニ缺陷ガアルコトガ此ノ發達ヲ阻碍スル大キナ原因デアルト思フノデス、私ハ其ノ原因ヲ除去致シタイ爲ニ之ニ對スル御意見ヲ御同致シタイトデアリマス

午後二時十七分開議

午後零時十分休憩

午後二時十七分開議

午後二時十七分開議

午後二時十七分開議

○小山委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス——川俣君

○川俣委員 昨日ニ續イテ政府ノ御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマス、昨日申上ゲタ中デ入會權ノ問題ガマダ殘ツテ居ルノデアリマスガ、是ハ大臣ガオ見エニナツタ時ニ御願致シタイト思ヒマス、尙ホ此ノ際大臣ノ答辯ヲ煩ハス前ニ參考ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマスガ、ドウモ私共ハ歸ツテ色々研究致

シテ見マシテモ、此ノ森林法ト入會權トノ關係ガナイト云フコトガドウシテモ明瞭ニナラナイノデアリマス、間接ニ關係ノアルヤウナ御答辯デアツタノデアリマスガ、公有林ニ對スル森林法ノ關係ハ、所謂落葉、落枝或ハ下草等ノ地被物ノ採取ノ制限又ハ施業方法ノ指定、或ハ造林命令等ガ森林法ニ規定サレテ居リマスノデ、入會權ガ全ク森林法ニ關係ナイト云フコトガドウシテモ考ヘラレナイノデアリマシテ、何レ大臣ガオ見エニナツタ時ニ御尋致シタイト思ヒマス

次ニ昨日ノ續キデ御尋致シタイトデゴザイマスガ、森林組合ノ成績ニ非常ニ期待ヲ掛ケテ居ラレルヤウデアリマスガ、私ガ申上ゲマシタヤウニ、過去ノ森林組合ト云フモノハ、サウ大シタ成績デナイト云フコトヲ申上ゲテ居ツタ積リデゴザイマス、昨日ハ時間モアリマセズ申上ゲマセズデシタガ、所謂森林組合ノ中ノ施業森林組合ト云フヤウナ本當ノ本質的ノ森林組合ハ御承知ノヤウニ、私今統計ヲ持ツテ居リマセスケレドモ、約半分位デアリマシテ、土工關係ノ森林組合ガ總數ノ約半分モ占メテ居ルヤウナ状態ノヤウニ見受ケラレルノデアリマス、御承知ノヤウニ土工關係ノ森林組合ト云フノハ私共カラ見マスルナラバ一時的ノ組合

ノヤウニ見エルノデアリマシテ、一時設立セラレマシテモ、其ノ中ニハ全ク補助金ノ受領ガ目的デアルカノヤウニ見エルモノモアルノデアリマス、組合ヲ設立致シマシテ、林道ノ開發トカ或ハ砂防工事等ヲヤリマシテ、所定ノ經費ヲ使ヒ果シテシマヒマス、モウ其ノ組合ノ活動ガ止ツテ居ルト云フヤウナ状態モアルヤウニ思ハレルノデアリマス、又所謂土工關係ノ組合ノ中ニハ、低利資金ノ融通ヲ受ケル爲ノ組合デアルカノ如キ疑ヲ持ツヤウナ組合モ決シテ少クナイト私共ハ見テ居ルノデゴザイマス、隨テ土工關係ノ森林組合ト云フノハ、森林組合ノ約半分ゴザイマススケレドモ、ソレハ本質的ノ森林組合デナク、現在マデノ森林組合ト云フノハ、所謂補助金或ハ助成金ガ目的デアルカノヤウニ見ラレルノデアリマス、私ハ別ニ土工森林組合ヲ今此處デ非難シタリ、攻撃シタリスル材料ニ持出シタノデハナクシテ、昨日モ申上ゲマシタヤウニ、何故斯ウ云フ風ニ一時的ナ組合ニナツテシマフカト云フコトヲ本質的ニ考ヘテ見タイカラ持出シタノデゴザイマス、所謂施業組合ハ本質的ナ森林組合デゴザイマセウガ、今政府デ狙ツテ居ラレルノハ恐ラク施業森林組合デアラウト思フノデアリマス、斯ウ云フ組

合ガ中々設立サレナイデ、割合ニ早く設立サレ、而モ設立ノ多カツタ森林組合ハ土工關係ノ森林組合デアツタ、所謂施業的ナ森林組合ハ比較的少ナカツタト云フコトハ、森林組合設立ノ慫慂ノ中ニ非常ニ無理ガアツタト云フコトノ實證デハナイカ、斯ウ思フノデアリマシテ、何ダカ此ノ獎勵ノ中ニハヤハリ机上論ノヤウナ傾キガアツテ、非常ニ缺陷ガアルコトガ此ノ發達ヲ阻碍スル大キナ原因デアルト思フノデス、私ハ其ノ原因ヲ除去致シタイ爲ニ之ニ對スル御意見ヲ御同致シタイトデアリマス

○村上政府委員 從來ノ森林組合ハ土工森林組合ガ多イノハ事實デアリマス、施業森林組合等ガ餘リ發達シテ居ラヌコトモ事實デアリマス、ソレハ從來ノ施業組合ト云フモノハ此ノ度ノ組合法ノ法律ノ第六十二條ノ一項ノ組合ナンドス、即チ合同施業スル組合デアリマシテ、是ハ組合自ラガ施業ヲシテ、其ノ收益モ各人ニ分配スル、斯ウ云フヤウナ組合デアリマス、隨テ是ハ共有林トカ或ハ昔ノ部落有ガ共有ニ變化シタトカ、斯ウ云ツタヤウナ状態ノ森林デナイト是ガ設立ガ出來ナイ、是ハ當然ノコトガラウト思ヒマス、ソレデ從來ハ合同施業組合ト云フノハ少カツタ、今後モ此ノ合同施業

ノヤウニ見エルノデアリマシテ、一時設立セラレマシテモ、其ノ中ニハ全ク補助金ノ受領ガ目的デアルカノヤウニ見エルモノモアルノデアリマス、組合ヲ設立致シマシテ、林道ノ開發トカ或ハ砂防工事等ヲヤリマシテ、所定ノ經費ヲ使ヒ果シテシマヒマス、モウ其ノ組合ノ活動ガ止ツテ居ルト云フヤウナ状態モアルヤウニ思ハレルノデアリマス、又所謂土工關係ノ組合ノ中ニハ、低利資金ノ融通ヲ受ケル爲ノ組合デアルカノ如キ疑ヲ持ツヤウナ組合モ決シテ少クナイト私共ハ見テ居ルノデゴザイマス、隨テ土工關係ノ森林組合ト云フノハ、森林組合ノ約半分ゴザイマススケレドモ、ソレハ本質的ノ森林組合デナク、現在マデノ森林組合ト云フノハ、所謂補助金或ハ助成金ガ目的デアルカノヤウニ見ラレルノデアリマス、私ハ別ニ土工森林組合ヲ今此處デ非難シタリ、攻撃シタリスル材料ニ持出シタノデハナクシテ、昨日モ申上ゲマシタヤウニ、何故斯ウ云フ風ニ一時的ナ組合ニナツテシマフカト云フコトヲ本質的ニ考ヘテ見タイカラ持出シタノデゴザイマス、所謂施業組合ハ本質的ナ森林組合デゴザイマセウガ、今政府デ狙ツテ居ラレルノハ恐ラク施業森林組合デアラウト思フノデアリマス、斯ウ云フ組

合ガ中々設立サレナイデ、割合ニ早く設立サレ、而モ設立ノ多カツタ森林組合ハ土工關係ノ森林組合デアツタ、所謂施業的ナ森林組合ハ比較的少ナカツタト云フコトハ、森林組合設立ノ慫慂ノ中ニ非常ニ無理ガアツタト云フコトノ實證デハナイカ、斯ウ思フノデアリマシテ、何ダカ此ノ獎勵ノ中ニハヤハリ机上論ノヤウナ傾キガアツテ、非常ニ缺陷ガアルコトガ此ノ發達ヲ阻碍スル大キナ原因デアルト思フノデス、私ハ其ノ原因ヲ除去致シタイ爲ニ之ニ對スル御意見ヲ御同致シタイトデアリマス

合ガ中々設立サレナイデ、割合ニ早く設立サレ、而モ設立ノ多カツタ森林組合ハ土工關係ノ森林組合デアツタ、所謂施業的ナ森林組合ハ比較的少ナカツタト云フコトハ、森林組合設立ノ慫慂ノ中ニ非常ニ無理ガアツタト云フコトノ實證デハナイカ、斯ウ思フノデアリマシテ、何ダカ此ノ獎勵ノ中ニハヤハリ机上論ノヤウナ傾キガアツテ、非常ニ缺陷ガアルコトガ此ノ發達ヲ阻碍スル大キナ原因デアルト思フノデス、私ハ其ノ原因ヲ除去致シタイ爲ニ之ニ對スル御意見ヲ御同致シタイトデアリマス

組合ト云フノハヤハリ共有林ミタヤウナモ
ノデナケレバ設立ガ不可能ト思ヒマス、ソ
コデ第六十二條第二項ノ二ノ「組合員ノ爲
ニ施業案ヲ編成シ之ニ基キ組合員ノ爲ス施
業ヲ調整シ及地區内森林ノ施業ニ必要ナル
共同施設ヲ爲スコト」斯ウ云フ形態ノ組合
ヲ今度認メタ譯デアリマス、之ニ依ツテ施
業ノ合理化ヲ圖ラウ、即チ組合自ラハ合同
施業ヲシナイ、又收益モ自分ハ取ラヌ、ソ
レハ各人ガヤルノデアルガ、其ノ上ニ立ツ
テ互ニ施業ノ調整ヲ圖ラウ、是ナラバ所謂
施業組合ト云フモノモ今ヨリハ大イニ發達
スル、是ガ立案シタ所以デアリマス、從來
ハ御説ノ通り發達シテ居リマセヌ、ソレハ
第六十二條第二項ノ一ダケデアツタモノデ
スカラ、法制上無理ガアツタモノデスカラ、
餘リ發達シナガツタノデアリマス

○川俣委員 恐ラク今マデノ缺陷ヲ御認メ
ニナツテ居ルノダラウト思ヒマスケレドモ、
私ハ缺陷ノ一部ダケ御認メニナツテスル改
正案ヲ出サレタノデハナイカト思フノデス、
ソレハ局長ノ仰シヤラレルヤウニ、其ノ點
ニ御氣付キニナツタコトハ確ニ一大進歩デ
アルト思ヒマスケレドモ、併シマダ缺點ノ
アルト云フコトニ御氣付ニナラナイノデハ
ナカラウカト思ヒマス、或ハ氣ガ付カレテ

居ツテモ、昨日カラ申上デマシタヤウニ、
豫算關係トカ——大藏省ノ關係トカ云フモ
ノヲ考慮サレテ居ラレカモ知レマセヌケ
レドモ、苟モ農林省トシテ一定ノ方針ヲ立
テラレルカラニハ、サウ云フ方面ノ一大缺
陷ヲモ除去スルト云フ決意ト同時ニ、多ク
ノ缺陷ヲ持ツテ居ル、寧ろ其ノ方ニ多クノ
發達セザル理由ノアル所ノモノヲ補フ方法
ヲ講ゼズニ、斯ル案ヲ出サレルト云フコト
ニ付テ、昨日カラ議論ヲ申上ゲテ居ルノデ
アリマス、私共改正サレタ御意思ハ能ク分
ルノデアリマスケレドモ、是デモ尙ホヤ
ハリ不可能ニ近イノデハナカラウカ、今マ
デト同ジヤウナ狀態ノ發達位ハ決シテ不可
能デハゴザイマセヌデセウケレドモ、現在
農林省ガ期待サレテ居ルヤウナモノハ決シ
テ出來ハシナイ、出來ナイバカリデナ
ク——出來ナイダケナラバマダシモ、此ノ委
員會始マツテ以來問題ニナツテ居リマスル
所有者ニ於ケル所ノ壓迫ガ多クシテ、所
期ノ目的ガ達セラレナイノデアラウト云
フコトヲ憂ヘテ居ル一人ナノデアリマス、
隨テ最近ノ輸入材ノ減少ニ依ツテ内地木材
ノ出材量ハ著シク増加ノ必要ニ迫ラレテ居
ル、軍需材、坑木材「バルブ」用材ノ需要
ノ洵ニ増大シテ居ル時ニ、此ノ位ナ森林

組合ノ活用ニ依ツテ其ノ目的ヲ達成スルト
云フヤウナコトハ、私ハ率直ニ申スナラ
バ、ドウモ不可能ニ近イ、モツト親切ナ
本當ニ農林省ガ考ヘテ居ラレルヤウナ時局
ニ對スル認識ヲ現實ニ實行サレヨウトスル
ナラバ、モウ少シ森林ノ關係者ニ對スル指
導獎勵ガ私ハ熾烈デナケレバナラナイト考
ヘルノデアリマスガ、モウ恐ラク御考ヘニナ
ツテ居ルト云フ御答辯ハ度々聞イテ居ルノ
デアリマスガ、考ヘテ居ラレルダケデハ駄
目ダト思フノデ、此ノ點ニ付テモ大臣カラ
明確ナ答辯ヲ得タイト思ヒマスルカラ、大
臣ノ出席マデ此ノ點ハ待ツコトニ致シマス
次ニ林道開設ノコトニ付テ御尋致シタイ
ト思ヒマス、現在ノ林業ガ非常ニ遅々トシ
テ遲レテ居ル原因ノ一ツハ、林道ノ開設ノ遲
レテ居ル爲デアルト云フコトハ、當局ノ既
ニ御承知ノ所ダト思フノデアリマス、是ハ
官有林ノミナラズ、私有林ニ於キマシテモ
サウデアリマスガ、特ニ官有林ハ相當ノ費
用ヲ掛ケマシテ林道ノ開設ヲ行ヒマシテ、
附近ノ山村ニ及ボス所ノ影響モ非常ニ大キ
イノデアリマシテ、其ノ點ハ國有林ノ有難
味ヲ感じテ、所在町村ガ喜ンデ居ル點ダト
私共ハ思ヒマスルガ、私有林或ハ公有林ニ
ナリマスルト、所謂秣場デアルトカ、或ハ

部落共有ノ爲ニ要スル小サナ道ナドハ付イ
テ居リマスケレドモ、ヤハリ薪炭用材ナド
ヲ出スヤウナ林道ト云フヤウナモノハ付イ
テ居ルヤウナ所ハ殆ドナイ、特ニ東北ニ於
テハ私共トシテハ見受ケ難イノデアリマス、
所ガ此ノ林道ノ開設ガ直接林業經濟ニ及ボ
ス所ノ影響ハ甚大ナノデアリマシテ、之ニ
對シテ政府ハ補助等モ致シテ居ルヤウデア
リマスケレドモ、其ノ補助額ナドト云フモ
ノハ、連モ問題ニナリマセヌ、恐ラク此處
デ數字ヲ擧ゲラレマシテモ、其ノ位ノ數字
ハ恥シクテ御述ベニナリ兼ねララウト私
共ハ思フ位デアリマシテ、殆ド獎勵シテ居
ルトカ補助シテ居ルトカ云フヤウナコトハ
大聲ニ言ヘナイダラウト思フノデアリマス、
林道ノ開設ニ依ツテ立木ノ價格ノ増加ヲ來
シ、林地ノ價格ノ昂騰ヲ來スト云フコトハ、
或ハ施業法ノ改善ニナルト云フコトモ考ヘ
ラレルノデアリマスガ、林道ノ開設、官有
地、民有地竝ニ公有地ニ對スル將來ノ指導
竝ニ獎勵ニ付テノ御意見ヲ伺ツテ置キタイ
ト思ヒマス

○村上政府委員 國有林ニ付キマシテハ、
事業ニ應ジマシテ林道ヲ開設致シマス、民
有林ニ付キマシテハ、只今産業獎勵費ニ於テ
約百万圓ノ林道開設費ガアリマス、ソレカ

ラ民有林其他造林促進費ノ共同施設ニ於テ約二十萬圓、ソレカラ昨年ノ間伐木ノ爲ニスル所ノ小林道ガ十萬圓、全部デ百三十萬圓デアリマス、併シ是ハアナタノ仰セノ通り、マダ此處デ聲ヲ大ニシテ誇稱スルニ足ル金額デハゴザイマセス、是ハ此ノ前カラ申上ゲマシタヤウニ、更ニ計畫ヲ新ニシテ、徹底的ニ林道ノ開發ヲ圖ラナケレバナラスト申上ゲテ居ル次第デアリマス

○川俣委員 局長モ林道ノ開設ノ必要ヲ認メテ居ラレルノデアリマスガ、其ノ必要ヲ認メテ居ラレテ、百三十萬圓程ノ費用ヲ出シテ居ラレルノデアリマスガ、御承知ノヤウニ林業地帯全體カラ見マシテノ、百三十萬圓ト云フモノハ、微々タルモノデアリマシテ、迎モ開發ノ役ニ立ツト云フヤウナコトニハナラナイ、全國ノ林地全帶カラ見マシテ、殆ド問題ニナラナイノデアリマスルカラ、斯ウ云フ點ニ付テモ十分ナ考慮ヲナサレテ、而モ其ノ考慮ヲ拂ハレタ上ニ、此ノ森林法ガ其ノ目的ヲ達成スルノデアルト云フ點ヲ、十分御認識ガナケレバナラスト思フノデアリマス、是ハ意見ニナリマスカラ御答辯ヲ求メマセス、何レ又他ノ機會ニ御質問致シタイト思フノデアリマス

次ニ最後ノ問題ト致シマシテ、私ハ木炭製造者ニ對スル政府ノ意向ヲ、御尋シテ置キタイト思フノデアリマス、私本會議デ木炭ノ製炭業ニ付テ意見ヲ申上ゲマシタ所ガ、世間カラモ非常ニ認識ノナイヤウニ思ハレタ點モアルノデアリマスガ、併シ是ハ世間ノ方ガ恐ラク認識ガナイノデハナカラウカト思ツテ居リマス、御承知ノヤウニ現在木炭ヲ製炭致シテ居リマシテ、幾分デモ餘裕ガアル地方ト云フモノハ頗ル僅カデアツテ、日本全體カラ見ルナラバ、特ニ東北一帶カラ見ルナラバ、今日ハ製炭業者ガ殆ド四苦八苦ノ生活ニ追ハレテ居ルト云フコトハ、私ハ當局モ御認ニナツテ居ル點ダト思ヒマスガ、第一此ノ點ニ付テノ觀方ヲ御尋致シタイト思ヒマス

○村上政府委員 木炭生産業者ガ山村ニ於テモ經濟力ガ最低ク、生活ガ困難デアリマシテ、洵ニ同情スベキモノデアルト云フコトハ、私モ認メテ居リマス

○川俣委員 是ニハ勿論長イ間ノ色々ナ原因ノアルコトヲ認メルノデゴザイマスガ、一方ニ於テ木炭ノ需要ノ増大シテ居ル今日、總テノ物價ノ昂騰致シテ居リマスル今日ニ於テ、一般消費大衆ノ爲ニ木炭ノ價格ガ制限サレテ居ルノデアリマスガ、之ニ付テノ

當局ノ御意見ヲ茲デ御尋シテ、次ニ私ノ論ヲ進メタイト思ヒマス

○村上政府委員 木炭ニ付テハ昨年公定價格ノ設立ガアリマシタ、是ハ木炭ハ從來カラノ例ニ依レバ、冬季ガ高ク夏季ニ段々安クナル所デアリマシタガ、昨年ハ色々ノ關係カラ、冬季ヨリ寧ロ夏季ガ高クナリマシテ、約二割餘ノ騰貴ヲシタヤウナ關係ガアルノデ、一般消費者ノ關係ヲ慮リマシテ、公定價格ヲ設定シタ譯デアリマス、此ノ公定價格ハ此ノ三月デ一應終了致シマシテ、更ニ改訂ヲ致サナケレバナラストコトニナリマス、其ノ改訂ノ時ニ當リマシテハ、其ノ後ノ色々ノ情勢ノ變化ニ依リマシテ、現在ノ公定價格ニ於テ尙ホ不十分ナル點等モアリマセウカラ、ソレ等ノ所ヲ能ク考慮シマシテ、商工省トモ協議シマシテ、適當ニ善處シタイト思ツテ居リマス

○川俣委員 今ノ局長ノ御意見ダト云フト、同情シテ居ラレルヤウナ又シテ居ラレナイヤウナ御答辯デアリマシタ、私ハ實際山村ニ於テ炭ヲ焼イテ居ル者ノ、特ニ東北ニ於ケル炭ヲ焼イテ居ル所ノ現況ヲ少シ申上ゲマシテ、木炭價格ノ問題ニ付テノ政府ノ方針竝ニ意向ヲ御伺致シテ、善處ヲ希望致シタイノデゴザイマス、是ハ御承知ダト

思ヒマスルケレドモ、官有林ニ入ツテ居リマスル製炭業者ト、私有林ヲヤツテ居リマスル者トノ間ニ於テ、大キナ差ノアルコトヲ私共ハ認メマス、官有林ハ色々ナ便宜ヲ圖ツテ居ラレルシ、或ハ木炭倉庫デアリマストカ、今申上ゲマシタヤウナ運搬上ノ便宜、或ハ貯炭場ノ便宜等ヲ受ケテ居リマスルシ、或ハ金融ノ一部ノ援助ヲモ受ケテ居ルノデアリマシテ、非常ニ其ノ點ニ於キマシテハ民有ト異ニ致シテ居ルノデアリマスガ、大體製炭業ノ大部分ヲ占メテ居リマス民有林ヲ相手ニ致シテ居リマスル製炭業者ハ、是ハ御承知デアラウト思ヒマスケレドモ、最初ハ山村民デアリマスケレドモ、經濟持ツテ居ツタノデアリマスケレドモ、經濟ニ疎イ所ノ山村民ハ、何時ノ間ニカ山林ヲ失ツテ居ル、現在デハ殆ド山村民ガ自分ノ製炭用ノ山林ヲ持ツテ居ル者ハ、無イト言ツテモ宜イ程デアリマス、隨テ自分ノ山ハ二束三文ニ賣ツテシマツタ、現在ハ殆ド人ノ山ヲ借りナケレバ製炭業ガ出來ナイ狀態ニアリマス、又自分ノ山ヲ持ツテ居リマシテモ、名義ヲ持ツテ居ルダケデ、實際ハ擔保ニ入ツテ居ルトカ、或ハモウ坊主山ニナツテ居リマシテ、自山ノ木ヲ燒クト云フヤウナコトノ出來ル製炭業者ノ無イコ

トハ、既ニ御承知ノコトダト思ヒマス、
隨テ炭ヲ燒カウトスル者ハ、御承知ノヤウ
ニ堅炭ニ致シマシテモ、黒炭ニ致シマシテ
モ、白炭ノ方ハ石窯デアリマシテ、簡單デ
アリマスカラ、小規模ナ經營ヲシ、黒炭ノ
方ハ大キナ經營デゴザイマスガ、此ノ窯ノ
築造ニモ相當ナ費用ヲ掛ケテ居ルノデアリ
マス、ソレバカリデナク、所謂資材購入ノ
資金ト申シマセウカ、原本ヲ買フ所ノ金ニ
餘裕ヲ持タナイノデアリマシテ、御承知ノ
通りニ大抵ハ仲買人デアルトカ、或ハ問屋
カラ金融ヲ受ケテ、私有林ノ立木ヲ買フ、
サウシテ炭ヲ燒ク、或ハ炭ノ仲買人、或ハ
問屋カラ原本ヲ買ツテ貰ツテ、其ノ買ツテ
貰ツタモノヲ燒クト云フヤウナ狀態デアリ
マス、或ハ甚シキニナリマス、一年ノ生
活費ヲ炭問屋カラ融通ヲ受ケマシテ、全ク
炭小作人的ナ、小作トモ申スベキヤウナ狀
態デアリマシテ居ルト云フコトモアリマス
ノデ、其ノ生活ノ貧弱ナ點ニ於キマシテハ、
有ユル産業ヲ營ンデ居ル者ヨリモ、最モ劣
惡ナ狀態ニアルノデアリマス、是ハ大體東
北デアリマスケレドモ、モウ何處デモ私ハ
同ジダト思フノデアリマス、特ニ東北ノ一
帶ヲズツト通覽致シテ見マスルニ、勿論山
ノ出シノ良イ、運搬ノ便利ノ良イト云フヤ

ウナ點、或ハ原本ノ安イト云フヤウナ點ニ
依ツテ幾分ノ違ヒハ來シマセウケレドモ、
或ハ立木ノ質ノ良イ、所謂林相ノ良イト云
フヤウナコトニ依リマシテ幾分ノ相違ハア
リマセウケレドモ、一俵一人ト云フ大體ノ
費用ガ掛ル、窯デ燒イテ、ソレカラ炭ヲ運
搬致シテ出スマデニ大體一俵一人ト謂ハレ
テ居リマス、勿論所ニ依リマシテ違ヒマス
ケレドモ、大體ニ於テ一俵一人デアリマス、
所ガ炭ヲ燒イテ居ル者ガ最モ手近ナ市場マ
デ持ツテ參リマス、四貫俵ノ位ニナル
カト申シマスレバ、御承知ノヤウニ東京ノ
市場デ考ヘルヤウナ値段デハゴザイマセヌ、
ソレカラ原本代ヲ引キ、或ハ金利ヲ引キマ
スルト、殆ド一日ノ手間ガ二十五六錢カラ
三十錢位ニシカ現在ニ於テスラナツテ居ナ
イヤウナ狀態デアルト思ヒマス、勿論官有
林ナドノ計算ニ依リマス、五十錢、六十
錢位ノ手間ニナル計算ニナリマスケレドモ、
ソレハ休ンダリスルコトヲ計算ニ入レテ居
リマセヌカラサウデアリマスケレドモ、山
ニ入ツテ居ツテ、出テ來マシテ其ノ炭ヲ燒
ク間ニ使ヒマシタ總日數デ割リマスルト、
二十五錢カラ、恐ラク三十錢位ニモナラナ
イト私共ハ考ヘルノデアリマスガ、之ニ對
スル當局ノ見方ニ付キマシテノ御意見ヲ伺

ツテ置キタイト思ヒマス
○村上政府委員 ソレハ例ヲ擧ゲラレタノ
ガラウト思ヒマスガ、所ニ依ツテハ左様ナ
所モアラウト思ヒマス、併シモウ少シ高ク
手間ガ取レルヤウナ所モアリマス、是ハ日
本全國色々デゴザイマスカラ、一概ニ何ト
モ申上ゲラレマセヌ
○川俣委員 ソレハ一應サウ云フ御答辯ノ
アルコトモ已ムヲ得ナイト思ヒマスケレド
モ、是ハ殆ド炭燒ト云フモノヲ本業的トモ
申スヤウナ所ニ於キマシテハ——私ハ新潟
カラ東北一帶ニ掛ケテ廻ツテ居リマス間ニ
於テ靜岡縣ダケハ幾分デモ炭ヲ燒クトニ
依ツテ收入ガ成立ツト云フヤウナコトヲ聞
キマシタケレドモ、他ノ關東カラ東北ニ掛
ケマシテ、昨年一年諸方ヲ歩イテ見マシテ、
此ノ木炭ニ關スル色々ナ意見ヲ聞イテ居ル
範圍ニ於キマシテハ、大體私ガ申上ゲタヤ
ウナ狀態デアルト私共ハ確信致シテ居リマ
ス、隨テ現在ノヤウナ公定價格デハ到底木
炭ノ増産ナドト云フコトハ及ビモ付カナイ
ト云フ結論ニ相成ルノデアリマス、モウ一
ツ是ガ原因ハ何處ニアルカト申シマスレバ、
現在ノ製炭業者ト云フモノハ、是ハ軍需工
業ヲ營ンデ居ル者ト異リマシテ、利益ガナ
イカラヤラナイト云フモノデハアリマ

セヌ、是ハ農民デモサウデアリマス、
一體收支償ハナケレバ生産ニ從事シナイ
ノガ普通デアリマセウケレドモ、山村或
ハ農村ニ於キマシテハ、收支償フ償ハヌノ
問題デハナク從事致シテ居リマスガ爲ニ、
其ノ價格ノ問題モ比較的ニ影響シナイカノ
如ク見エテ、比較的壓迫ヲ受ケル形ニナル
ノデアリマスガ、今度ノ製炭ニ及ボス所ノ
一番影響ノ大キイ點ハ何カト申シマスレ
バ、先程申上ゲマシタヤウニ、現在ノ製
炭業者ノ金融狀態ガ、仲買人デアルトカ、問
屋デアルトカ云フヤウナ所謂木炭販賣業者
カラ金融ヲ受ケテ製造致シテ居ルノデアリ
マスルカラ、其ノ木炭販賣業者デアル所ノ
問屋デアルトカ、仲買人ガ公定價格ニ依ツ
テ價格ヲ制限サレマスルト、商賣ノ味ガナ
クナリマス爲ニ、製炭業者ニ對スル金融ヲ
止メルノデアリマス、是ガ即チ木炭ノ製造
ニ影響ヲ及ボス所ノ一大原因デハナカラウ
カト私共ハ考ヘルノデアリマス、斯ウ云フ金
融ノ狀態ニ於キマシテハ——、一般大衆ノ
消費ノ上ニ及ボス所ノ影響ヲ考ヘラレテ公
定價格ヲ決メラレルコトガ自然デアリ、時
勢デアルトハ思ヒマスケレドモ、現在ノヤ
ウナ製炭業者ニ對スル金融狀態ニ於キマシ
テハ、徒ラニ製炭ヲ減産サセル結果ニナリ

ハシナイカト思フノデアリマスガ、之ニ對スル政府ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○村上政府委員 公定價格ノ決定ガ山村ノ實情トノ間ニ懸ケ離レマス、御説ノ通りニナラウト思ヒマス、隨テ公定價格ニ付キマシテハ、ソレ等ノ點ヲ十分考慮シテ行カナケレバナリマセヌ、徒ラニ都會ノ消費額ノミノコトヲ考ヘマス時ニ於テハ、木炭製造業者ノ手取ト云フモノハ極メテ僅少ニナリマス、而シテ木炭製造業者デモ、是ハヤハリ一人ノ人トシテ生キテ行カナケレバナラヌノデアリマスカラ、マサカ全然生活ノ立行カヌヤウナ狀態ノ下ニ於テ炭ヲ燒ク譯ニモ行キマセヌ、サウスル結果ハ木炭ノ減産ヲ來シ、却テ都會ニ於ケル所ノ木炭ノ市價ニ付テ、公定價格ヲ離レタ間相場ガ出來ルト云フヤウナ實情ニモナリマスノデ、木炭ノ公定價格ニ付テハ、ソレ等ノ所ヲ十分考慮シテ實行シナケレバナラスト思ヒマス、ソコデ前ニモ申上ガマシタヤウニ、次ノ年度ニ對スル所ノ公定價格ニ付テハ十分サウ云フ所ヲ考慮シ、尙ホ一方ニ於テ政府全體ノ物價抑制政策ト云フモノモアリマスカラ、ソレ等ノ點等モ十分考慮致シマシテ、合理的ナ價格ヲ算出シタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○川俣委員 木炭ノ公定價格ニ付キマシテ、農林省ガ責任ヲ持ツテ善處スルト云フコトデアリマスレバ、私ハ其ノ點ハ諒ト致シマスガ、ソレト同時ニ、今申シマシタ現在ノヤウナ機構ノ下ニ公定價格ヲ決定スルカラ、其處ニ私ハ無理ガアルト思フ、斯ウ云フ時局ニ於テ、消費者大衆ノ影響ヲ考慮シテ此ノ公定價格ヲ決定スルト云フ其ノ趣旨ニハ、私ハ決シテ不賛成ヲ唱ヘル者デハナイノデアリマス、現在ノヤウナ機構其ノモノニ於テ、一方ニ於テ炭ノ減産ニナル結果ヲ來スヤウナ木炭ノ價格ノ制限ヲスル所ニ私ハ無理ガアルト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、其ノ無理ヲ兩方面カラ排除シテ行カナケレバイケナイト思ヒマス、木炭價格ノ引上モ一ツデアアラウト思フト同時ニ、一方ニ於テ所謂木炭業者ニ對スル金融ノ途ヲ十分開クト云フ熟意ガナケレバ、私ハヤハリ増産ヲ來スコトハ出來ナイト思フノデアリマス、民有林ノ原木ハ御承知ノヤウニ決シテ下ツテハ居リマセヌ、民有林ノ原木ハ幾分デモ上リツツアリマス、隨テ割合ニ用材トシテヨリモ炭ノ原木ガ徒ラニ上リ氣味デアリマシテ、木炭ノ昂騰ガ又原木ヲ昂騰セシムル結果ニナルカラ、其ノ間ニ於テ製炭致シテ居ル者ハ決シテ利益ガナイト云フコ

トニモ相成ルト思フノデアリマス、木炭ノ昂騰ノミガ木炭ノ増産ニナルトハ私共ハ考ヘラレナイノデアリマシテ、木炭ノ昂騰ガ原木ノ昂騰ニナレバ同ジ結果ニナルト思ヒマスノデ、是ハ木炭業者ニ對シテ一大決意ヲ以テ其ノ金融ノ途ヲ農林省ガ開カレナイラレナイト云フコトヲ私ハ念ヲ押シテ申上ゲルト、其ノ金融ノコトニ付テハ善處スルト云フ御答辯ヲキツトナサルダラウト思ヒマスケレドモ、私ハ善處ト云フヤウナコトデハ是ハトテモ駄目ナノデアリマシテ、實情ハ十分分ツテ居ラレル筈デアリマスカラ、之ニ對スル特別ナ計畫ヲ持ツ決意ガアルカドウカト云フコトヲモウ一ツ御尋致シマス

○村上政府委員 木炭業者ニ對スル金融ト云フコトハ餘程重大ナコトト思ヒマス、現在ノヤウナ態樣デ參リマス時ニハ、木炭製造者即チ炭燒ハ隨分高イ金利ヲ拂ハナケレバナラヌヤウナ情勢デアリマシテ、之ヲ下ゲルト云フコトハ必要ト思ヒマス、併シ其ノ方策等ニ付キマシテハ目下研究中デゴザイマシテ、私共モサウ云フ點ニ付テハ是ハ等閑ニ附シテ居ラナイ、是ハドウシテモ直チニ解決シナケレバナラヌ問題デアル、斯ウ思ツテ居リマス

○川俣委員 ドウモ此ノ點ニ付テハ幾ラ言ツテモ誠意ヲ以テ金融ノ途ヲ圖ル、研究スルト云フノデ、是レ以上御聽キ致シマシテモ問題ハ決ラナイノデゴザイマスガ、私共眞ニ炭ヲ燒イテ居リマスル者ノ立場ヲ能ク理解シ、實際能ク知ツテ居ル者カラ言ヒマスレバ、全ク是ハ金融ノ方法ヲ講ゼラレナイ限りニ於キマシテハ、他ニ最近鑛產物ノ増産ナドガ割合ニ商工省ニ於テ獎勵サレマシテ、其ノ方ニ力ガ入ツテ居リマスカラ、坑木等ガ相當ノ値ヲ出シテ居リマスルシ、又鑛山地方ニ於キマシテハ小鑛山ガ大分活潑ニ動キ出シタノデアリマスカラ、製炭業者ガ鑛山ノ雜夫トナツテ轉業致シテ居ル者モ相當多ク見エツツアルノデアリマス、一方商工省ノ所謂重要鑛物増産ノ方ニハ相當力ガ入ツテ居リ、從來ヤツテ居リマシタ木炭業者ノ方ニハ現在ノヤウニ誠意ノ披瀝ダケデアリマシテ、現實ニ何等ノ獎勵、或ハ金融指導ノ方法ガナイト云フヤウナ狀態デアリマスカラ、是ハ農林省ガ如何ニ聲ヲ大ニ致シマシテ木炭ノ増産ヲ叫ンデ居リマシテモ、「ガソリン」代用木炭ト云フヤウナコトデ、國家非常時デアルト云フヤウナコトヲ申サレマシテモ、農林省ガ期待シテ居ルヤウナ増産ハ私ハ中々出來ナイト思フ、出

來ナイ結果一年或ハ一年半後ニ於キマシテハ、重大ナル決意ヲシナケレバナラス事態ニ立至ルデアラウト云フコトヲ私ハ警告シテ置キタイト思フノデアリマス

モウ一ツ申上ゲタイト思ヒマスルノハ、官有林地ニ於ケルバカリデハアリマセヌガ、林業ノ林産副業ト申シマセウカ、副業ノ獎勵ニ付テ省内所管デアリマス所ノ營林局竝ニ營林署ガ色々副業ノ指導ヲサレテ居リマスルコトハ私共ハ之ヲ認メ、成績必ズシモ惡クハナイト云フコトヲ喜ビツアルノデアリマスガ、之ニ付キマシテモ官有地所在ノ住民ノ期待モ大キイコトデアリマスカラ、副業ノ獎勵指導ニ付キマシテハ、一段ノ御奮發ヲ願ヒタイト思ヒマスルガ、之ニ對スル御意見ヲ御尋シマス

○村上政府委員 只今農林省ハ金融ニ付テ誠意ダケハ持ツガ、ソレ以上ノ何物モナイ、斯ウ云フ仰セゴザイマス、此ノ點ニ付キマシテハ再三繰返スヤウニ私共モ現狀ノ儘ニ置キマス、今年ノ木炭ニ付テハ先ヅ大シタ支障モナク、大體地方ニ於テ多少ノコトハアリマスガ、全國的ニ見テ非常ナ木炭飢饉ト云フヤウナコトモナク今年ノ冬ハ過セ得ルダラウ、併シナガラ來年ノ冬ニ付キマシテハ、是ハ何カ更ニ徹底シタ方策ヲ講

ジナケレバナラスト云フコトハ私共モ考ヘテ、目下具體案ニ付テ色々研究中デゴザイマス、尙ホ從來執リマシタ方針等ニ付キマシテモ此ノ際一應申上ゲマス、國有林ニ付

キシマテハ昨年度ニ於キマシテ原木價格ノ昂騰ヲ防グガ爲ニ、大體他ノ値段ハ相當上ツテ居リマスケレドモ、原木、坑木等ハ成ルベク据置ニスルヤウニ、ソレガ爲ニ從來公賣ニ附シテ居リマシタモノモ、競争入札ニシマストドウシテモ原木ノ値段ガ上リマスノデ、之ヲ大體止メルコトニ致シマシテ全部隨意契約ニスル、ソコデ從來ハ慣行ノアル所デナケレバ隨意契約ヲ政シマセヌデシタガ、木炭原木ニ限リマシテハ、サウデナクデモ是ハ隨意契約ガ出來ルヤウニ致シマシタ、又木炭ノ原木ヲ豊富ニスルガ爲ニ、國有林ノ施業案ニ於テ本年伐ルト云フ所デナク、明年度以降伐ルベキ所ノモノモ伐採期ヲ繰上ゲマシテ、サウシテ原木ノ供給ヲ豊富ニスルト云フ途ヲ講ジテ居リマス、又一般的ニ集合式ノ木炭窯或ハ連通式ノ木炭窯、斯様ナ木炭窯ノ製作ヲ獎勵シマシテ、之ニ依ツテ技術ト努力ノ調整ヲ圖ツテ木炭ノ増産ヲ期シタ次第デアリマス、斯様ナモノガ今マデ實行シタ所ノ方策デゴザイマスガ、明年度ノ木炭生産ニ付キマシテハ、更ニ一層色々

ノ方面カラ對策ヲ強化シタイ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リマス

次ニ國有林ノ副業獎勵ニ付キマシテハ尙ホ十分ノモノト認メテ居リマセヌ、更ニ一層是ガ徹底ヲ期シタイト思ツテ居リマス

○川俣委員 私ハ官有林ニ於ケル木炭業者ニ對スル御指導ニ相當努力ヲ拂ハレテ居ルト云フコトハ先程モ認メテ居ルト申上ゲタノデス、實際ヲ言ウト官有地ト民有地トデアツテ兩方ノ製炭業者ガアツタ場合ニハ、一方ニ於テハ民有林ノ原木ガ高クナツタ、官有林ハ原木ヲ其ノ儘ニシテ置イテ据置カレテ居ルシ、ヤハリ木炭倉庫モアレバ運搬ノ便モ好イト云フヤウナコトデ、官有林ノ炭ヲ燒ク者ハ比較的宜イケレドモ、其ノ爲ニ却テ民有林ノ炭ヲ燒ケナイト云フヤウナ狀態ニナツテ來タ、其ノ事ハ是ハ考ヘナケレバナラスト思ヒマス、私ハ官有林ノヤリ方ガ惡イト言フノデハナクテ、現在ノヤウナ儘デ置ケバ結局其ノ官有林ノ原木ヲ其ノ儘ニシテ置イタカ、或ハソレハ便宜ヲ圖ツタトカ云フコトガ民有林ノ炭ヲ燒ク者ニ色々ナ壓迫ヲ來スコトニナツテ、結局ソレガ日本全體ノ増産ノ上ニハ必ズシモ役立ツテ居ナイ、勿論官有林ノ炭ヲ燒イテ居ルト左様ナ恩典ガアルト云フコトハ認メマス、

官有林ノ炭ヲ燒クコトハ恩典デアリマス、私ハソレヲ止メロト云フ譯デハアリマセヌケレドモ、其ノ事ガ民有林ノ炭ヲ燒イテ居ル者ニ對スル壓迫ニナツテ居ルト云フ點ハ、是ハ看過シテハナラスト思ヒマス

モウ一ツ御尋シテ置キタイノハ、薪炭材ノ伐採量ハ年約一億二千九百万石ト推定サレテ居ルヤウデアリマスガ、而モ其ノ中デ所謂薪材、炭材略、均等ト言ハレテ居ルヤウデアリマス、私共モ大體其ノヤウニ推定サレルノデアリマスガ、其ノ中デ薪炭材ノ成育量ハ一年約十石ト普通計算サレテ居ルヤウデアリマシテ、潤葉樹ノ生ヒ立ツテ居ル總面積ガ千二百九十万町歩デスカ、一箇年デ一億二千九百万石ノ成長量ガアルノダカラ、薪炭材ニ付テハ決シテ日本ハ不足ヲ來サナイト云フヤウニ樂觀シテ居ルヤウナ趣モアルヤウニ聞イテ居ルノデアリマスガ、工業用、鐵工業用或ハ藥品用、鑛山坑木用、「ガソリン」代用木炭ト云フモノノ需要ガ非常ニ増大致シテ居ル際ニ、是デ適當デアルト御考ニナツテ居リマスカドウカ、又ハ木炭ノ用途別需要量ガ御分リニナツテ居リマスレバ、其ノ概要ダケデモ御知ラセ願ヒタイト思ヒマス

○村上政府委員 木炭ノ家庭用ノ消費ハ其

ノ年ノ景氣不景氣ニ依ツテ非常ニ違ツテ居リマス、近頃ハ殊ニ各種代用炭ガ木炭ノ用途ヲ大分食込シテ居ツタヤウナ爲ニ、一時大分木炭ノ生産量モ減ツテ居ツタト云フヤウナ事情モアリマシタ、ソコデ今後はデ十分カト云フコトニ付テハ昨日松浦委員ノ御質問ニ對シテモ御説明致シマシタヤウニ、木炭ノ需要ハ今後増ス、隨テ薪炭林ノ改良モ此ノ際ドウシテモ考ヘナケレバナラヌ、

薪炭林ノ改良ニ付テハ既ニ農林省ニ於テモ豫算ヲ要求シテ一昨年ヨリ是ガ實施ヲヤツテ居ル最中デゴザイマシテ、今ノ一億二千万石ガ永久ニ固定シテ居リマスレバ、是ハ必ズ足ラナクナル、ソコデ薪炭林モ日本ニ於テハ必要ナコトデアツテ、即チ矮林作業ヲ採ツテ行クコトモ今後モ更ニ是ガ増産ニ努メナケレバナラヌ、殊ニ薪炭林改良ハ用材林ノ改良ト違ヒマシテ十年モヤレバ相當ニ伸ビルノデゴザイマスカラ、サウ云フヤウニヤツテ行キタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

ノガ家庭用ノ木炭デアリマス、其ノ他ノ主ナルモノハ銑鐵用ノ木炭、二硫化炭素製造用ノ木炭、活性炭素製造用ノ木炭、「カーバイト」、火藥製造用ノ木炭、研磨用ノ木炭、鑄物工業用ノ木炭及ビ「ガソリン」代用ノ木炭、斯様ナモノガ約五千万貫位アリマス、此ノ「ガソリン」代用ノ木炭ハ明年度ニ於テハ相當殖エル見込デアツテ、ソレダケデモ約四千万貫近ク殖エル、斯ウ云フ見込デアリマス

○川俣委員 斯ル狀態デアリマスノデ、再三來申上ゲマシタヤウニ、官有林地ニ於ケル製炭業者ニ對スル態度ト同様ニ却テソレガ民有林ノ製炭業者ニ對スル壓迫ニナラザルヤウニ途ヲ開カレル必要ガアルダラウト云フコトヲ私共ハ申上ゲテ居ツタノデアリマス、其ノコトハ再三來申上ゲタヤウニ現在ノ製炭業者ニ對スル金融ノ改善ガ一番必要デアルト云フコトハ、是ハモウ世間カラ言ハレテ居ルコトデアリマス、寧ロ世間ノ金利ノ狀態ガ年ニ一割カ二割ダナント云フコトヲ言ツテ居リマスルケレドモ、私ノ知ル東北、山形、秋田、岩手附近デハ月一分カラ一分五厘デス、恐ラク此ノ點ハ私ハ幾多ノ……古イ書類デアリマスレバ、今日明日ニ取寄セル譯ニハ行キマセスケレドモ、

尚ホ用途別ノ大體ノ調査ハゴザイマスカ、昭和十三年度ニ於テ大體ノ需要量ハ六億五千万貫位ニナラウト思ヒマス、其ノ内容ノ主ナルモノハ、是ハ家庭用ノ木炭ガ一番多イノデアツテ、約六億萬貫ニ近い

契約書等ヲ取寄セテ御眼ニ掛ケテモ宜シイト思フノデアリマス、大抵月一分カラ一分五厘デアリマス、特ニ農林政務次官ガオ居デニナツテ居リマスカラ、製炭業者ニ對スル現在ノ金融狀態ノ改善ニ付キマシテノ御意見ヲ承ツテ置キマス

ズ、又今日最モ下層ニ居リマス炭燒業者ヲ救フ譯ニモナラナイノデアリマス、ソレデ此ノ場合彼等ノ金融ニ付テモ相當ニ考ヘテヤラナケレバナラスト思フノデス、殊ニ今決メラレタ公定價格ガズウツト續イテ、秋マデ同ジ價格デアツタナラバ、問屋ノ炭ヲ買フ者ハ秋ニナツテ仕入ヲシテモ同ジコトデアリマスノデ、炭ヲ燒イタ者ハソレヲ捌クコトガ出來ナイ、又假ニ金融ガ出來テ燒ケテモ、是ハ貯藏スル所ガナイト云フヤウナ色々ナ面倒ナ問題ガアリマスノデ、非常ニ苦心ヲ致シテ居リマス、就キマシテハ之ニ對シテ今日具體的ニドウスルト云フコトヲ實ハ申上ゲルダケニマダ確定シタ方針ヲ持ツテ居リマセヌガ、此ノ増産ニ伴フテハ是非彼等ノ金融ニ付テ十分ノ手當ヲセナケレバナラスト云フコトハ是ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

○松村政府委員 實ハ先程局長カラ御話シ申シマシタ通りニ、今年度ハ最早大體心配ハナイト思ヒマスガ、來年度ニ於テハ相當ニ木炭ノ増産ヲ圖ラナケレバナラスト思ヒマス、是ハ獨リ木炭バカリデアリマセズニ農産物ノ大増産ヲ今日圖ラナケレバナラスト場合ニナツテ居リマスカラ、之ニ付テ只今相當ニ大キナ計畫ヲ樹テタイト思ツテ居リマス、何レ豫算等ニ付キマシテ皆様ノ御協賛ヲ仰グ時期ハアルダラウト思フノデアリマス、ソレデ木炭ノ増産ノ問題ニハ中々困難ナモノガ相當ニアリマス、例ヘバ今日ノ公定價格デ果シテソレダケノ増産ヲ期スルコトガ出來ルカドウカ、然ラバ此ノ公定價格ヲ引上ゲマシテモ、本當ニ大切ナ炭ヲ燒ク業者ニソレガドレダケ分ケラレルカ、所謂炭ノ問屋及ビ山林ノ所有者ニソレ等ノモノガ分ケラレテ、直接炭ヲ燒ク者ニ其ノ利潤ガ分ケララスト云フヤウナコトガアリマシタナラバ、増産ノ目的モ達セラレマセ

○川俣委員 私ノ質問ハ大體是デ終リマシタ、後デ農林大臣ガ見エタ時ニ大臣ニ質問致シマス、是デ打切りマス

○小山委員長 山川委員ノ發言ヲ求メマスコトヲ言ツテ居リマスルケレドモ、私ノ知ル東北、山形、秋田、岩手附近デハ月一分カラ一分五厘デス、恐ラク此ノ點ハ私ハ幾多ノ……古イ書類デアリマスレバ、今日明日ニ取寄セル譯ニハ行キマセスケレドモ、

○山川委員 私ノ質問ハ、モウ皆様方ガ大變ナ御研究デ、詳シク御意見ヲ承リマシタ、斯程マデニ山ノコトニ皆様方ガ御熱心ニ御研究ニナツテ居ルトハ實ハ思ハナカツタノ

○小山委員長 山川委員ノ發言ヲ求メマスコトヲ言ツテ居リマスルケレドモ、私ノ知ル東北、山形、秋田、岩手附近デハ月一分カラ一分五厘デス、恐ラク此ノ點ハ私ハ幾多ノ……古イ書類デアリマスレバ、今日明日ニ取寄セル譯ニハ行キマセスケレドモ、

○山川委員 私ノ質問ハ、モウ皆様方ガ大變ナ御研究デ、詳シク御意見ヲ承リマシタ、斯程マデニ山ノコトニ皆様方ガ御熱心ニ御研究ニナツテ居ルトハ實ハ思ハナカツタノ

○小山委員長 山川委員ノ發言ヲ求メマスコトヲ言ツテ居リマスルケレドモ、私ノ知ル東北、山形、秋田、岩手附近デハ月一分カラ一分五厘デス、恐ラク此ノ點ハ私ハ幾多ノ……古イ書類デアリマスレバ、今日明日ニ取寄セル譯ニハ行キマセスケレドモ、

○山川委員 私ノ質問ハ、モウ皆様方ガ大變ナ御研究デ、詳シク御意見ヲ承リマシタ、斯程マデニ山ノコトニ皆様方ガ御熱心ニ御研究ニナツテ居ルトハ實ハ思ハナカツタノ

デアリマスガ、御意見ヲ伺ツテ非常ニ心強
イ感ジテ懷イタノデアリマス、是デ日本ノ
三分ノ二ヲ占メテ居リマス所ノ山ト云フモ
ノモ、是カラ大變長足ノ進歩ニ移ルコトダ
ラウト思ウテ、皆様方ニ對シテ敬意ヲ表ス
ル譯デアリマス、ソレデ少シ私ハ質問ガ殘
ツテ居リマスガ、幾ラモ聴キニ參リマセヌ
デシタノデ、重複ニナルカモ知レマセヌガ、
重複ニナツタラ速記録ヲ讀メト云フコトデ、
其ノ場合ハ一ツ止メルコトニ致シマス、ド
ウゾ其ノ御積リデ御聴取リヲ願ヒタイ

第一ニ御伺申上ゲタイノハ、此ノ日本ノ
國ニ必要デアル所ノ長大木ノ問題デゴザイ
マスガ、長大木ハ高イ金ヲ拂ツテ外國カラ
ドウシテモ入レナケレバナラス、戰時ハ殊
ニ黄金デ木材ヲ買ハナケレバナラスノデア
リマスガ、日本内地デアレバ紙デ買ヘルノ
デアリマス、百圓ノ札ガ十錢ノ製造費デ
出來ルノデアリマス、ケレドモ外國カラ買
ヒマス、黄金ヲ出サナケレバナラス、是
ハ重大問題デアリマス、ソレデモ長大木ガ
缺乏スレバ致シ方ガナイノデアリマス、ソ
レデ外國材ヲ使フノデアアルガ、戰時ハ是デ
宜イニシタ所ガ、政府ハ今後ドウ云フ風ニ
長大木ニ付テ計畫ヲナサレテ居ルノデア
ルカ、過日局長サンノ何カノ御話ノ端ニ承ツ

タコトガアルト信ジテ居ルノデアリマスガ、
其ノ時ニハ日本ノ國有林ト云フモノハ、比較
的民間ノ林野カラ見レバ、不經濟ナ經營振
リニナツテ居ル、併シ長大木ハ必要デア
ルカラ長イ年限ヲ置ク、ソレニハヤハリ國有
林ノ力ニ依ラナケレバナラス、斯ウ云フ風
ニ仰セラレタノデアリマス、如何ニモ御尤
デアルト思ツタ、併シ山ノ力ト云フモノハ
——此ノ間モ地力ノコトヲ申上ゲマシタガ、
長イ間植エテ置イタバカリデ、木ガ大キク
ナルニ決ツタモノデハナイ、三百年デ成長
スル土地モアレバ、三十年デ成長限度ニ達
シテシマフ土地モアルノデアリマス、ソ
ナ所ノ山ヲ置イテオクカラ、枯損木ニナツ
テシマフノデアリマス、枯損木ニシテ皆木
ヲ腐ラシテシマフト云フコトハ、是レ位不
經濟ナ問題ハナイノデアリマス、日本内地
ノ中デ長大木ノ出來得ルト云フ見込ノ土地
ヲ御調ニナリマシテ、サウシテ此ノ土地此
ノ土地ニハ何時マデモ成長スル地力ガアル、
此ノ地力ノアル土地ニ將來モ長大木ヲ育テ
ヨウ、又地力ノナイ所ハ雜木林ニシテ短期
間ニ收穫ヲ舉グルヤウニスル、又中間ノ所
ハ杉ヤ檜ヲ植エテ建築材ヲ取ル、斯ウ云フ
ヤウナ計畫ヲオヤリ下サル御意思ハナイカ、
從來ノ國有林ノ經營振リヲ見テミマスノニ、

一定ノ型ニ嵌ツテ居リマシテ、山ノ裾カラ
上ヘ一團地ト云フモノヲ一ツノ土地ニ見テ
シマウテ、其ノ土地ノ力ガ同ジヤウニ見ラ
レテシマフ、一カラ十ノ力ガ其處ニアル、
ソレニモ拘ラズ同ジ種類ノ木ヲ植エテ、同
ジ面積ニ植林ガシタル、山ノ裾ノ方デモ
五尺間隔ニ木ガ一本ヅツ植エラレタリ、又
ソレノ一割ヨリ地力ノナイ山ノ上ニ行ツテ
モ亦、五尺間隔ニ一本シカ植エテナイ、斯
ウ云フ風ナコトガシタル、ソレハ山ノ上
ノ方ハ地力ガナイカラ、サウ云フ所ハ細カ
ク植エテ置イテ、雜草ノ生エヌヤウニシナ
ケレバナラス、山ノ裾ノ方ハ七尺間隔ニ一
本デモ、八尺間隔ニ一本デモ良イ木ヲ植エル
ノガ宜イノデス、三年程シタラ直キニ蔽ウ
テシマヒマスカラ、アア云フ雜草ヲ生ヤス
コトガ出來ナイ、斯ウ云フ風ニ本當ニ山ヲ
知り其ノ土ヲ知り、サウシテ植林ヲスルト
云フヤウナ計畫ヲ立テナケレバ嘘ダト思ヒ
マス、ソレガ今マデハ一團地何町アリマシ
テモ、同ジヤウナ施業方法ニ依ツテ施業ガ
ヤラレテ居ル、ソレデハ私ハイカスト思ヒ
マスカラ、何處カ廣イ所ノ、所謂此ノ土地
ノ何ト申シマスカ、地球ノ皺、地皺、此ノ
皺ノ寄リ方ノ大キイ所ハ其ノ甲乙ノ山ガ廣
イ面積デモ大抵性質ガ似テ居ルガ、此ノ皺

ノ狭イ所ハ非常ニ區々別々デアルノデアリ
マス、吾々ノ關西地方デハ、地殼ガ非常ニ
狭イ、東北地方ハ非常ニ地殼ガ廣イ、
山ガアツテ又平野ガアルト云フヤウナ、
殆ド滿洲ノ平野ヲ見ルト同ジヤウナ考
ガ懷カレルノデアリマス、アア云フ土地ノ
良イ所、相當ノ地力ヲ持ツタ所ノ廣イ面
積ノ土地ガアツタナラバ、其處ヘ長大木ヲ
生ヤスト云フ時ニハ、何百年デモ置イテ、
サウシテ先ニ亞米利加邊リカラサウ云フ長
大木ヲ輸入シナイデモ良イト云フ計畫ヲ一
方ニ立テルコトガ必要デハナイカ、サウシ
テ皺ノ廣イ所ト狭イ所ニ依ツテ、ソレノ
經營振リ變ヘテ行ク、斯ウ云フ風ニヤル必
要ガアルト思フノデアリマスガ、ソレヲ
日本ト云フモノヲ一ツニ見テシマツテ居ル、
地殼ノ關係ヲ少シモ考ヘズニ、一ツニ見テ
シマフト云フコトハ大變ナ間違ヒデア
ル、又山ノ間ニ住ンデ居ル場合デモ、其ノ人間
ノ住ンデ居ル里ヲ離レタラ、二里以上モ行
カナケレバ今一ツノ里ガナイ、サウ云フ所
モアレバ、又三町位モ行ケバ其處ニ里ガア
ツテ、人間ガ住ンデ居ルト云フヤウナ所モ
アル、サウ云フ所ニ對シテハ各、其ノ經營
振リ變ヘナケレバナラス、支那ノ土地ヲ經
營スル場合ト日本ノ土地ヲ經營スル場合、

或ハ關東地方ノ土地ヲ經營スル場合ト、關西地方ノ山ヲ利用スル場合トハ、自ラソコニ經營振ヲ變ラナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、農林當局デハ何カサウ云フ方面ニ付テ御考慮ヲ拂ハレ、又何カ御計畫デモナサレテ居リマスカ、此ノ長大木ノ前途ニ付テ御伺フ申上ゲマス

○村上政府委員 只今ノ山川サンノ御話ノ點、大體ニ於テ洵ニ肯綮ニ中ツタ御意見ダト思ヒマス、長大木ノ產出ニ付キマシテハ、昭和十年ニ特別ノ輪伐期ヲ設ケマシテ、檜葉、檜ハ二百五十年、杉、赤松ハ二百年ノ輪伐期ヲ採リマシテ、之ニ依ツテ主トシテ軍需用其ノ他特別ノ用途ニ當テル爲ニ特別ノ施業ヲ採ツテ居リマス、是ハ日本内地ノ國有林ニ於テ面積約十五万町歩、其ノ内長大木ノミヲ成育セシメテ居ル所ガ五千町歩、殘ノモノハ長大木ト其ノ他ノモノト混合シテ成育スルヤウナ、サウ云フヤウナ施業案ニナツテ居リマス、是等ニ付キマシテハ、特ニサウ云フヤウナ長大木施業ヲ採ツテ居リマスガ、ソレ以外ノモノニ付テハ、所謂一番收穫最多ナル時ヲ伐期ト定メマシテ、杉、檜ニ付キマシテハ、前申上ゲマシタヤウニ六十年トカ七十年、八十年ト云フ風ナ伐期ヲ採ツテ居リマス、無論是ハ集約ニ致

サナケレバナラヌ、併シナガラ東北地方ノヤウニ、國有林ガ大面積ヲ占メテ居ル所ニ於テハ、總テニ集約林業ヲ採ルコトハ中々困難デアリマスガ、關西地方ノ如キ小サナ團地ガ起伏散在シテ居ルヤウナ所ニ於テハ、相當集約のニヤツタ方ガ宜シイト考ヘテ居リマス、ソレデ只今仰セノヤウニ、山ノ上ト下ト同ジ種類ノモノヲ一齊ニ造林スルト云フヤウナコトヲ若シ國有林デヤツテ居ルトスレバ、是ハ甚ダ拙劣ナルヤリ方デアリマシテ、相當改訂ヲ致サナケレバナラヌト思ヒマス、現在ニ於キマシテモ、一擔當區ノ管理面積等モ東北ト關西デハ相當違ツテ居リマシテ、關西ノ方ハ相當集約のニヤツテ居リマス、尙ホ此ノ長大木ハ、二百年トカ二百五十年トカヲ育テル所ハ、地味モ良イ所デナケレバナライノハ無論デアリマシテ、ソレデモ經濟的ニ見レバ、是ハモウ大體百年以上ニナルト、成長ト云フモノハ非常ニ微々タルモノデ、是ハ經濟的ニ見レバ損デアリマスガ、國家ノ使命上斯ウ云フコトヲ致シテ居ル譯デアリマス

○山川委員 私が非常ニ案ジテ居リマシタコトガ、政府ニ於テモ早クヨリ御計畫ニナツテ居ルコトハ大慶至極ニ存ズル次第デアリマス、ソレハドノ邊ノ土地ヲ選ンデ行ヒ

マシテ、ソレカラ大正十年以來ノ其ノ成績ガドウデアルカト云フコトヲ承リタイノデアリマス、ソレカラ只今御答辯ノ中ニ、土地ノ良イ所ヲ選ンデ長大木ヲ作ツテ居ルガ、是ハ二百年ソコラシナケレバ經濟距離ニ達シナイト云フ御話デアリマシタガ、長ク置ク木ハ時間ガ掛ツテ大キクナルト云フ意味デアリマスカ、私ハ長大木ノ目的ヲ達スル所ノ土地ハ、大キクナルモノハ非常ニ早ク大キクナルト思フノデアリマスガ、ソレハ木ノ種類ノ意味デアリマスカ、同ジ木ノ種類デアリマシタラ、土地ノ良イ所ハ早ク大キクナル、二百年置イタラ大變大キクナルト云フ見込ノモノハ、百年置イテモ五十年置イテモ、外ノ五十年トコチラノ二十年ト掛ケ合フ、地力ノアル所デナイト何百年ト云フ生命ヲ木ガ保ツコトガ出來ナイ、成長極度ニ達スルコトガ出來ナイト思フガ、ソレヲ一ツ御伺致シマス

○村上政府委員 青森縣ニ於キマシテ檜、秋田ニ於キマシテハ杉、高知ニ於キマシテハ檜、九州肥後地方ニ於テ杉、斯ウ云フヤウナ所ニ長大林ヲ特ニ設定致シテ居リマス、次ノ點ハ、只今私ノ申上ゲ方が多少足ラナカツタカモ知レマセヌガ、百年位マデハサウ云フ所デハドンノ成長シマス、唯百年

以後ノ成長ガ百年前ニ比ベルト非常ニ遅レテ來マスカラ、年々成長量ノ平均ガ段々少クナツテ來ル、ソコデ經濟的ニ見レバ二五十年モ置イテ置クト云フコトハ損デアリマスガ、是ハ特殊ノ目的ガアルカラ已ムヲ得ズサウ云フコトヲヤツテ居ル、斯ウ申シタノデアリマス

○山川委員 能ク分リマシタ、ソレデハ甚ダ御面倒デゴザイマスケレドモ、其ノ土地面積ト樹種ト又ソチラノ方ヘ廻リマシタ時ニ拜見サシテ戴クカモ知レマセヌ、ドウゾサウ云フモノヲ一ツ參考書トシテ御交付願ヘマシタラ有難イト思ヒマス

○小山委員長 山林局長宜シウゴザイマスカ

○村上政府委員 ハイ

○小山委員長 政府ハ承知シタト言ツテ居リマス

○山川委員 ソレカラ次ニハ林木ノ將來ニ於ケル需給關係デアリマスガ、殆ド地球上ノ林木ニ對シテハ、非常ニ急速ナル速度ヲ以テ自然林ヲ伐リ盡シテ居ルト云フ状態ニアルヤウニ思フノデアリマスガ、只今我國ヲ中心トシタル其ノ計畫ニ付テ大體ヲ御考ヘニナリマシテ、將來ノ木材ノ需給關係ノ御計畫ヲ御立テニナツタコトガゴザイマ

スカ、ソレカラ最近ニ於ケル樺太ノ問題ハ、此ノ前カラ非常ナ詳シク御尋ニナツテ居リマシタガ、私共ハ十五億万石ノ木材ガアルト云フコトヲ最初ニ聞イテ喜ンデ居ツタ、其ノ樺太ノ木材ハ五億万石ノ木材ハマダ伐ツテ居ラヌノニモ拘ラズ、殆ド樺太ノ木材ハ伐リ盡シタト云フヤウナ状態デアルト云フノハ、何ノ違ヒデソレ程早ク木ガナクナツテシマフノデアアルカト云フコトト、ソレカラ其ノ次ハ沿海州ノ木材デアリマスガ、沿海州ノ木材ト云フモノニ付テハ、是マデハ輸入税モ何モナシデ日本ニ輸入シテ居ツタモノヲ、輸入税ヲ課スヤウニナツタノデアリマスガ、其ノ後相當沿海州ノ木ヲ採ル經濟距離ガ長クナリマシテ、相當ナ價格デナケレバ日本ヘ入ラヌヤウニナツタ、又其ノ材積モ大ニ減ジテ來テ、經濟距離圈外ニ將ニナラントスルヤウナ状況デアルト云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、是ニ於テ一番大切ナコトハ、朝鮮ノ木材ノ今日ノ状態ト、ソレカラ、支那ノ山ニ木ガアルト云フコトヲ一時聞イタノデアリマスガ、私共ガ支那ヘ視察ニ行キマシタ時ハ殆ド木ノナイ山バカリヲ見テ來タケレドモ、サウデナイ、興安嶺或ハ長白山系、此ノ邊ニハ非常ニ澤山ノ木ガアツテ、ソレ等ヲ合スルト百二十

億万石アルト云フコトヲ寫眞測量ヲ滿鐵ニ於テサレタト云フ話ヲ聞イタノデアリマスガ、ソレ等ノ山林ガアルノカ、若シアルナラバ、ソレヲ經濟距離ニ引入レル汽車ト云フモノハドノ程度ニ出來ル見込ガアルノカ、滿洲ヤ支那ニ使フ所ノ此ノ興亞ノ爲ニ、亞細亞洲ヲ振興セシメル所ノ爲ニ日本ガ經營スル此ノ木材ガ、支那ノ土地デハ、先デハ自給關係ガ付クヤウニナルノカ、是等ノ事業ニ對シテノ總テノ原木ハ日本カラ送ラナケレバナラヌノカ、樺太カラ取ラナケレバナラヌノカ、沿海州カラ取ラナケレバナラヌノカ、乃至東洋ノ木デハ足ラナイカラ、南洋諸島、或ハ米材ヲ用ヒナケレバナラヌノデアアルカ、是等ハ非常ニ遠イ所ノヤウニ思ヒマスガ、直チニ我國ノ林業ノ需給關係ニ影響ヲ及ボシ、又林産經濟ニ大イナル影響ヲ及ボスコトデゴザイマスカラ、是等概括シタル知識ヲ御與ヘ下サレバ非常ニ幸ト思フノデアリマス

○村上政府委員 支那ニ鐵道ヲ數クニドレダケノ木ガ要ルカト云フコトハ、是非非常ニ難カシイ問題デ、私共此處デ何トモ目算モ付カナイノデアリマス、唯支那ハ、若シ福建省ガ親日政府ノ手ニ把握サレルナラバ、福建省ノ奥ニハ相當ノ所謂福建杉ト云

フノガアリマス、詰リ廣葉杉ト云フノガアリシテ、是ハ從來支那ニ於テ色々ナ方面ニ使ハレテ居リマシタカラ、相當ノ木材ノ產出ガアルト思ヒマス、尙ホ北支ハ木材ハ少ウゴザイマスガ、南支ハ、森林視察ヲシテ歸ツテ來タ人ノ話ニ依リマス、相當木材ハアル、又北支ニ致シマシテモ、農村ニ入リマス、山ニハ木ハナイケレドモ、農村ニ於テハ農業備林ミタヤウナモノハ相當アルサウデアリマス、又北支ノ地味カラ言ヒマシテモ、此ノ際相當早ク成長スル柳トカサウ云フヤウナモノヲ植栽スレバ、二十年位經テバ鐵道ノ枕木等ニハ使ハレルト云フヤウナコトデアリマス、ソレト北支或ハ中支開發ノ鐵道等ノ枕木其ノ他ヲ日本ノ林産デ賄フコトハ出來マセヌノデ、是ハヤハリ相當ナ部分ハ支那ハ支那滿洲ハ滿洲デ自辨サセルト云フ方法ヲ執ラヌト連モ日本内地ノ森林ヲ以テシテハ足ラヌ、斯ウ考ヘテ居リマス

○山川委員 ソレカラ、是ハ一寸話ガ飛シダ所ヘ行キマスケレドモ、人ニ頼マレマシタノデ一寸御尋シタイト思ヒマスガ、群馬縣ノ利根郡附近ノ話デアリマスガ、國有林ト民有林トノ境デ常ニ國有林ガ民有林ヲ壓迫シテ、一緒ニ境界ヲ伐ツテ行ツテシマフ、ソレハ違フト云ツテ民間側カラ言ウテ居ルケレドモ、幾ラ言ツタツテ、ソレハ訴訟ヲヤツテ訴訟ニ勝ツタラオ前ノ方ニ金ヲ拂ツテヤル、ダガコチラノモノダト思フ、ト斯ウ云フコトデ、中々民間ノ境爭ヒノヤウニ簡單ナ譯ニ行カナイ、兎ニ角木ハ拂下ゲタモノハ伐ツテ遠クニ持ツテ行ツテシマフ、斯ウ云フ爭ガ一ツヤニツヂヤナイ、常ニソレガ頻發シテ居ル、現在モ其ノ訴訟ガアルノデアリマス、モウ皆民有林ハ泣寝入ツテシマツテ居ル、斯ウ云フ話ヲ聞クノデアリマス、ソレハ國有林ハ何ボノ何坪アルト坪數ガキチツト實測ガ決ツテ居ル、民間ノ持ツテ居ルモノハ一町歩ト云ツテモ一町七段モ八段モアル、モツト奥ノ方ニ行ツタラ一町ト言ツタノガ十町モアル、二十町モアルト云フヤウニ凡ソノ見取デ言ツテ居ルノデアリマス、サウナルト事實ニ於テ税金モ課ケテ居ラナケレバ、是マデモ二町ナラ二町ト云フコトニナツテ、二十町アル所デモ二町デ済ンデ居ル、オ前ノ面積ハ二町歩所デハナイ、十何町モ餘ツテ居ルデヤナイカ、ソレガ少々境界ノコトガアツテモ不足ヲ言フコトガアルカト云フコトニナルノデ、負ケテシマフ、ソレデモ境界ハ境界デ、所有權ハ所有權デアアル、オ上ハ何ボ力ガ強イト云

ツテモ、民有林ヲ壓迫シテ伐ツテシマツテ、訴訟ニ勝ツタラコチラガ拂ツテヤル、ソシテ無法ナコトガアルカト非常ニ怒ツテ居ル、是ハドウ云フコトニナルカ一ツ尋ネテ呉レ、斯ウ頼マレマシタカラ、是ハ問題外デアリマスガ御尋スル譯デアリマス

○村上政府委員 國有林ト民有林ノ境界ハ御承知ノ通り隣接地主ヲ立會ハセテ査定處分ニ依ツテ決定致シテ居リマス、而シテ既ニ各地ノ國有林ト民有林ノ境界ハ總テ皆査定済ダト思ヒマス、恐ラクソレハ境界ニ付テノ爭ガアリマシテ訴訟ニナツタノダラウト思ヒマスガ、ソレハ勿論國有林ガ民有林ヲ侵奪シテ居ルト云フコトデアレバ、侵奪サレテ居ル民間ノ方カラ訴訟ヲ起スヨリ外仕方ガナイト思ヒマス、ドウモ一旦國有林ト決ツタモノヲ、單ニ役人ノ任意デ向フニ戻スト云フ譯ニハ參リマセヌ、ヤハリ訴訟トカ何トカ、精密ナ手續ニ依ラズンバ是ハ返ス譯ニハ參リマセヌ、恐ラクサウダラウト思ヒマス、尙ホ何レ取調べマシテ、又後ノ機會ニ御話申上ゲテモ宜シウゴザイマス

○山川委員 モウ大抵尋ネテシマツタノデアリマスガ、是ハ又尋直シ見タヤウニナリマス、此ノ間大臣カラ本會議デ御答辯ヲ願ヒマシタ防災問題ト森林法ノ關係デアリマ

ス、實ハ私ハ兵庫縣デアリマスガ過日ノ六甲山ノ災害ニ付テハ非常ナ心配ヲ致シテ居ル者デアリマス、就キマシテハ大變オ上ニモ御心配ヲ掛ケテ居ル譯デアリマスガ、此ノ損害ハ殆ド二億圓デアリマシテ、是ガ復舊ハ容易ナラザルモノデアリマス、此ノ度ダケノ災害ハ今年カラ五年ナリ七年ナリノ計畫ニ依ツテ山及ビ川、或ハ土地、サウ云フモノノ總テノ修繕ガ出來ルトシマシタ所デ、私ノ見マス所デハ先ヅアノ六甲山ハ今後三十年ハ多少ナリトモ災害ガ繼續スルモノト見ル、アノ地表ガザツト草ガ生エ、木ガ生エテ固マリマスマデニハ三十年ノ歲月ガナケレバナラス、トテモ十年ヤ十五年ノ歲月デハアノ山ノ皮ガ出來ルト云フマデニハ立至ラヌト思ヒマス、ソレヲ憂ヘル者デアリマス、デアリマスカラ谷川ノ兩側ニ接シテ居ル所ノ土地ダトカ、或ハ谷川カラ流れ出テ居ル所ニ面シテ居ル土地、川ノ畔ト云フヤウナモノハ、是マデ山ノ名ニ於テ人ニ所有サレテ居ツタノデ、暴風雨ガアツタ時ニハ、其ノ山ニ水ガドツト出テモ大シタ害ヲ爲サズニ濟ンダガ、最近ハ其ノ山ヲ人間ガ探シ廻ツテ道路ヲ造リ、屋敷ヲ拵ヘル、屋敷ヲ作レバ一坪三錢ノ土地ガ直チニ十五圓ニ賣レル、モツト良イ所ニナレバ一坪五十圓ニ賣レル、斯

ウ云フコトニナツテ居リマスカラ、川ノ中ニマデ屋敷ノ脚ヲ突込ム、サウシテ川ヲ段段狹メテ來タノガ今度ノ災害ノ原因デアアル、災害デ死ンダ者ハ、アレハ水ノ神様ニ叱ラレタ譯デアアル、水ノ流れル所ノ領域ヲ人間ガ占領シテ居ツタ譯デアアル、ソレデ、是ハ元々俺ノ通ル道デアツタノダカラト云フノデ、オ構ヒナク水ハ御通りニナツタ、斯ウ云フコトニナツテ多クノ人ガ死ンダ、斯ウ思フノデアリマス、デアリマスカラ、名ハ宅地デアツテモ、サウ云フ谷川ニ接シテ居ツテ、將來崩壞スル憂ノアルヤウナ土地ニハオ上デモウ再ビ屋敷ヲ拵ヘサセナイ、斯ウ云フコトモ出來ルヤウニ、ガツチリシタ規定ヲ今度ノ此ノ森林法ニ書加ヘテ貰ツタラドウデアラウカ、水ノ流れテ來ル近所ニハ屋敷ヲ拵ヘルコトハナラス、耕地ヲ作ルコトハナラス、所謂保安林ト云フモノノ權限ヲドシノト其處ヲノ土地ノ廣イ面積ニ擴ゲテ、サウシテ假令五十年ニ一遍デモ、百年ニ一遍デモ、大雨ガ降ツタラ此處ハ水ノ流れル所デアルト云フコトヲ豫期シテ、サウ云フ土地ニハ再ビ屋敷ヲ拵ヘサセナイ、斯ウ云フコトハ出來ヌノデアリマスガ、若シ森林法ダケデ出來ナカツタナラバ内務省ノ方ノ何カノ規則デ取締ツテ、内務省ノ方

ノ土木工事ヲヤラセル、其ノ危險ナル所ノ工事ノ中ノ半分ハ民間ガシテ居ルノデアリマスケレドモ、半分ハヤハリ中央ノ認可ヲ受ケテ府縣ガヤツテ居ル、其ノ府縣ガ川ノ修理ヲヤル工事ガモウ抑、川ノ神様ニ崇ラレルト云フ範圍ヲヤツテ居ル、斯ウ云フモノニ付テハ是マデノ川ノ幅ヨリ十倍モ廣クシテ、危イ所ハ百倍デモ構ハナイガ、ソシテ、危イ所ニハ屋敷ヲ建テルコトハ出來ナイト云フヤウナコトハヤレナイモノデアリマセウカ、脆弱ナ危險ナ土地ニ對シテハオ上ハ再ビ斯ノ如キ災害ガ起ラナイヤウニ復舊シテ、復舊シタナラバ復舊シタ工事ヲ再ビ復舊ノ復舊ヲヤラナケレバナラスト云フヤウナ憂ノナイヤウニ將來實地ヲ視テサウ云フ場所ヲチャント定メテシマウテ、繪圖ノ上ニ赤イ色ヲ塗ツテ、赤イ所ニ人間ガ一畝デモ入レタラ相濟マヌゾト云フヤウナ規則ハ出來マセヌカ、其ノ事ヲ大臣ニ伺ツタノデアリマスガ、本會議デハ時間ガナイモノデアリマスカラ甚ダ御粗末ナ簡單ナ御答辯シカ願ヘナカツタ、私ハ一生懸命調べテ伺ツタノデアリマスガ、大臣カラハ甚ダ御粗末ナ御答辯ヲ戴イタ、私ハモツト強く感じテ戴ケルカト思ツテ熱心ニ御話ヲ申上ゲタ積リデアツタノデアリマス、是ハドウカ一ツ

實地ニ御取扱ニナリマス山林局長サンニ御考ヲ願ヒマシテ、

〔委員長退席、長野委員長代理著席〕

何トカ此ノ度ノ此ノ規則ヲ變ヘテ、モット強イモノニスルコトガ出來ナイカト云フコトヲ御尋申上ゲマス

○村上政府委員 御希望ノ所ハ現行法ニ依ツテ大體目的ヲ達シ得ラレルト思ヒマス、即チ現行法ノ第三十二條ト第三十六條ト此ノ二ツカラソレハ出來得ルト思ヒマス、三十二條ニハ「主務大臣國土保安上必要アリト認ムルトキハ保安林以外ノ森林ニ付區域又ハ箇所ヲ定メテ開墾ヲ制限又ハ禁止スルコトヲ得」是ガ普通開墾制限地ト謂ハレテ居リマス、即チ森林デ開墾ヲ制限サレタ所ニ付キマシテハ、耕地ニスルコトハ勿論、家ヲ建テタリ或ハ道路ヲ付ケタリ、サウ云フコトハ出來ナイコトニナツテ居リマス、尙ホ三十六條ニ於キマシテ「主務大臣ニ於テ必要アリト認ムルトキハ原野、山岳其ノ他ノ土地ニシテ第十四條第一號乃至第五號ノ場合ニ該當スルモノニ付本章ノ規定ヲ準用スルコトヲ得」トアリマシテ、之ヲ準保安林ト謂フ、即チ田畑デアツテモ、宅地デアツテモ、國土保安上必要ト認ムレバ、之ヲ保安林ト同様ナ取扱ニスルコトガ出來ルコトニ今ナツテ居

リマス、實際問題トシテモ、田畑等ヲ其處ガ荒廢復舊ノ爲ニ必要ナ場合ニ於テハ之ヲ保安林ニ編入致シ、サウシテ元ノ森林ニ復舊スルコトヲ命ジテ居リマス、此ノ場合ニ付テハ國家カラ相當厚イ補償ヲ出シテ居リマス

○山川委員 三十六條ニ「原野、山岳其ノ他ノ土地ニシテ第十四條第一號乃至第五號ノ場合ニ該當スルモノニ付本章ノ規定ヲ準用スルコトヲ得」ト書イテゴザイマスルガ、「コトヲ得」トシテ、斯ウ云フコトガ稀ニアルカモ知レヌト云フコトニ見テアル、モット強イ規則ヲ拵ヘテ、サウシテチヤント檢査ラシテシマツテ、今現在完全ナル私有デアツテモ、亦現在マデ災害ヲ受ケナカツタ土地デアツテモ、將來此ノ土地ハ災害ヲ受ケルト云フヤウナ土地ヲ再ビ檢討シテ、保安林ニ編入スルヤウナ方法ヲ執ルト云フコトハ出來ヌノデアリマスカ、是デハ今度ノ災害ナドデモ、此ノ規則ニハ斯ウ云フコトガ書イテアリマスルガ、荒レタ所ノ土地ノ大部分ハヤハリ民有林ニナツテ居ル、ソレデスカラ銘々勝手ニ屋敷ヲ造ツテ居ル、斯ウ云フ風ニ葦ノ生エテ居ル所ノ川ノ中ニ完全ナ石垣ヲ積ンデ屋敷ヲ拵ヘル、石垣ノ高サヨリモ屋敷ノ方ヲ高クシテ一坪四十圓、四十

五圓デ賣ツテ居ル、サウシテ片方ノ石垣ハ二十五圓位シカ掛ラナイカラ坪二十五圓位儲カル、其處ニ屋敷ヲ拵ヘル、斯ウ云フヤウニ川ノ中ニ家ヲ造ツタモノハ今度ノ水害デ根コソジ浚ハレテシマツタ、元屋敷ガカラト言ツテ再ビ又ボツ／＼其處ラニアル石

ヲ外シテソレヲ積重ネル、前ノ石ハ下流ニ流レテ居ルカラ今度新シク積ム石ハ上カラ持ツテ來ル、サウスルト川ノ爲ニアル石ヲ取ル、其ノ石ヲ取ルト次ニ土砂ガ流レル準備ガシテアル、災害ノ準備ガ出來テ居ル、私ハ非常ニ之ヲ案ジル、此ノ森林法ノ改正ニ付テハ其ノ邊ニ餘程變ツタ事ガ出來ルト實ハ期待シテ居リマシタ所ガ、唯事業計畫ノコトダケガ改良ニナツテ、防災ト云フコトニ付テ計畫ガ出來テ居ラナイノデアルカラ、是ハヤハリ關西邊リノ大水ヤ九州ノアノ災害ハ、東京カラハ遠イノデ見エニクイダラウト思フ、新聞ノ記事ヲ一度讀ンデ忘レテシマハレル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデヤナイカ、實地ヲ御覽下サイマシタナラバ、ハア是ハ何トカシナケレバ將來恐ロシイ、又三十年ハオロカ五十年モ災害ハ續クモノデアル、斯ウ云フ風ニ思フ、コンナ事ヲシテ居ツタナラバ、國家ハ災害ノ修理ノミニ掛ツテシマハナケレバナラヌコト

ニナツテ來ルトフ思フ、ソレハ日本全國悉クノ山ニ行ツテ下サイト言フノデヤアリマセヌ、土地ノ弱イ、花崗岩ノ風化シテ居ル土地、危險ナ土質ノ部分ダケヲヤツテ、サウシテ特ニ國ガ未然ニ防グ設備ヲシテ戴キタイト云フコトヲ希望致スノデアリマス

○村上政府委員 此ノ三十六條ハ是レハ傳家ノ寶刀デハゴザイマセヌ、今デモ相當ヤツテ居リマス、ソレデ神戸ニ實際サウ云フ所ガアリマスレバ、其ノ際斷乎適用シテモ差支ナイ、現ニ今マデモ隨分荒廢地復舊事業ニ於テハ斯ウ云フコトヲヤツテ居リマスカラ、必要ガアレバ何時デモハ適用致シマス

○長野委員長代理 山川君マダアリマスカ抱願ヒマス、次ニハ段々小サクナリマスガ、林道ノ補助デゴザイマスガ、是ハ此ノ間カラ色々皆様が御熱心ニ御話ニナツテ居ル點デアリマスガ、先程來御話ガゴザイマシタ「ガソリン」代用ノ木炭其ノ他ノ木炭、此ノ木炭ノ増産ノ計畫ハ目下喫緊ノ問題デアルコトハ申スマデモナイコトデアリマス、此ノ増産計畫ニ付テノ原木、之ヲ將來ドウシテ維持スルカト云フ問題ハ、マダ日本ハ山ハ廣イ、奥ノ方ハ經濟距離圈

外ノ土地ハ隨分アリマス、是ハ林道ノ力ニ依ツテ經濟距離ヲ接近セシメタラ宜イ、是ガ一番宜イ仕事デアルト思フノデアリマス、政府ハ前カラ林道補助ニ付キマシテハオ金ヲ相當御計上ナサイマシテ、從來ハ森林組合ト云フモノヲ拵ヘテ、サウシテ土功組合ト云フモノヲ拵ヘテ、林道ノ補助ヲサレタ、先程川俣君ハ林道ノ補助ヲ欲シイガ爲ニ名前ダケノ組合ヲ作ツテ居ツテ、甚ダ不都合デアツタト云フコトノ御話ヲサレタ、私ハ怪シカスト思ツテ居ツタ、ソレハ本當ノ事ヲ知ラナイ人ノ言フコトデアル、アノオ金ヲ戴イタカラ、今日マデ日本ノ林政ト云フモノガ行ハレテ來タノデアル、アノ僅カノ金ガ實地ニ付テハ幾ラ程御使ヒニナツタカ分リマセヌケレドモ、御計上ナサツタ時、多イ時ニハ六百七十萬圓位御計上ニナツタ、ケレドモ實際ニ於テハ百五十萬圓位シカ御使ヒニナツテ居ラヌト思ヒマスガ、ソレ等ノ金ガ今日マデレ位結構ナ働キヲシテ居ツタカ分ラヌト思ツテ、私ハ喜ンデ居ルノデアリマス、是等ノ關係カラ考ヘマシテ、木炭ノ關係カラモ考ヘテ、又其ノ他ノ用材ノ經濟ノ上カラ考ヘマシテモ、林道ハ非常ニ大切ナモノデゴザイマスノデ、之ニ向ツテ本年ハドウ云フ方法

デソレヲ御交付下サルカ、一昨年デアリマシタカ、從來トハ交付規程ヲ御變ヘニナリマシテ、二軒以下ノ道路ニハヤラナイトカ云フヤウナ内規ヲ作ラレタ、ソレデ戴ケヌ所ノ道路ガ澤山アツテ、ソレガ爲ニ道ガ欲シイ爲ニ拵ヘテ居ツタ所ヘ組合ガ潰レテシマツタト云フヤウナ組合ガ大分出來テ來タノデアリマス、ソレデ私ハ一應農林省ヘ行ツテ、其ノ事ヲ御願モシ、御説明モシ、談判モシタノデス、所ガドウシテモ無イ袖ハ振レヌ、金ガナイノダ、元金ガナイノダカラ、サウ云フ規則ヲ拵ヘテ、或ル部分ハ振落シラ喰ハサナクテハ此ノ豫算ハ成立タナイノデアアルカラト、斯ウ云フ御答辯デアリマシタ、ソコデ私ノ申上ゲタイノハ、先程申上ゲテ置キマシタ地穀ノ穀ノ大小デアリマス、東北地方邊リデハ一寸シタノデモ一ツノ山ハ一里ナリ二里ナリノ道ヲ付ケルコトハ出來ル、隨テ二軒以下ノ道路ヲ認メヌト言ツタ所ガ差支ナイノデアリマス、所ガ關西ノヤウニ此ノ地穀ノ穀ノ細カイ所デハ二軒ト云ツタドノ谷モ人間ガ住ンデ居ル、其ノ耕地ノ終ヒマデハ村道ニナツテ居ル、其處マデハ村道ノ補助金デ村ハ金ヲ貰ツテ道ヲ造ツテ居ル、ソレカラ先ガ林道ニナツテ居ルガ、ソレヲ二軒モ行ツタラ峠ヲ越シ

テ隣ノ村ニ出テシマフ、ダカラ地球ノ穀ノ粗イノモ細カイノモ同ジ規則デヤラレテハ、關西ノ方ニ全ク貰フコトガ出來ナイヤウニナツテシマフ、故ニソレハ穀ノ大小ニ依ツテ、其ノ地形ニ依ツテ御考ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、是ガ林道ニ關スル御尋ノ一ツノ點デアリマス
ソレカラ林道ニ對スル補助金ハドレ位戴ケルノデアリマスカ、又ソレヲ貰フガ爲ニ今日マデ出來テ居リマシタ所ノ森林組合——今度此ノ規則ニ依ツテ出來ル組合ハ問題ハアリマセヌ、今マデ例ヘバ三部落デ組合ヲ作ツテ戴イテ居ツタト云フヤウナモノニ對スル取扱等ニ付キマシテ、今後ドウ云フ御方針ヲ執ラレマスカ、ソレカラモウ一ツハ、從來ハ一縣當リノ林道ノ補助ノ單價ガ非常ニ安カツタノデアリマス、ソレガ爲ニ災害ノ原因ヲ成シテ居ル、土ガ流れ易イヤウナ非常ニ無理ナ設計ヲシテ、粗末ナ設計計畫デアツタノデアリマス、山ノコトデアルカラ粗末デ宜イト云フコトデアツタノデセウ、平野ニ粗末ナ道ヲ造ツテモ災害ノ原因ニハナラナイ、併シ山ニ粗末ナ道ヲ造ツタラ災害ノ原因ニナル、ダカラ山ノ方ハ丁寧ニシナケレバナラス、林道ノ普及ニ付テノ金ヲ御請求下サイマシタ議員サンハ澤山

アラウト思ヒマスガ、私ハソレト同時ニ林道補助ノ單價ヲモツト上ゲテ、サウシテ金額ヲ殖ヤシテ貰ツテ、眞劍ニ林道ニ付テ力ヲ入レテ貰ヒタイ、ソレカラ林道ノ勾配ノ問題デアリマスガ、是ハドレ位ノ所マデ御許シニナツテ居リマスカ、五分ノ一或ハ四分ノ一ト云フヤウナ所マデ御許シニナツテ居ルノデハナイカト思ヒマス、山ノ砂デ鋪裝ノ出來テ居ナイ、道ノ表面ヲ固メル組織ノナイ粗末ナ道路ニ對シテ、五分ノ一或ハ四分ノ一ト云フヤウナ勾配マデ御許シニナリマシタラ、是ハ先デ砂ヲ流ス川モ拵ヘテヤラナケレバナラス、是位危險ナコトハナイノデアリマス、ドウカ山ノ勾配ハ——曲リマシテモ、道ハ遠クナリマシテモ宜シイカラ、餘リ無茶ナ、強イ勾配ハナイヤウニシテ貰ヒタイ、只今ハドノ位ナ勾配マデ許サレテ居ルカ、切取ノ勾配ハドノ程度マデ許サレテ居ルカ、若シソレヲ幾ラ改メタナラバドレダケノ金ガ要ルト云フコトヲ一ツ御示シガ願ヒタイノデアリマス
○村上政府委員 只今林道ニ支出シテ居ル金ハ前ニ御説明申上ゲタヤウニ百三十萬圓ばかり、其ノ中ノ百萬圓ばかりハ是ハ幹線林道デゴザイマシテ、是ハ御説ノ通り相當長距離ノ林道ニ補助金ヲ出ス、併シナガラ

残りノ三十万圓ハ、殊ニ「バルブ」資材ノ爲ニ間伐ヲ爲ス、斯ウ云ツタヤウナ林道ニハ是ハ制限ガゴザイマセヌデ短イ林道、幅ノ狭イ林道ニモ支出シテ居リマス、尙ホ只今山川サンノ御指摘ニナリマシタ標準ト云フノモ、是ハホンノ吾々ノ方デ査定スル時ノ一ツノ目安ニ過ギナイノデ、是ハ確定不動ノモノデハアリマセヌ、ソレゾレノ縣々等ニ於ケル事情等ヲ斟酌致シマシテ、多少ノコトハ差ハ設ケテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

ソレカラ林道ノ單價ニ付キマシテハ、是モ十分デハゴザイマセヌガ、成ベク精密ナ丈夫ナ林道ヲ造ルト云フコトニ吾々モ努力シテ居リマス、尙ホ勾配ニ付キマシテハ是ハ何分ノ一以上ノ勾配ハ認メヌト云フヤウナ規定モ別ニゴザイマセヌガ、實際設計ヲ一ツツ見マシテ急勾配ノモノハ避ケル、縦令ソレガ廻リニナリマシテモ、急勾配ノモノデハ木モ出セナイコトモアリマスノデ、急勾配、逆勾配ト云フヤウナモノハ成ベク避ケル方針デ今ニデモ設計ヲ見テ審査シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○山川委員 洵ニ有難ウゴザイマス、サウ云フ風ニ段々ト進ンデ參リマシタラ大變喜バシイ次第デアリマス、其ノ他此ノ林業ニ

關スル事業ハ此ノ間本會議デ二十項目程上ゲテ御話ヲ申上ゲマシタガ、ソレヲ一ツ御尋致シマシタラ、逆モ四日間ヤ五日間御質問申上ゲタ所デ終ラヌノデアリマシテ、モウ詰ラヌ質問ハ止メルコトニシマスガ、此ノ間御質問申上ゲマシタ山ヲ守ルト云フ上ニ於テノ此ノオ金デゴザイマスガ、此ノ豫算ヲ相當ナ額ニ殖ヤシテ貰フ、ウント殖ヤシテ貰ヒタイ、道ニモ殖ヤシテ貰ヒタイ、造林ニモ殖ヤシテ貰ヒタイ、土砂扨止ニモ殖ヤシテ貰ヒタイ、砂防ニモ殖ヤシテ貰ヒタイ、川ノ改良ニモ殖ヤシテ貰ヒタイ、是等ノ金ヲ殖ヤシテ貰ウテ、サウシテ林業ヲ發達サスト共ニ災害ヲ防グ、此ノ兩方面ニ向ツテ盡シテ戴キタイノデアリマス、ソレデ只今ノ所デハ其ノ金ガ十年計畫デナシタガ、治山治水ニ對スル金ハ是レノト云フヤウナ一年ニ割ツテ見ルト一千万圓ニ足ラス金デ、此ノ廣イ間ノ種々ノ仕事ニ取掛ルト云フコトニナツテホシノ項目ダケヲ置イタ、見本ダケヲ置イタヤウナコトニナツテ居ルノデアリマス、是デハ本當ノ目的ハ達スルコトガ出來ナイノデアリマス、思切ツテモツト、此ノ金ヲ農林省カラ、遠慮ナシニ大藏省ニ請求シテ貰ヒタイ、私ハ

農山漁村ハ今日大藏大臣ニ大キナ金ヲ請求スル所ノ權利ガアルト思フ、是ハ脱線スルカモ知レマセヌガ、關聯事項デアリマスカラ御話申上ゲマスガ、本年ノ米價ノ最高價格ヲ据置カレタト云フコトハ大變ナ問題デアリマス、農村ニ對シテ是ハ今度ノ豫算デドウ云フ施設ガ出來ルカソレヲ見テ居ルノデアリマス、若シ相當ナ事ガ農村ニ對シテ出來ナカツタラ百姓ハ怒リマス、承知致シマセヌ、物價ガ五割上ツテ居ル、數ノ子ノ如キハ五十割上ツテ居リマシタ、農家ハ數ノ子ト、ゴマメト、鰯ヲ正月ニ食ベル、是ガ農家ノ最大ノ「カローリ」デス、一年分ノ「カローリ」ヲソレダケニ依ツテ攝ラナケレバナラヌヤウナ有様デアル、五十割上ツタ所ノ數ノ子ハ食ヘヌコトニナツテシマフ、是ハ一ツノ例デアリマスガ、肥料モ二割上ツテ居ル、總テ一割、二割、或ハ五割、上ツテ居ル、農家ノ買フ品物ハ平均シテ殆ド三割位上ツテ居ルニモ拘ラズ、米價ハ其ノ儘ニ据置カレタ、四千二百萬石百姓ガ米ヲ賣ルト致シマシテ——帝國農會ノ調査ニ依リマス、一石ニ付テ二圓四十六錢カ、昨年ヨリ生産價格ガ高イ、斯ウ云フ風ニ發表サレマシタカラ、農林省ハ之ヲ二圓五十錢位上ゲテ下サルモノト思ツテ居ツタ、ヒヨツ

トシタラ百姓ニ最良シテ下サツテ三圓位ハ上ゲラウ、斯ウ云フ風ニ思ツテ居ツタ、所ガ据置ト聞イテビツクリシテシマウタ、驚イタ、之ニ付テノ問題ハ、今私ガ申シテ居ツテモ仕方ガナイ、過日來豫算委員會デ總テノ議員サンガ之ニ向ツテハ政府ニ非常ニ不足ヲ言ウテ居ラレマス、私等モ大變不平等デアリマスルケレドモ、モウ再ビソレニ付テハ申上ゲマセヌガ、一石ニ付テ少クモ二圓乃至三圓ノ頭ヲ叩カレテ居ル、四千二百萬石デアリマシタランボニナリマスガ、四千万石トシテ三圓ノ差ガアツタラ一億二千万圓、若シ二圓ノ差ガアツタラ八千万圓、八千万圓ト云フモノハ大藏省ニ米代ガ預ケテアル、ドウゾ其ノ意味ニ於テ、百姓ノ仕事、山ノ中ノ仕事、漁村ノ仕事ニ付テハ農林省ハ大キナ額ヲシテ大藏省カラ豫算ヲ取ツテ貰ヒタイ、是デアリマス、是ハ只今此處デ論ズル問題トシテハ一寸脱線シテ居リマスケレドモ、ドウカ豫算ヲ餘計取ツテ貰ヒタイト云フ意味ニ於テ關聯事項デアリマスカラ御話申シテ置キマス、ドウゾ御遠慮ナク御請求願ツテ、一寸デモ農山漁村ノ振興ヲ圖ツテ貰ヒタイト云フ希望ヲ申上ゲルノデアリマス、是ハ質問デハナク、希望ニナリマシタガ、此ノ事ニ付テハ御答辯ヲ願

ヒマシテモ無理デアリマスカラ、ドウカ御心持ノ中ニ入レテ置イテ戴イテ、百姓ノ爲ニ金ヲ出シテ戴キタイト思ヒマス、是ハ特ニ政務次官サンニ御願ヲ申上ゲテ置キマス其ノ次ニハ木材ノ検査、ソレカラ炭ノ検査等ニ付テ、各府縣デワツテ居ルノデアリマスルガ、是ハ國トシテ統制ナサルコトニナツテ居リマスカ、ソレノ質問ハドナタカラカ出マシタカモ分ラヌト思ヒマスガ、出テ居リマスナラバ速記録ヲ拜見致スコトニ致シマス

○長野委員長代理 木炭検査ノコトハ出マシタヤウデアリマスカラ御調ヲ願ヒマス

○山川委員 ソレデハ宜シウゴザイマス、速記録ヲ拜見致シマセウ、ソレカラ林業技術員ノ補助デアリマスガ、是ハ本會議デ私ハ洊々ト大臣ニ御質問申上ゲタノデゴザイマスルガ、之ニ對スル大臣ノ御答辯モ、シツカリシタ所ヲ承ラナカツタ、「林業組合制度ノ強化ト助成、林業技術員ノ養成、此ノ事ニ付キマシテハ十分ニ注意ヲ致シタイト思ツテ居リマス」ト、斯ウ云フ簡單ナ御答辯デアリマシタ、條理ヲ盡シテ御質問申シテ居ル重大ナ此ノ問題ニ斯ウ云フ簡單ナ御答辯ヲ戴イテ、私ハ其ノ時ニ憤慨ヲシテ居ツタノデアリマス、斯ノ如キ大切ナ此ノ林

業ニ向ツテ他ノ技術員ハ皆補助ヲ貰ツテ居リマスノニモ拘ラズ、山ノ技師、山ノ組合ダケニハ補助ヲヤラナイ、山ノ技術員ニ對シテハ國家ハ認メテ居ナイ、是ハ大變ナ間違デアリマス、此ノ事ハ昨年ノ議會ニ於キマシテモ私ハ聲ヲ囀シテ申上ゲタノデアリマス、殊ニ又之ニ對シテハ建議案ヲ出シマシテ、滿場一致可決ヲ致シテ居ルノデアリマス、之ニ向ツテ本年ハドウ云フ方法ヲ御執リ下サイマシタカ、之ニ對シテノ御答辯ヲ御願シタイトデアリマス

○松村政府委員 先程ノハ山川君ノ御希望ノヤウデアリマシタガ、至極同感デアリマス、唯米價ノ問題ハ、私共ハ其ノ頃ニハ居リマセナンダケレドモ、家計米價ノ關係デアア云フヤウナコトニナツタノデアラウト思ヒマスガ、勿論アノ基準米價ヲ將來決メマス場合ニハ十分物價ノ趨勢ガ織込マレルコトニナツテ居リマスカラ、是ハ勿論無理ニ此ノ場合抑ヘルト云フヤウナ考ハ當局ハ持ツテ居リマセス、途中ニ於キマシテモ物價其ノ他ノ大キナ變動ガアリマスレバ、之ニ對シテ十分ノ事ヲ致スコトハ勿論デアリマス、隨テソレガ大藏省ヘドレダケノ預ケニナツテ居リマスカハ是ハ別問題ト致シマシテ、御趣旨ノ通り森林ノ事業、治水ノ事業

ニ相當ナ施設ヲ今後モ要スルコトハ勿論デアリマシテ、農林省ハ決シテ唯見本ダケヲヤツテ居ルヤウナ譯デハアリマセヌノデ、今日マデモ相當ニ強く大藏省ヘ要求モ致シテ居ル譯デアリマス、隨テ財政其ノ他ノ都合デ今日現ハレテ居ル程度ハ是ダケデアリマスケレドモ、是カラ以後モ努力ヲ致シマシテ御希望ニ副ヒタイト思ヒマス

ソレカラ技術員ノ補助ノ問題デアリマスカ、是ハ今度ノ豫算及ビ治水事業ノ方ニ今年カラ相當ニ見込シテ置イテアルノデアリマス、是ハ局長カラ詳シク御答ヲ致シマス

○村上政府委員 此ノ度ノ豫算ニ於キマシテ森林組合ノ設置スル技術員ニ付テハ俸給旅費ノ三分ノ一ヲ助成スルコトニナリマシタ、尙ホ第二期治水事業ガ體力昭和十二年ニ成立シマシテ、ソレ以來縣ガ村ニ駐在セシムル所ノ吏員ニ對シテモ是ガ俸給及ビ旅費ヲ助成スルコトニ致シマシタ、其ノ方ノ助成ガ現在ニ於キマシテ約三百人ヲ超エテ居ルカト考ヘマス

○山川委員 全國デ三百人程デアリマス、一縣ニ五人乃至十人、分リマシテゴザイマス、有難ウゴザイマシタソレカラモウ一ツ御尋申シタイトハ、先程一寸御尋申シタカト思ヒマスガ、只今出來テ居リマス森林組

合ト今度ノ森林組合トノ關係ヲ一ツ伺ヒマス

○村上政府委員 只今出來テ居リマス所ノ森林組合ハ五年内ニ改組シテ今度ノ森林組合ニナルコトニナリマス、若シ五年内ニ改組シテ森林組合ナルコトヲ致サナケレバ、五年ノ時ニ消滅スルコトニ法律上規定ガゴザイマス、尙ホ勿論是等ノ組合ハ一村ニ數組合アレバ合同シテ一ツノ組合ニナルコトヲ希望致シマス、但シ色々ノ關係カラドウシテモソレガ出來ヌト云フ場合ニ於テハ、是ハ場合ニ依ツテハ一村ニ二ツアリ或ハ三ツアツテモ仕方ガナイコトモアラウト思ヒマス

○山川委員 現在一村一組合ノ存シテ居リマス所ノ御取扱ハドウナリマスカ、森林組合デ一村ヲ一區域トシテ現在ヤツテ居リマスガ、サウ云フ村ハドウナリマスカ

○村上政府委員 只今一村一組合ノ所モ相當アリマセウ、是等ノモノハ既ニソレガ出來テ居リマスカラ、是ハ定款ヲ變更シテ此ノ度ノ組合ニナツテ貰ヘバ宜シイ譯デアリマス

○山川委員 松尾君カラ非常ニ詳シク御尋ニナリマシテ大變御暇ガ要ツタヤウデアリマシタガ、アノ問題ニ私モ一寸疑點ガ殘ツ

テ居ル、松尾君ノ疑點トハ又違フノデス、アレハ事業計畫ハ一反デモ二反デモ一町デモ個人々々ガ持つテ居ル、其ノモノノ一ツノ事業計畫、是等ハ計畫モ何モ要ラス、植エサヘシタラ宜イノデアル、ソレガ集ツテ一村ノ組合ニナルノデアル、所謂細カイモノヲ以テ一ツノ組合ヲ作ルト、ソレガ村中ヲ一ツトシテ事業計畫ヲヤラレルト云フコト、此ノ見方デアリマスガ、ドチラヲ主ニシタラ宜イカ、ソレハドナデモ同ジコトデアルト斯ウ云フ意味ニナルト思ヒマスケレドモ、事業計畫ノ中ニ個人々々ノモノヲ多少ノ制裁ヲ加ヘラレルノデアリマスガ、或ハ個人々々勝手ニ皆ヤラセテ、唯一ツノ組合ダケ作ルト云フコトニナルノデアリマスカ

存置シテ置クト云フコトハ、餘リ國ノ爲ニモ結構ナコトノヤウニモ思ハヌノデアリマスガ、日本ノ國有林ト云フモノカラ年々ドレ位ノオ金ガ入ツテ、役人サンノ警戒トカ巡視ノ費用、其ノ他ヲ加ヘテドノ位ノ支出ガアルカ、而シテ差引何ボ残ルカ、或ハ一層ノコト民間ニ之ヲ渡セバ利用厚生ニ役立ツニモ拘ラズ、政府ノ役人ニ月給ヲ拂ツテ、貧乏ノ種ニナルヤウナコトガ出来テ居リハセスカ、其處ノ所ヲ間違ノナイ統計カ何カ拵ヘテ下サツテ、此ノ委員會ニ御示シ下サルコトガ出来マセスカ

餘デゴザイマス、之ニ對シテ支出ガ二千八百七十八萬圓、隨テ約一千五百萬圓以上ノ黒字、斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○山川委員 ソレデ安心致シマシタ、ソレデハ次ニ山林會法ヲ拵ヘルト云フコトニ付テハ、是ハドナタカラカモ御話ニナツタノデアリマスガ、私モ嘗テ本會議デ此ノ山林會法ヲ作ル所ノ御意思ガアルカナイカ其ノ必要ヲ説イテ御話申シタノデアリマスガ、大臣ノ御答辯デハ「山林會法ノ制定ニ付キマシテハ、山林ノ開發ニ伴ヒマシテ自然山林會法ヲ制定スル時機ガ來ルト考ヘマスケレドモ、今日ハ未ダ慎重考慮中デアリマシテ、直チニ之ヲ制定スルト云フコトハ申上ガ兼ネマス」ト云フ御言葉デゴザイマスガ、是ハ容易ニヤラナイト云フ御言葉ニモ聽エルノデアリマス、私ハドウカ山林會法ヲ設ケテ、民間ノ林業ヲ指導スルト云フコトガ非常ニ大切ナコトデアルト思ヒマス、此ノ法律ノ改正ガ出来テ、只今申シタ聯合的組合ヲ拵ヘテ、ソレニ依ツテ指導スルカラ此ノヤウナ會ハ要ラスヤウニナルト云フ意味デアリマセウカ、愛林事業ノヤウナモノモ私等ノ縣デハ山林會ガ中心ニナツテ其ノ仕事ヲシテ居ル、只今山林會ノ働キト云フモノハ「バルブ」ノ仕事ナドモ手傳ツテ居リ、種々

ナ仕事ヲ計畫シ、食料、薪炭ノコトナドニ付テモ其ノ技術ヲ教ヘニ行ツテ居ルト云フヤウニ、中々活動致シテ居リマス、是ガモウ少シ山林會法ニ依ツテ費用ノ徴收ノ途デモ出来タナラバ、益々發展スルグラウト思フ、是ハ是非必要ナ會デアルト思ヒマス、此ノ森林法ノ改正ガ出来タカラ是デ十分デアルト云フ——其ノ一ツノ仕事位ナモノデハナイ、山林會ノヤツテ居ル仕事ノ範圍ハ非常ニ廣イノデアリマス、ドウカ山林局長サン初メ只今御列席ノ御役人各位ノ頭デ、是ハ如何ニモ必要デアルト思召シ下サレバ、大臣モ御承知下サルデアラウ、斯ウ思フノデスガ、ドウカソレニ對スル御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○村上政府委員 各個人々々ノ事業計畫ヲ統一綜合シテ組合ノ事業計畫ニナル譯デアリマス、制裁ナドハ無論致ス譯デハアリマセス

○山川委員 ソレデ分リマシタ、ソレカラモウ一ツ二ツゴザイマスガ、ソレデ終リマス、此ノ細カイ國有林ヲ整理ナサルト云フコトニ付テ、大臣ニモ御尋申シタノデアリマスガ、ソレニ對シテシツカリシタ御答辯ガナカツタノデアリマス、アア云フモノヲ

○松村政府委員 ソレハ立派ニ收支ガ立チマシテ、サウシテ一面我が國土ノ森林ノ保護ガ出来マスルト共ニ、相當ニ日本ノ財政ニ大キナ寄與ヲ致シテ居リマス、幾ラ物價ガ安イ不況時代デアリマシテ財政ノ苦シイ時デモ、相當成績ヲ擧ゲマシテ、今日マデ財政上國庫ニハ相當ナ貢獻ヲ致シテ居リマス、其ノ收支ニ付テノ細カイ數字ハ局長カラ申シマスケレドモ、決シテ役人ヲ養フ位ノ程度ノモノデハゴザイマセス、是ハ相當國ノ爲ニナツテ居リマスカラ、是ダケハ申上ゲテ置キマス

○村上政府委員 昭和十四年度ノ豫算デ申シマス、森林收入ガ四千三百五十九萬圓

○村上政府委員 山林會ガ只今森林ノ一般的ノ公益ノ増進、愛林思想ノ涵養等ノ爲ニ非常ニ役立ツテ居ルノデ、是ガ發達ヲ助長セシムルト云フコトハ全ク山川サンノ御意見ト同感デアリマス、「バルブ」資材ノ斡旋或ハ椎茸栽培ノ技術傳授、木炭製造ノ技術ノ傳授色々ノ方面ニ於キマシテ役人側ト相協力シテ、即チ官民協力シテ一般林業ノ發達ニ從來貢獻セル所ガ大デアリマシテ、今後モ斯様ナ團體ガ益々發達スルト云フコトハ私共衷心カラ希望スルノデアリマス、唯之ヲ一ツ

ノ法制化致シマシテ、經費ノ強制徴收ノ團體ニスルカドウカ、是ハ農村負擔其ノ他色ナ關係ガアリマスノデ、慎重考慮ヲ要スル、斯ウ考ヘテ居リマス

○山川委員 ソレデハ私ノ質問ハ此ノ程度ニシテ置キマシテ、二讀會三讀會ノ意見ヲ開陳スル場合ニドウ云フコトヲ御尋スルカ分リマセヌケレドモ、今日ハ是ダケニシテ置キマス

○松浦委員 私關聯シテ木炭ノ問題ヲ聽カウト思ヒマス、是ハ大體川俣君ニ依ツテ聽カレタヤウデアリマスガ、唯殘ツテ居ル問題ハ此ノ公定價格ヲ決定スルニ付テ、其ノ基礎ハ生産「コスト」ヲ基礎ニシテ居ルカ、市場ノ逆算デ行ツテ居ルカ、此ノ點ヲ先ツ聽キタイ

○村上政府委員 是ハ公定價格ヲ決メマシタ場合ニ於キマシテハ、大體其ノ時ノ市價ト云フモノヲ一ツノ中心ニ致シマシテ決メマシタ、但シ其ノ時ニ於キマシテハ是ガ如何ニ山元ニ響クカ、即チ生産費ヲ償フカドウカト云フコトモ十分考慮致シマシテ、昨年ノ八月ニ於テハアノ價格ニ於テ十分其ノ點ハ收支償ツテ、相當山カラ炭ガ出ル、斯ウ云フコトノ結論ヲ得マシタノデ斯様ナ公定價格ヲ決メタノデアリマス

○松浦委員 多分サウデアラウト思ヒマスガ、長クナリマスカラ多クハ申シマセヌガ、大體總テノ物價ヲ定メル場合ニ、先程モ山川君カラ色々御話ガアリマシタガ、炭ヲ燒ク人モ農村ノ人モ大體ニ於テ今日ノ經濟下ニ於テハ必需品ハ全部市場カラ買求メテ來テ居リマス、其ノ必需品ト人的「エネルギ」ノ結晶ガ生産物ニナルト云フコトハ言フマデモアリマセヌ、ソレヲ徒ニ不均デアル、所謂跛行ノナ現狀ニアル市場カラ逆算シテソレヲ決メルト云フコトハ、結果ニ於テ何ガ現ハレルカト云ヘバ、山村ノ疲弊ハ言フマデモナク、市場ニ必要ナル所ノ物資ヲ供給スルコトガ不可能ニナリマシテ、必然的ニ闇相場ガ起リ、政府ノヤツテ居ル所ノ公定相場ハ何等意味ヲ爲サヌト云フ結論ニナルコトハ言フマデモナイ、隨テ之ニ付テハ今後モ其ノ狀況ニ依ツテ時々變ヘルト云フコトヲ先程モ申サレマシタガ、ソレハ何箇月置キ位ニ狀況ヲ觀テ變ヘル積リデアリマスカ、或ハ其ノ場合ニ於テ、從來トハ違ツテ生産「コスト」ヲ中心ニシテ變ヘル考デアルカ、其ノ點ヲ一ツ御聽キシテ置キタイト思ヒマス

○村上政府委員 公定價格ハ三月デ一遍切レマシテ、後ハ不需要期、即チ夏場ノ公定價格ヲ定メ、ソレガ濟ミマシタ時、更ニ今度ハ需要期ノ公定價格ヲ定メル、大體斯ウ云フヤウナ方針ニナツテ居リマス、但シ物價ノ變動、其ノ他色々コトガアレバ、何時デモソレヲ改訂シ得ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○松浦委員 其ノ基礎ハ從來通りノ市場ノ逆算デ行ク考カ、生産「コスト」ヲ中心ニスル考デアリマスカ

○村上政府委員 單ナル市場ノ逆算デ行クベキモノデハナイト考ヘマス

○松浦委員 今マデノハ關聯質問デシタガ、議事進行ノ意味ハ是カラデス、第一ノ質問ノ場合ニ、私ハ主トシテ初メノ間ハ速記録ニアリマス通り、本法案ヲ施行スルト共ニ、木材、資材ノ需給ノ「バランス」ガ破レル、其ノ場合ニ對スル政府ノ對策ヤ如何ト云フ問題デアツタノデアリマス、之ニ對シテ私ハ唯此處デ漫然ト議論ヲ仕合ツテモ、捕ヘ所ガゴザイマセヌカラ、政府ハ之ニ對スル所ノ確信ガアリ、計畫ガアリ、更ニソレニ對スル所ノ統計ノナ數字ヲ御示シナル御約束ヲ致シマシタ、櫻内農林大臣モソレニ對シマシテ、「只今ノ問題ニ對スル農林省ノ計畫ニ付キマシテハ書類ヲ以テ申上ゲマス」ト御答ニナツテ居リマス、是ハ昨日

カラ更ニ再三要求致シテ居リマスガ、中々此ノ問題ハ重大デアリマシテ、一日ヤ二日デ出來ナイカモ知レマセヌガ、只今マデノ委員會ノ情勢ヲ眺メマスナラバ、最早森林法中改正法律案ノ分ハ、質問ノ通告者ノ數モ段々末尾ニナツテ參リマシタ、私ガ今之ヲ喧シク要求致シマス所以ノモノハ、之ヲ貫ハナケレバ本法案ヲ審議スル上ニ、私共ノ考カラスレバ中心ガ無クナツテシマフ、ドウシテモ早く此ノ質問應答ノ交サレテ居ル間ニ要求シタイ、其ノ事ハ改メテ茲ニモウ一遍言直サナクテモ分ツテ居ルコト思ヒマスガ、從來ノ濫伐、過伐、早伐ニ依ツテ生産サレテ居ツタ面積、數量、及ビ將來伐ラウトスル所ノ過熟老齡林、又ハ間伐材ノ供給關係ノ「バランス」ガドウデアアル、此ノ問題デアリマスガ、是ガ唯ドレダケノ蓄積ガアル、ドレダケノ間伐ガ行ヘルト申シマシテモ、面積ト蓄積ダケデハ實ハ分ラナイ、何故ナラバソレヲ出シテ來ル所ノ——先程カラ山川サンモ申シテ居ラレマス、私モ之ニ付テ隨分申シマシタガ、林道ノ完成ヲ見ナケレバ出スコトハ出來ナイ、隨テ林道計畫ヲ行ツテ、其ノ完成ノ曉ニ於テ、其ノ壟年カラ生産サレルモノデス、サウスルト林道網ト此ノ需給關係トガ、此ノ法案ヲ實行

スル上ニ最モ必要缺クベカラザルモノニナ
ルト云フコトハ論ヲ俟タナイ筈デアル、
デゴザイマスカラ私ハ之ヲ先ヅ要求シタノ
デアリマス、モウ一ツハ企畫院ノ問題デ
アリマスケレドモ、之ニ付キマシテハ
色々個人的ニ御話モ御約束モシタコトモ
アリマスカラ、餘リ多クハ申上ゲマセヌ
ガ、假ニ私一人ガ企畫院ニ行ツテ其ノコト
ヲ聽キマシテモ、全委員ニ其ノ内容ガハツ
キリシナケレバ、本法案ヲ審議スル上ニ於
テ、非常ナ障礙ニナルノデアリマスマイ
カ、私ハ繰返シテ其ノ條文ヲ一々讀ミマセ
ヌガ、此ノ五日間ニ論議サレテ居リマス所
ノモノハ、先ヅ九條、十條、十一條ノ禁伐
命令ノ問題、地方長官ニ其ノ權限ヲ託スル
ト云フ問題デアリマス、是ト此ノ生産關係、
需給關係ト云フモノガ、ドウシテモ離ルベ
カラザル關係ニナツテ來テ居ル、是ニ於テ
其ノ翌日ノ山林局長ノ御答ハ、「十一條ニ依
リマシテ政府ガ自ラ造林等ヲ致シマシテ、
其ノ費用ヲ強制的ニ取上ゲルト云フコトハ、
是ハ最後ノ寶刀トモ謂フベキモノデアリマ
シテ、濫リニ濫用スベキモノデハナイ」ト仰
セラレテ居リマス、斯ウナリマスト斯ウ云
フ條文ガアツテモ——是ハサウ何時モヤル
モノデヤナイ、併シ條文上已ムヲ得ナイカ

ラ、此處ニクツ付ケテ置イタノダト云フヤ
ウナ御答辯デアリ、前ニ現行森林法ニモ斯
ウ云フコトガアルノダ、斯ウモ御説明ニナ
ツテ居リマス、又松村政務次官カラモ、御
同様ノ御答辯ガ出テ居リマスケレドモ、私
共ノ杞憂トスル所ハ、要ラナイ寶刀ナラ持
タセナイ方ガ宜イト思フ、持タシテ置ケバ
ヒヨツトシタラ抜クカモ知レナイト云フコ
トニナルト思ヒマスノデ、此ノ法案ヲ審議
スル上ニ於テ是等ノ重點ガ——結局私ノ考
ハ、一ツハ今日ノ時局ニ於テ資源ノ需給ヲド
ウスルカ、此ノ物動計畫ヲドウスルカト云
フコトガ、茲ニハツキリ致シマセヌケレバ、
私共ハ之ヲ慎重ニ審議スルコトガ出來ナイ
ト思フ、隨テ企畫院ニ於キマシテモ、此ノ場
合ニ於テ此ノ重要ナ資材ノ、所謂「パルプ」
デアルトカ、或ハ杭木デアルトカ、其ノ他
一般ノ用材デアルトカ云フモノノ需給關係、
今後輸入ノ「バランス」ノ上ニ於テ、ドウ云
フ方法ニ輸入ヲスルカト云フコトノ計畫ヲ
御見セニナラナケレバ、唯單ニ需給關係一
方面カラダケ眺メテモ、此ノ法案ヲ審議ス
ルコトハ私ハ出來ナイト思フ、更ニ此ノ法
案ニ對スル所ノ森林所有者、土地ノ所有者、
或ハ此ノ森林經營ニ當ツテ居ル所ノ各種ノ
關係者カラ見テモ、此ノ四日間ニ色々ト論

ゼラレテ居ル重點ハ、只今申上ゲマシタヤ
ウナ條文ニナツテ居リマス、デゴザイマス
カラ私ハ此ノ際企畫院ト色々御相談ナサレ
マシテ、斯ウ云フ公開ノ席上デ發表スルコ
トガ出來ナケレバ、最初ノ日ニ仰セラレマ
シタヤウニ、適當ナル機會ニ企畫院ノ方カ
ラ御説明申上ゲマスト云フ御約束モゴザイ
マスカラ、私ハ是非刻下重大ナル資源ノ審
議ニ當ツテ、此ノ法案ヲドウスルカト云フ
コトニ付テ、ドウシテモ企畫院ノ方カラ適
當ナル機會ヲ御選ビニナツテ、是等ノモノ
ヲ委員一同ニ御知ラセニナルコトガ、此ノ
法案審議ノ上ニ非常ニ有益デハナカラウカ
ト思ヒマスノデ、其ノ所信ヲ先ヅ一點御伺
シタイト思ヒマス

○村松政府委員 一寸御許ヲ得マシテ、速
記ヲ止メテ申上ゲタイト思ヒマス

○長野委員長代理 ソレデハ速記ヲ止メテ
下サイ

(速記中止)

○長野委員長代理 速記ヲ始メテ……松浦
君先刻ノ關聯事項デスカ

○松浦委員 サウデスガ、關聯事項ト申シ
マシテモ、山川サンノ御話ニ關係スルモノ
バカリデモアリマセヌガ、ドウデセウカ

○長野委員長代理 宜シウゴザイマス

○松浦委員 物動計畫ノ内容ヲ御聽キスル
ヤウニナレバ、其ノ時ニ一緒デモ宜イト思ヒ
マスガ、是ハソレノ關係デアリマセヌカラ、
輸出ノ關係ニ付テノ御計畫ヲ御聽キシタイ、
只今ノ狀況ヲ見マスト、色々ナ外交上ノ感
情モアリマセウガ、最近ニ於キマシテハ國
内資源ノ缺乏——木材資源ノ缺乏ト、圓「ブ
ロック」内ニ於ケル所ノ輸出ガ非常ニ要求致シ
テ參リマシテ、其ノ方ニ隨分資材ガ流レテ參リ
マス、隨テ國內ノ生産費モ段々高クナルト云
フ關係モ加味サレルカモ存ジマセヌガ、最近
ニ於ケル木材ノ輸出ガ非常ニ不振デアリマス、
是ハ言フマデモナク國際收支ノ均衡上ニ於テ
非常ニ重大ナ問題デアリマシテ、圓「ブロッ
ク」内ノモノハ兎モ角、圓「ブロック」外ニ出テ
行クモノハ農林省ニ於テハ相當ナ研究ト努
力ヲ重ネテ、サウシテ從來ニ劣ラナイヤウナ
數字ヲ上ゲテ行クト云フコトガ必要ナコト
デアルト存ジテ居リマス、之ニ對シテ最近
ノ趨勢ヲ眺メマスト、南洋方面ニ參リマス
ル所ノ「ベニヤ・チエスト」ノ輸出業ノ不振、
之ニ對シテ農林省ハドウ云フ方針ヲ執ツテ
居ラレマスカ、今後ドウサレル考デアリマ
スカ、更ニ阿弗利加方面ノ市場ニ參リマス
所ノ石油箱ノ販路、是レ亦「フィンランド」
諸國等ノ安物ニ押サレマシテ、最近ハ殆ド

ソレガ出テ行カナイト云フヤウナ狀況ニモアリマス、更ニ又北海道ノ櫛ノ輸出ノ狀況デアリマスガ、此ノ櫛ノ輸出ノ狀況ニ付キマシテモ、一昨年ノ現狀カラ考ヘルナラバ三分ノ一ニ減ジテ居リマス、所謂三〇%ニナツテシマツタ、斯ウ云フ現狀デアルガ、之ニ對シテ農林省ハドウ云フ方法ヲ執ツテ居ラレルカト云フコトニ付テ、今後ノ所信ト將來ノコトニ付キマシテ御伺ラシテ置キタイト思ヒマス

○村上政府委員 櫛ノ輸出、或ハ各種ノ箱ノ輸出ガ此ノ頃著シク減ツタト云フコトハ事實デアリマス、之ニ對シマシテハ私共トシテモ是ガ對策ヲ講ジナケレバナラスト思ヒマス

〔長野委員長代理退席、委員長著席〕

是ガ爲ニハ本年度豫算ニ於キマシテモ相當ノ金額ヲ要求致シマシテ、明年度ヨリ本格ニ輸出促進ニ努メタイト思ヒマス、尙ホ其ノ内容ニ付キマシテハ一寸速記ヲ止メテ下サイ

○小山委員長 一寸速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○小山委員長 速記ヲ始メテ下サイ

○松尾(四)委員 私ハ先日來數回ニ互ツテ此ノ組合ノ組織ニ付テ御尋フ致シ、又御答

辯ヲ戴イテ居ルノデアリマスガ、ドウモ此ノ所謂施業ヲ編成シテ、ソレヲ實行スルコトガ趣旨トナツテ居ル組合、即テ第五章ノ第六十二條ニ掲ゲラレテ居ル所ノ組合ト第七十條ニ掲ゲラレテ居ル所ノ組合トノ區別、ソレカラ出資議決權ノ關係等ガドウモ明瞭ニナラナイ、ソコデ先程カラ色々此ノ材料ニ付テ研究シテ見マスト、第七十條ニ於テ出資ヲ目的トシテ居ル場合ノ組合モヤハリ事業ヲ行フト云フコトニナツテ居ル、其ノ事業ハドンナ事業カト言ヘバ、森林產物ノ運搬、加工保管及ビ販賣ト云フコトニナツテ居ル、所ガ第六十三條ニ於テハ「森林組合ハ營利ヲ目的トセサル社團法人トス」ト

ナツテ居ルガ、第七十條デ事業ヲ行ツタナラバ營利ヲ目的トセヌ譯ニハ行カスト思フガ、ドウモ其ノ點ノ判斷ガドウ考ヘテモ付キニクイノデス、之ヲ吾々ニ分ルヤウニ一ツ御説明願ヘマセヌカ

○村上政府委員 營利ヲ目的トセサル法人ハ營利事業ヲ一切ヤツテハイカスト云フ譯デアリマセヌ、營利ヲ目的トスル法人ハ御承知ノ通り營利會社デアリマス、併シ非營利法人ハ必ズ一切ノ營利事業ヲ爲シテハイカス、斯様ナモノデアリマセヌノデ、從來ノ森林組合モ營利ヲ目的トセサル法人

デアリマスガ、而モ林道ヲ設ケ、貯木場ヲ設ケテ、其處デ販賣等ノコトヲヤツテ居リマス、是ハ營利ノミヲ目的トシテハイケナイノデアリマスガ、附帶事業トシテ營利事業ヲ行フ事ハ可能デアリマス、是ハ從來ノ法制皆サウデアリマス

○松尾(四)委員 今ノ御話ハドウモ少シ違ツテ居ルヤウニ思ヒマス、其ノ加工ナリ販賣マデ行クコトハ森林組合デハヤツテ居ラヌノデス、ソレハドウモ少シ違ツテ居ルヤウニ思フ、ソコガ考ガ違フノデハナイカト思フノデ、何遍モ之ヲ尋ネナケレバナラストニナル

○村上政府委員 此ノ第七十條ノ事業モ、營利ヲ目的トシテヤルノデハナイノデアリマシテ、附帶事業トシテ斯ウ云フ仕事モスルト云フ譯デアリマス、丁度産業組合ハ營利ヲ目的トスルコトヲ得ズトナツテ居リマスガ、事實ハドウ云フコトヲヤツテ居ルカト云フト、御承知ノ通り色々ナコトヲヤツテ居ル、是ハ當然ナコトデアリマス

○松尾(四)委員 ソレデハサウ承ツテ置キマス、ソコデ是ガ營利ヲ目的トシテ居ラナクテモ、此ノ仕事ヲヤル以上ハ、一通リノ利益モ上ツテ來ルト思フ、即チ收益ガ起ルノデス、所ガサウ云フ收益ノ分配ニ付テノ

規定ガ此ノ中ニナイノデス、營利ヲ目的トシテ居ラナイデモ、是ハ事業ヲ行フ行爲デアリマスカラ、一通リノ收益ガアルト云フコトハ當然デス、又收益ガナケレバ其ノ損失ヲ負擔シナケレバナラヌ、其ノ收益ガアツタ場合ニ、之ヲ分配スル規定ガ定メラレテ居ナイノデス、ソコデ私ハドウ云フ所カラ定メラレルカト云フコトヲ段々調べテ見マスト、斯ウ云フコトハ總テ法人ハ定款ニ依ツテ定メル、ソコデ定款ノ規定ヲ調べテ見マスト、第六十八條ガ定款ノ規定ニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ規定ノ中ニハ第六項マデ定款ノ規定ヲ決メテ居ル、其ノ六

項ノ中ニハ會社ノ方ヘ出資スル、或ハ費用ヲ負擔スルト云フコトダケハ定款デ決メルト書イテアルガ、收益ノ分配ノコトニ付テハ書イテナイノデス、是ハ舊法デスカラ書イテナイ、書カナイノハ當リ前デス、ソレデ其ノ通りノ定款ヲ持ツテ來ルト、其ノ收益ノ分配ノコトハ書イテナイ、ソレヲドウスルカト言ヘバ、今度ハ「前項ノ外定款ニ定ムルコトヲ要スベキ事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」ト書イテアル、ガカラ是ハ命令事項ニ入ツテ來ル、其ノ命令事項ガ參考資料ノ中ニナイ、ソコデ此ノ問題ハ解決ガ著キニクイ、詰リ此ノ出資ノ方法ト收益ヲ分

午後四時五十一分散會

配スル方法ハ此ノ定款ニ定ムルコトヲ要スベキ事項デス、其ノ收益ノ中幾ヲ元本銷却ニ充テル、或ハ役員ノ報酬ニスル、或ハ其ノ残りヲ出資口數ニ應ジテ分配スルト云フコトガ決メラレテ居ナケレバナラス、ソレハ此ノ舊法ノ定款ノ規定ヲ當嵌メテ、今度ノ新法ノ事業ヲ營ム組合ヲ拵ヘテモソレハ當嵌ラナイ、ソコデ此ノ命令事項ヲ出シテ貰ヒタイ、出シテ貰ツタ其ノ後ノコトガ分ツテ來ル、斯ウ思フノデス

○村上政府委員 只今ノ森林組合令第四條ニ「組合ノ定款ニハ森林法及本令ニ規定アルモノノ外左ノ事項ヲ記載スベシ」トアツテ役員ニ關スル規定、會議ニ關スル規定、組合員ノ議決權ニ關スル規定、財産ノ管理又ハ處分ノ方法ヲ定メタル時ハ其ノ方法、其ノ他色々アリマスガ、其ノ財産ノ管理又ハ處分、之ニ付テハ若シソコニ相當ノ收益ガアルト假定スレバ、其ノ處分ノ方法ハ定款デ定メナケレバナラスノデアリマス

○松尾(四)委員 サウスルト是ハ後デ能ク讀ンデ見マスガ、今御示シニナリマシタ命令事項ニ書カレタヤウニ改メテ此規定ヲ御出シニナラズシテ、此ノ命令事項デヤツテ行クト云フ御積リデゴザイマスカ、此第七十條ヲ新シク設ケラレタカラ……

○村上政府委員 勿論森林組合令モ多少改正ハシナケレバナラスト思ヒマス、今度此ノ法律ヲ改正致シマスレバ、命令事項モ當然改正シナケレバナラスノデアリマス

○松尾(四)委員 ソレデ分リマシタ、ソレデハ是モ改正スルト云フ御考デアリマスネ、サウスレバヤハリ改正サレルベク豫定セル命令事項ハ此ノ委員會ニ御提出ヲ要求致シマス、ソレガナケレバ此ノ案ノ審議ニ入レマセヌ、何處ノ委員會ニ於テモ、本條ガアツテ、命令事項ト云フモノヲ出セバ、其ノ命令事項ハ必ズ委員會ニ示スモノデアル、其ノ委員會ニ示ス命令事項ト本條トヲ照合セテ審議ガ進メラレルノデアリマス

○村上政府委員 一體森林組合令ハ殆ト大體是ガ適用ニナルノデアリマスカラ、非常ニ細カイ法制局的ナモノハ、ソレハ變ルダラウト思ヒマス、ガ大體是デ行クト思ヒマスカラ是デ御審議ヲ願ヒタイト考ヘマス

○松尾(四)委員 ソレデハ御提出ニナリマセヌケレバ、更ニ之ヲ御尋シマス、サウスルト少シ時間ヲ要シマスカラ、私ハ其ノ殘ノ質問ハ又明日ニシテ戴キタイト思ヒマス
○小山委員長 本日ハ此ノ程度デ止メマシテ、次回ノ委員會ハ二十日ノ月曜日ノ午前十時カラ開クコトニ致シマス、是デ散會致

昭和十四年二月十七日印刷

昭和十四年二月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局